

阿蘇市  
子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査  
結果報告書



令和6年3月

阿蘇市



# 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の実施要領 .....	3
3. 調査結果利用上の注意 .....	3
第2章 調査結果 .....	5
1. 対象のお子さんご家族の状況について .....	7
2. 対象のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます .....	13
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます .....	20
4. 対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます .....	27
5. 対象のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望に ついてうかがいます .....	33
6. 対象のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます（平日の教育・保育を利用する 方のみ） .....	36
7. 対象のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてう かがいます .....	41
8. 育児休業など職場の両立支援制度について .....	50
9. 対象のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます .....	55
10. 対象のお子さんの日常生活についておうかがいします（就学児のみ） .....	69
11. 対象のお子さんにかかわらず、子育て全般についてうかがいます（就学児のみ） .....	73

第3章 中学生/高校生ヒアリング調査結果.....	93
1. 調査の目的 .....	95
2. 調査の実施要領.....	95
中学生.....	96
高校生.....	98

---

---

# 第1章 調査の概要

---

---



## 1. 調査の目的

この度、「第2期 阿蘇市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に計画期間が満了となることから、新たな計画の策定に向けてニーズ調査を実施し、子どもの現状と将来の動向及び子育て支援策に関する状況の把握・整理を行い、令和6年度に策定する「阿蘇市子ども・子育て支援事業計画（仮称）」の内容に反映することを目的としています。

## 2. 調査の実施要領

調査時期	令和6年2月			
調査対象者	阿蘇市在住の未就学児・就学児の保護者			
調査方法	インターネットによる配布・回収			
配布数	未就学児	830件	就学児	1,190件
有効回収数		280件		350件
有効回答率		33.7%		29.4%

## 3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。





---

---

## 第2章 調査結果

---

---

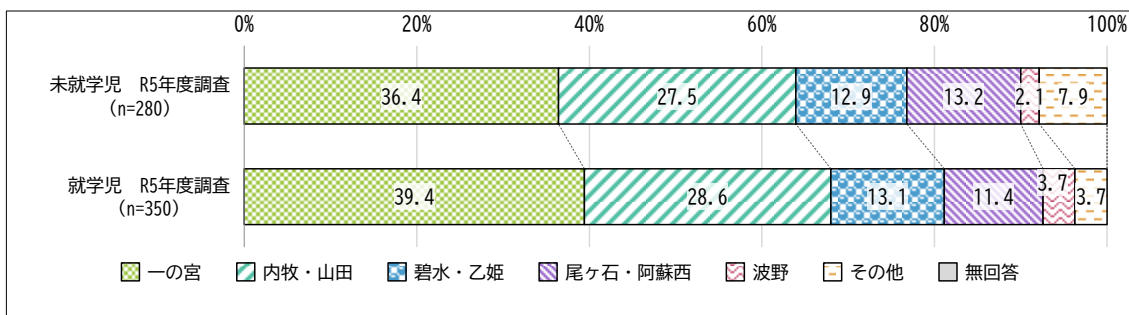


調査結果については、未就学児向け調査票の問番号の順に記載しており、その中に就学児向け調査にある同一設問の結果を併記しています。就学児向け調査のみの設問については、別途記載をしています。

## 1. 対象のお子さんご家族の状況について

### 問1 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

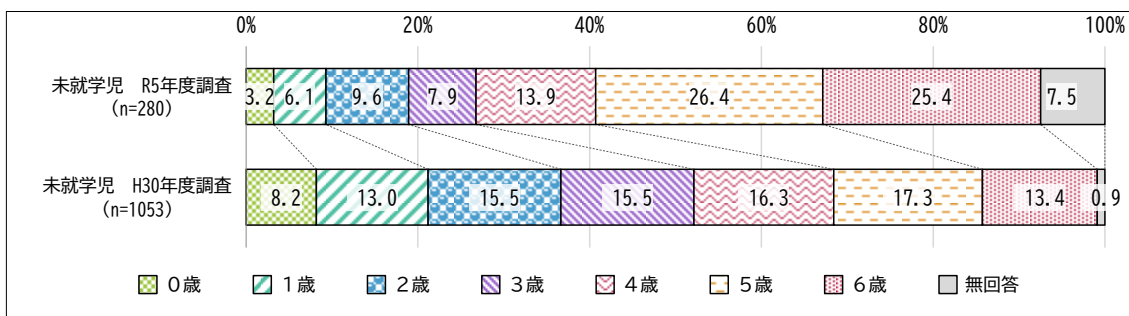
- 未就学児については、「一の宮」が 36.4%と最も高く、次いで「内牧・山田」27.5%、「尾ヶ石・阿蘇西」13.2%となっています。
- 就学児については、「一の宮」が 39.4%と最も高く、次いで「内牧・山田」28.6%、「碧水・乙姫」13.1%となっています。



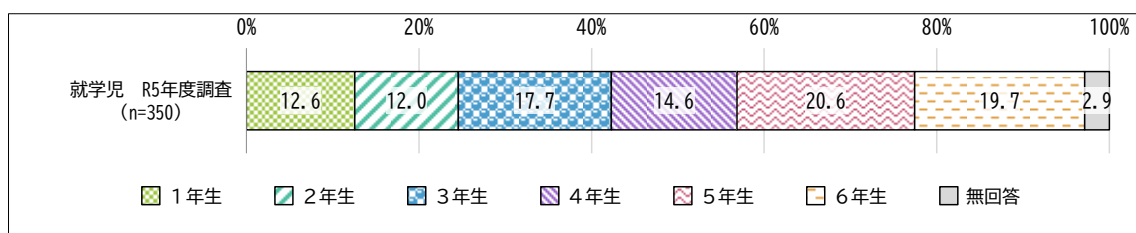
### 問2 対象のお子さんの生年月をご入力ください。(単数回答)

- 未就学児の年齢については、「5歳」が 26.4%と最も高く、次いで「6歳」25.4%、「4歳」13.9%となっています。
- 前回調査結果との比較をみると、「6歳」が12.0ポイント高くなっています。
- 就学児の学年については、「5年生」が 20.6%と最も高く、次いで「6年生」19.7%、「3年生」17.7%となっています。

【お子さんの年齢（未就学児）】

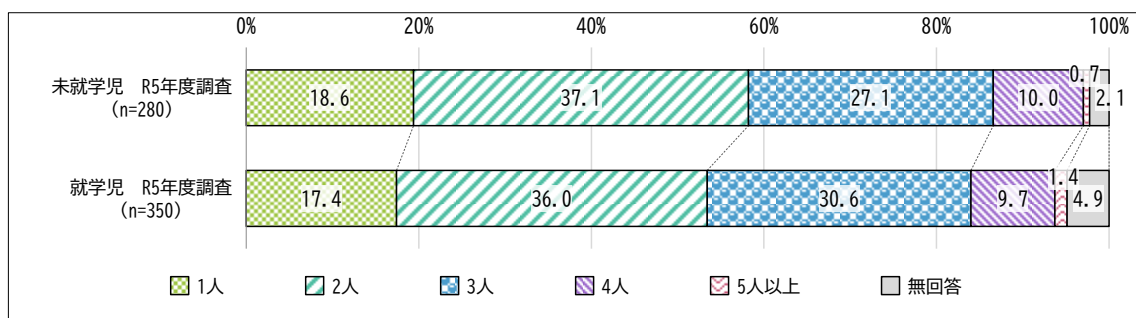


### 【お子さんの学年（就学児）】



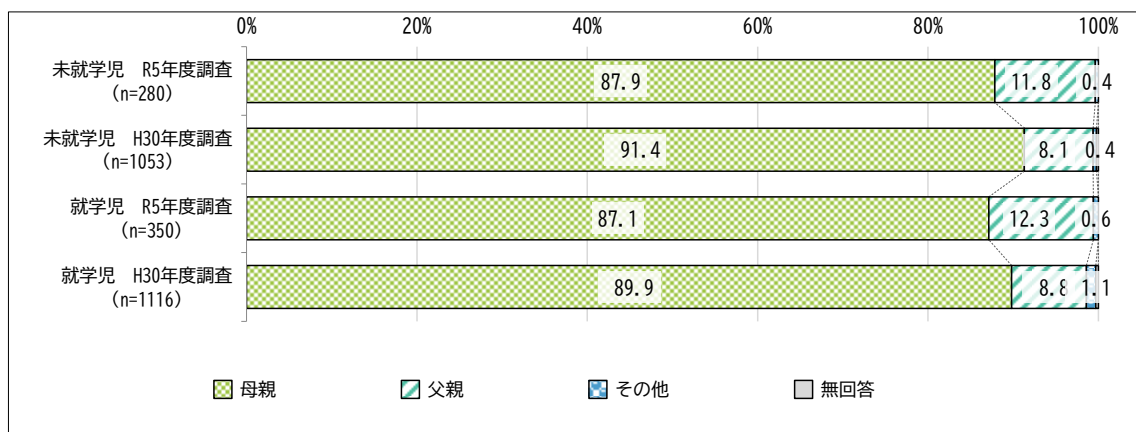
### 問3 対象のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。（あて名のお子さん含む）（単数回答）

○未就学児及び就学児ともに「2人」（未就学児：37.1%、就学児：36.0%）が最も高く、次いで「3人」（未就学児：27.1%、就学児：30.6%）、「1人」（未就学児：18.6%、就学児：17.4%）となっています。



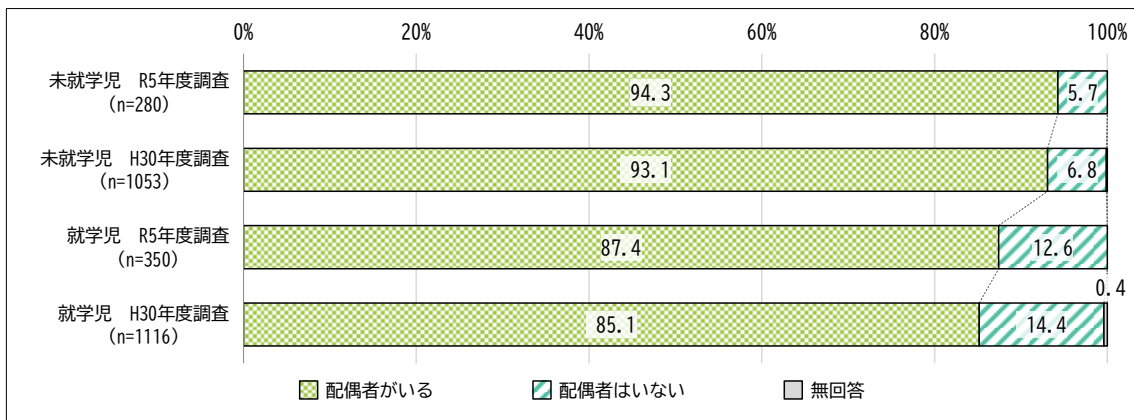
### 問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。（単数回答）

○未就学児及び就学児ともに「母親」が8割を超えており、「父親」は1割程度となっています。



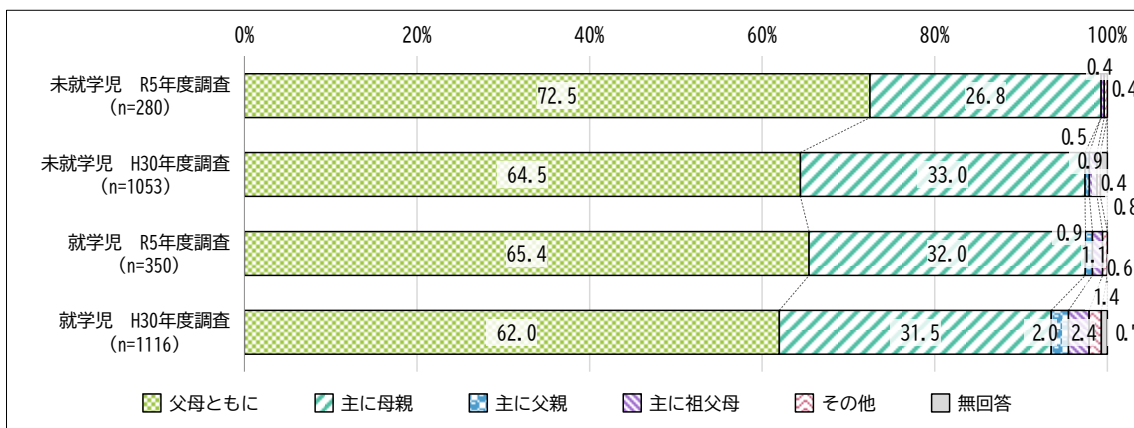
**問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
(単数回答)**

○未就学児及び就学児ともに「配偶者がいる」(未就学児：94.3%、就学児：87.4%)と9割前後となっています。



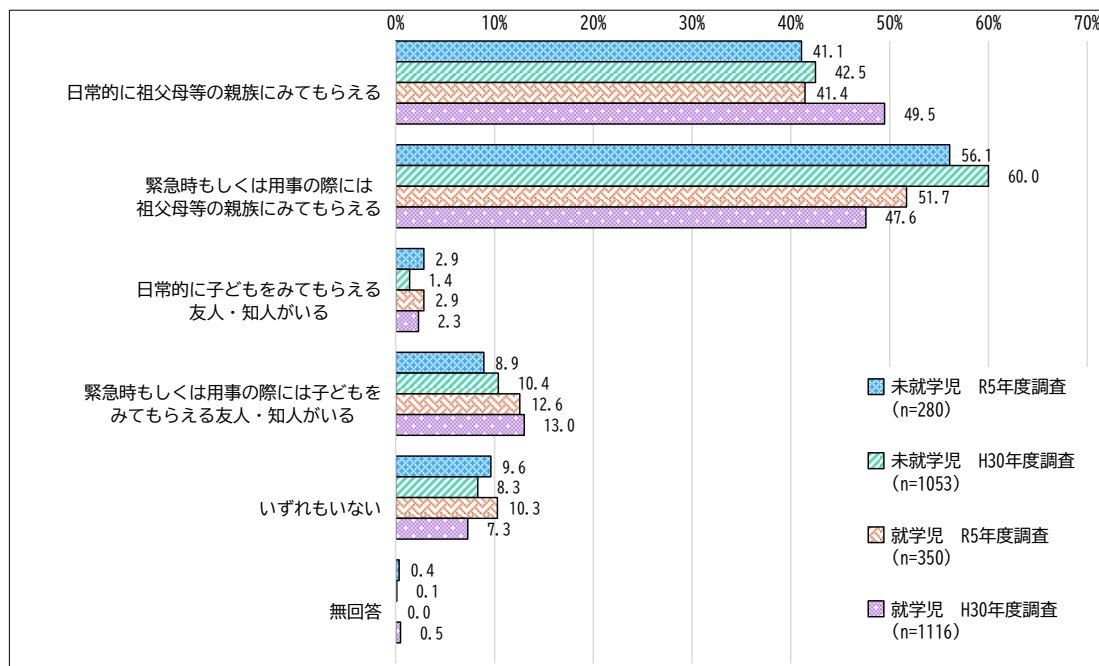
**問6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
対象のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)**

○未就学児及び就学児ともに「父母ともに」(未就学児：72.5%、就学児：65.4%)が最も高く、次いで「主に母親」(未就学児：26.8%、就学児：32.0%)となっています。



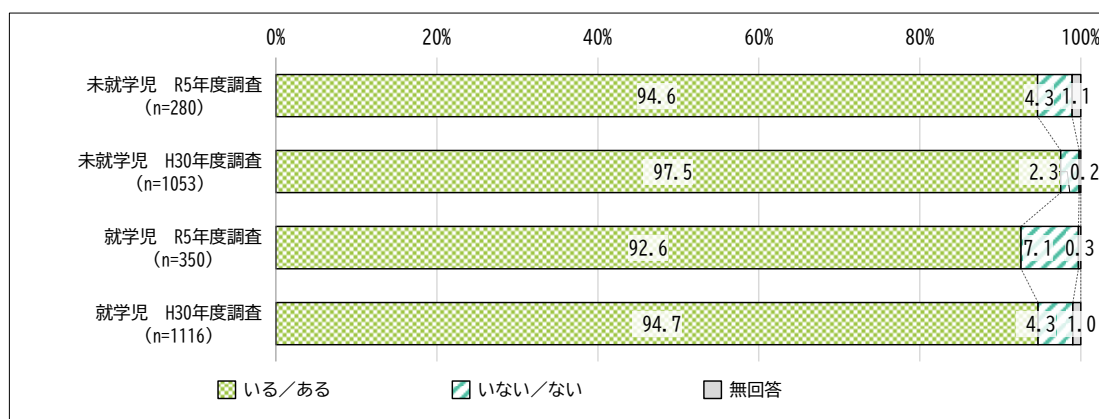
## 問7 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(未就学児：56.1%、就学児：51.7%)が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(未就学児：41.1%、就学児：41.4%)となっています。



## 問8 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人、もしくは場所はありますか。(単数回答)

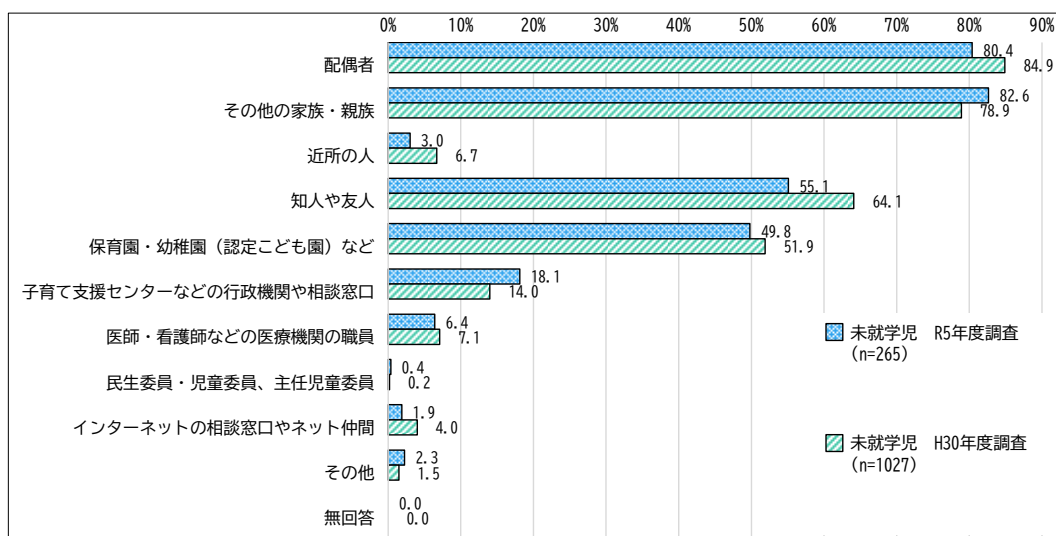
○未就学児及び就学児ともに「いる/ある」が9割を超えており、「ない」は1割以下となっています。



問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（単数回答）

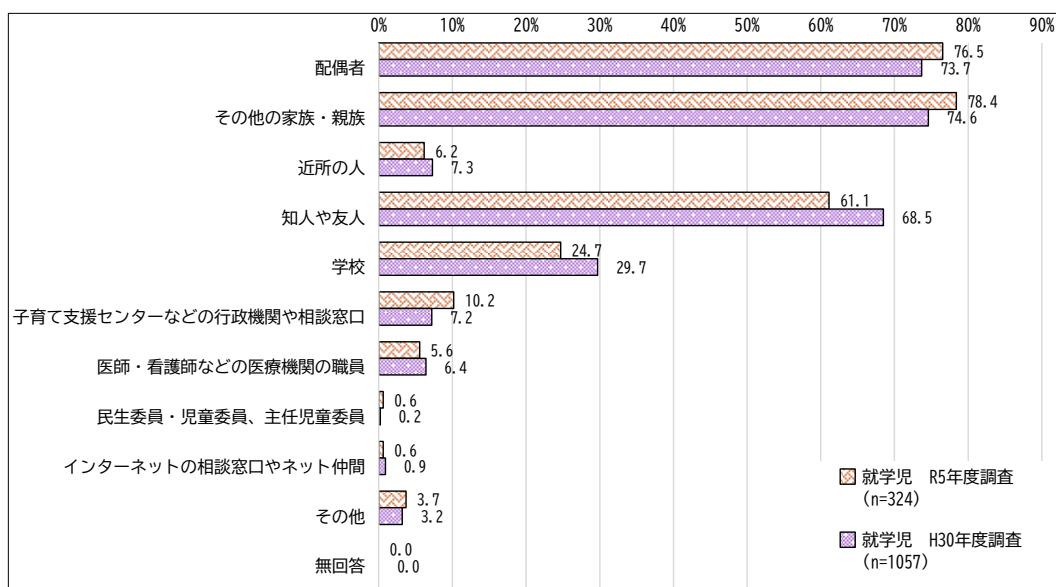
◆未就学児

○「その他の家族・親族」が82.6%と最も高く、次いで「配偶者」80.4%、「知人や友人」55.1%となっています。また、「保育園・幼稚園（認定こども園）など」も約5割となっています。



◆就学児

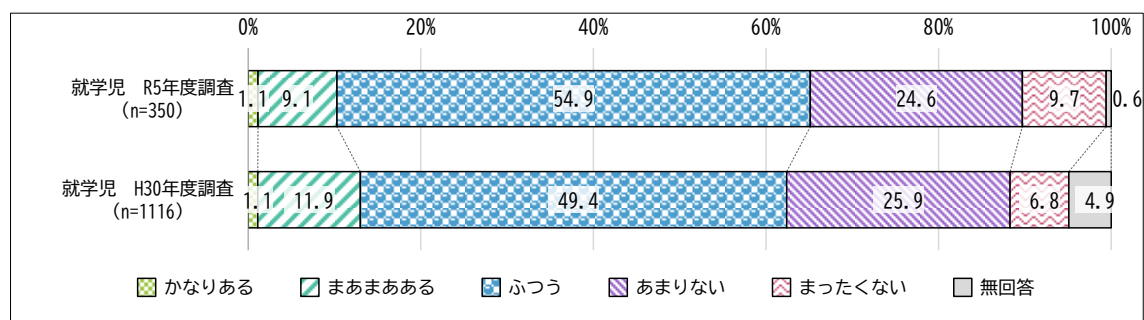
○「その他の家族・親族」が78.4%と最も高く、次いで「配偶者」76.5%、「知人や友人」61.1%となっています。



(就学児向け調査のみ)

■ 現在の生活に経済的なゆとりがありますか。(単数回答)

○ 「ふつう」が54.9%と最も高く、次いで「あまりない」24.6%、「まったくない」9.7%となっています。



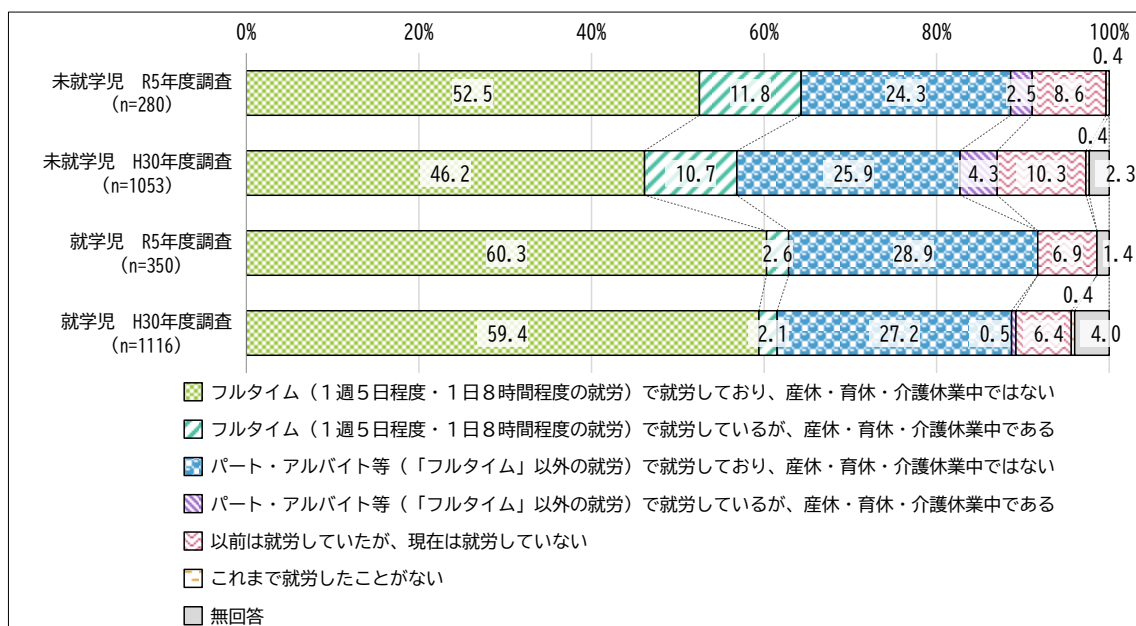


## 2. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問9 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（単数回答）

### （1）母親の就労状況

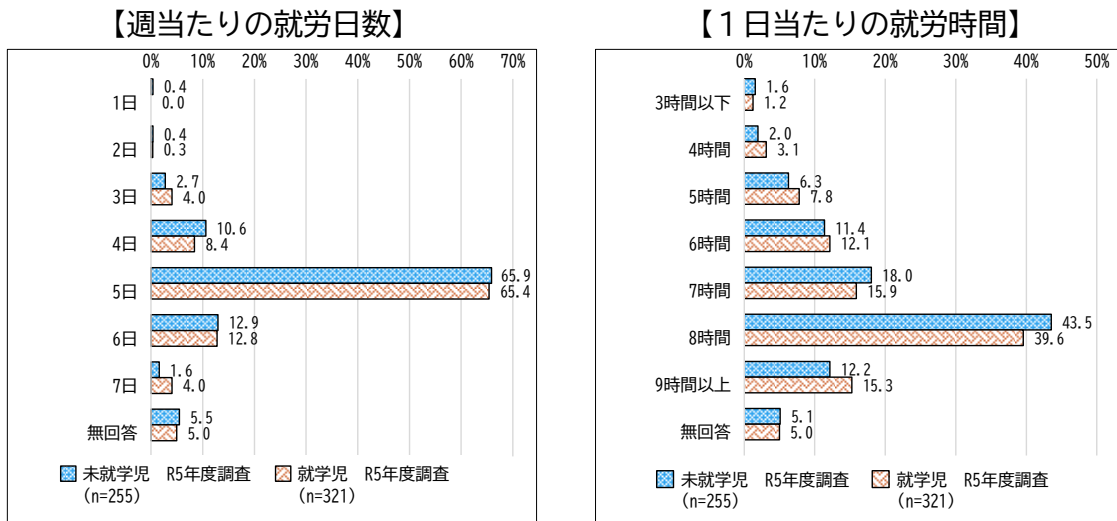
○未就学児及び就学児ともに「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（未就学児：52.5%、就学児：60.3%）が最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（未就学児：24.3%、就学児：28.9%）となっています。



(1) で「1.~4.」(就労している)と回答した方のみ

(1) 母親-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

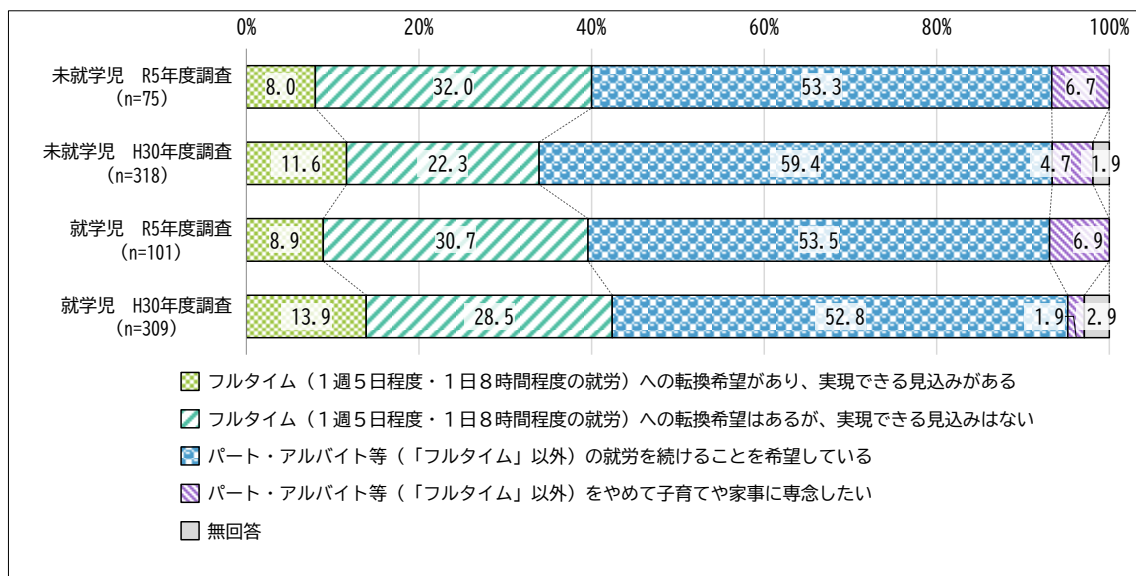
- 1週当たりの就労日数では、未就学児及び就学児ともに「5日」が6割を超えています。
- 1日当たりの就労時間では、未就学児及び就学児ともに「8時間」が約4割を占めています。



(1) で「3.4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方のみ

(1) 母親-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

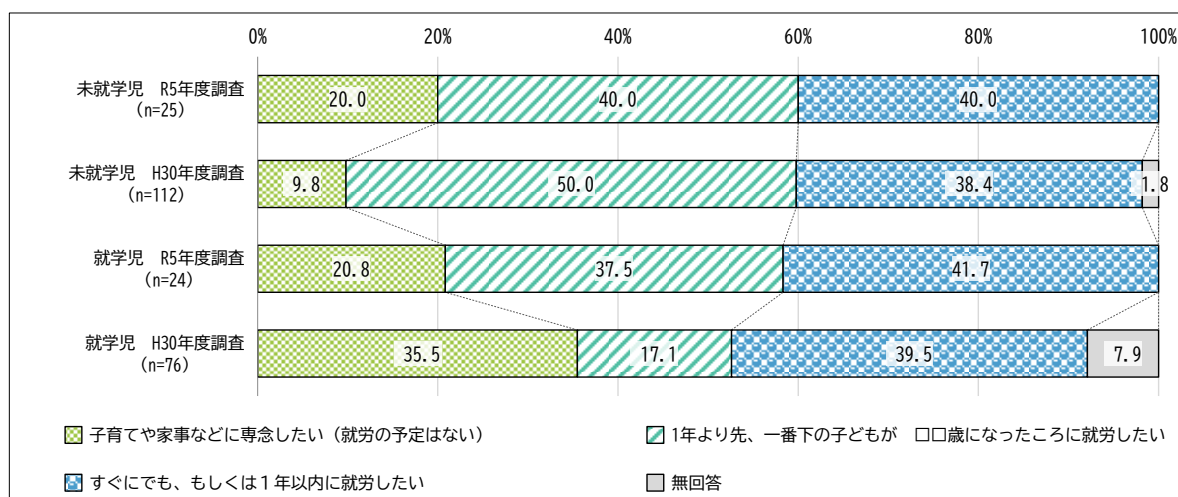
- 未就学児及び就学児ともに「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望している」(未就学児：53.3%、就学児：53.5%)が最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(未就学児：32.0%、就学児：30.7%)となっています。



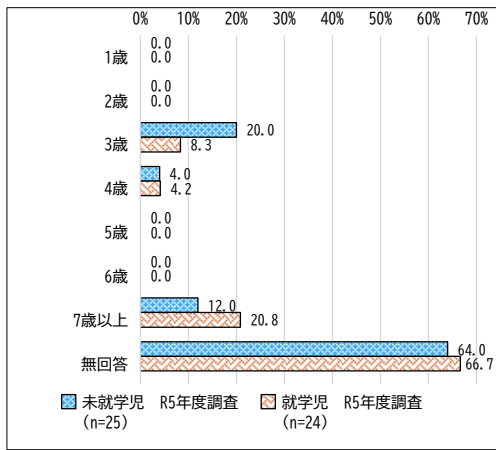
(1) で「5.6」と回答した方のみ

(1) 母親-3 就労したいという希望はありますか。

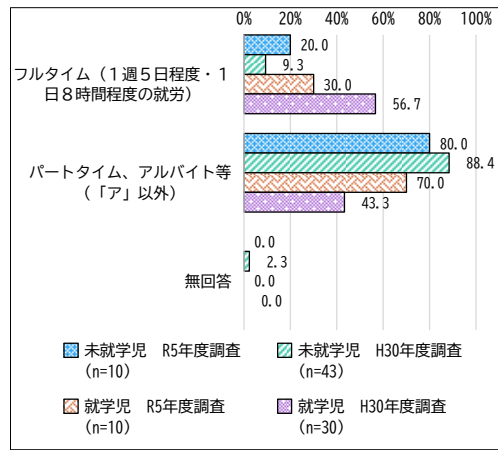
- 未就学児では、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が共に40.0%が最も高く、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」20.0%となっています。
- 就学児では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が41.7%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」37.5%となっています。
- 前回調査結果との比較をみると、未就学児では「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が10.0ポイント低くなっています。また、就学児では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が低く、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 就労したい一番下の子の年齢については、未就学児では「3歳」が20.0%と最も高く、次いで「7歳以上」12.0%となっています。就学児では、「7歳以上」が20.8%と最も高く、次いで「3歳」8.3%となっています。
- 希望する就労形態については、未就学児及び就学児ともに「パートタイム、アルバイト等」が7割を超えています。



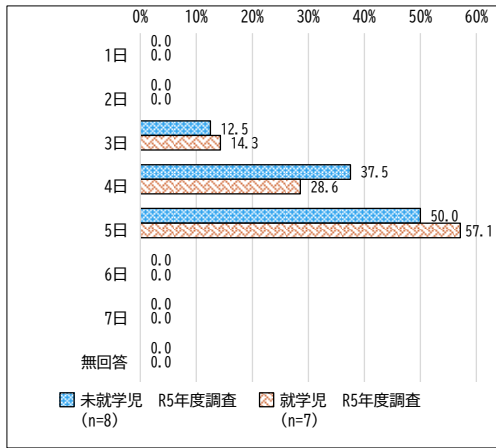
### 【〇歳になった頃に就労したい】



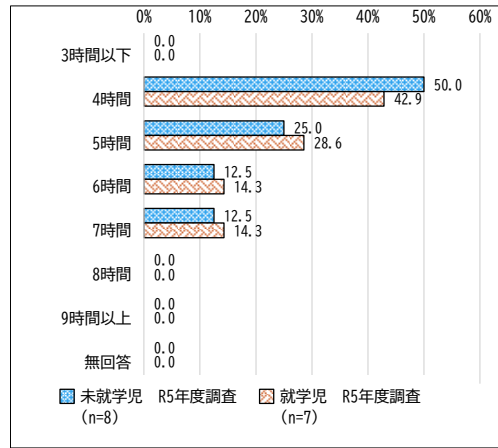
### 【希望する就労形態】



### 【希望する週当たり勤務日数】

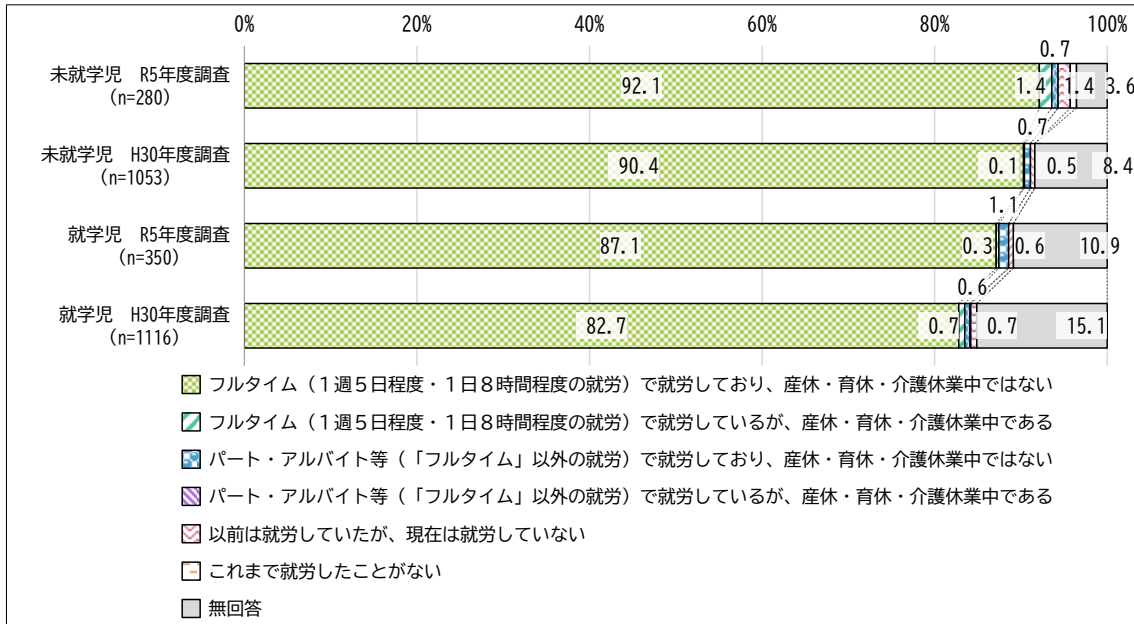


### 【希望する1日当たり勤務時間】



## (2) 父親の就労状況

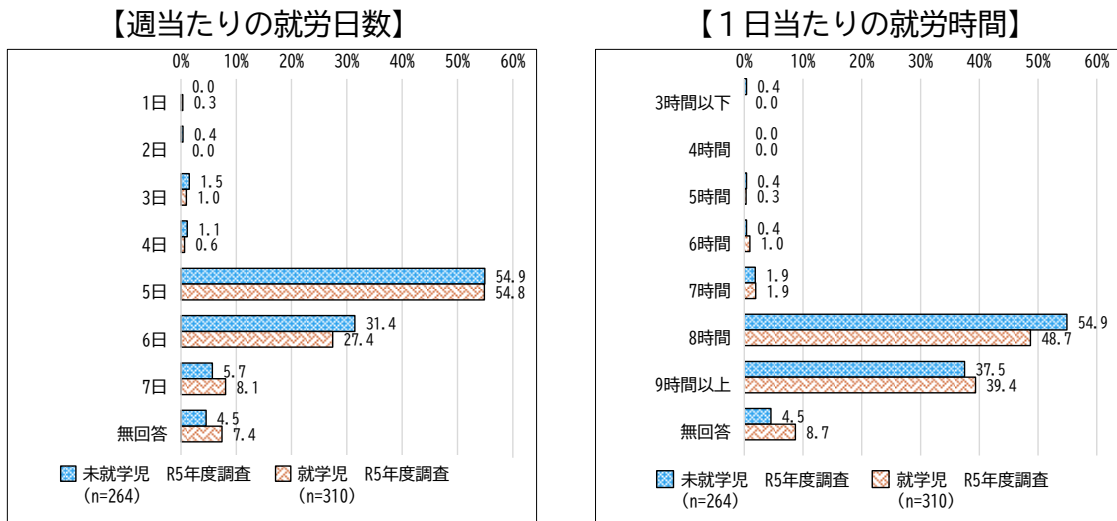
○未就学児及び就学児ともに「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（未就学児：92.1%、就学児：87.1%）が最も高く、8割を超えています。



(2) で「1.~4.」(就労している)と回答した方のみ

(2) 父親-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

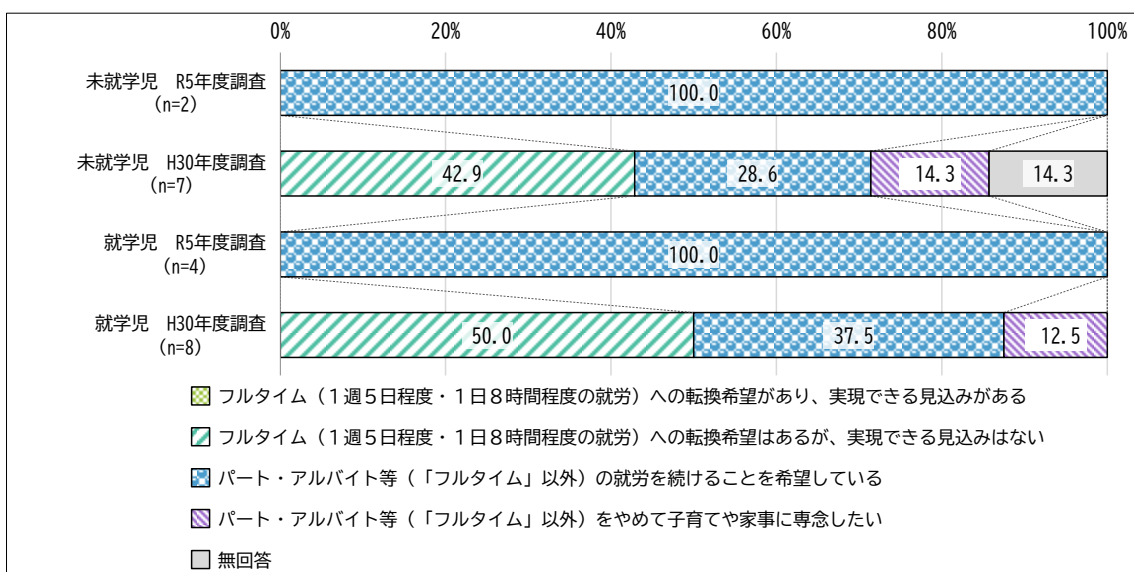
- 1週当たりの就労日数では、未就学児及び就学児ともに「5日」が約5割、「6日」が3割前後となっています。
- 1日当たりの就労時間では、未就学児及び就学児ともに「8時間」が5割前後、「9時間以上」が約4割となっています。



(2) で「3.4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方のみ

(2) 父親-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

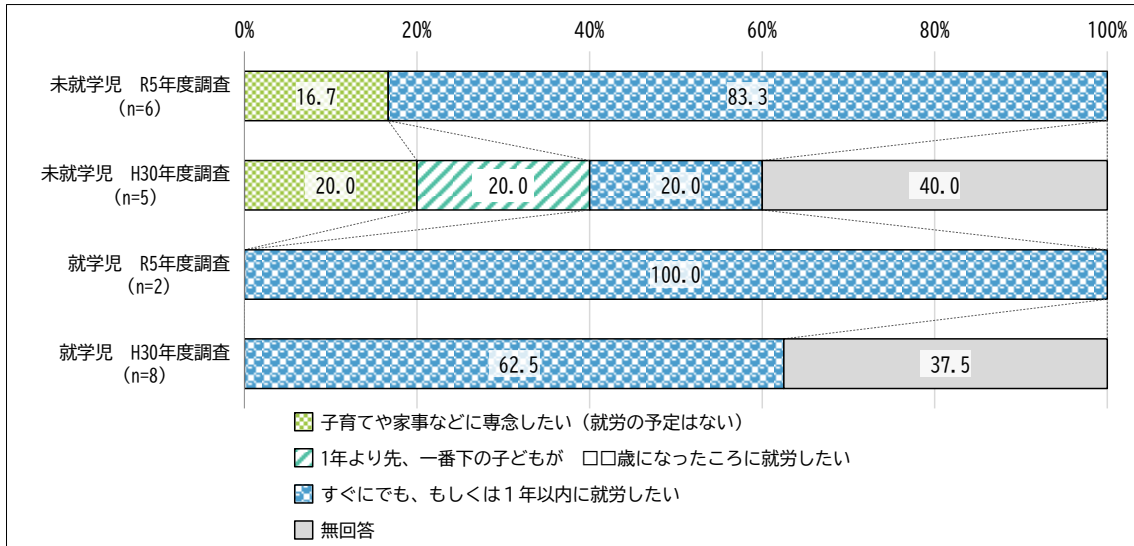
○父親のフルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないため参考程度。



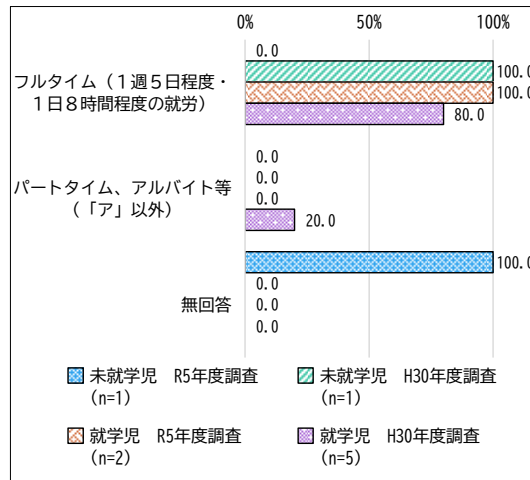
(2) で「5.6」と回答した方のみ

(2) 父親-3 就労したいという希望はありますか。

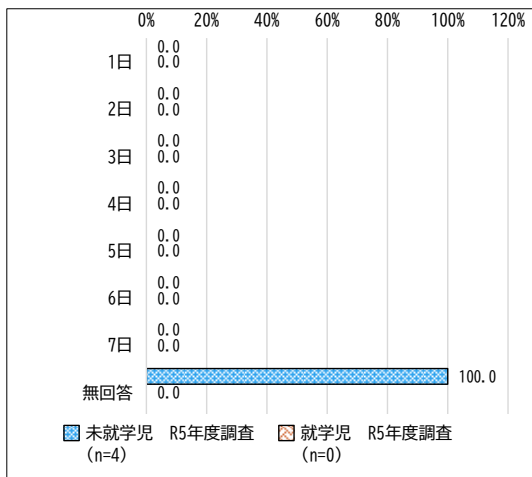
○父親の就労希望については、サンプル数が少ないため参考程度。



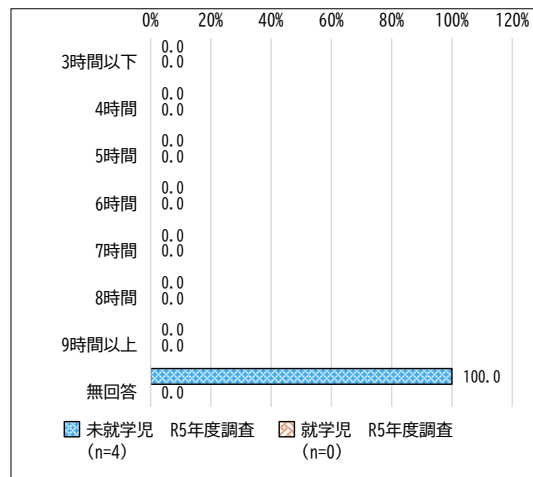
【希望する就労形態】



【希望する週あたり勤務日数】



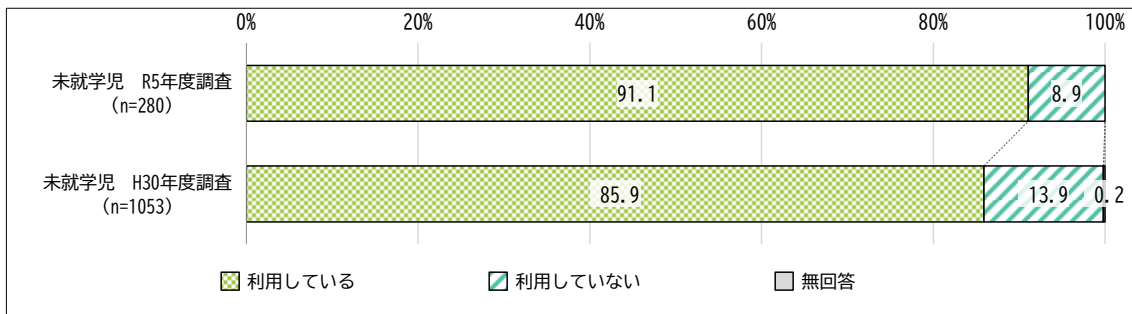
【希望する1日あたり勤務時間】



### 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

問10 対象のお子さんは現在、幼稚園・認定こども園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(単数回答)

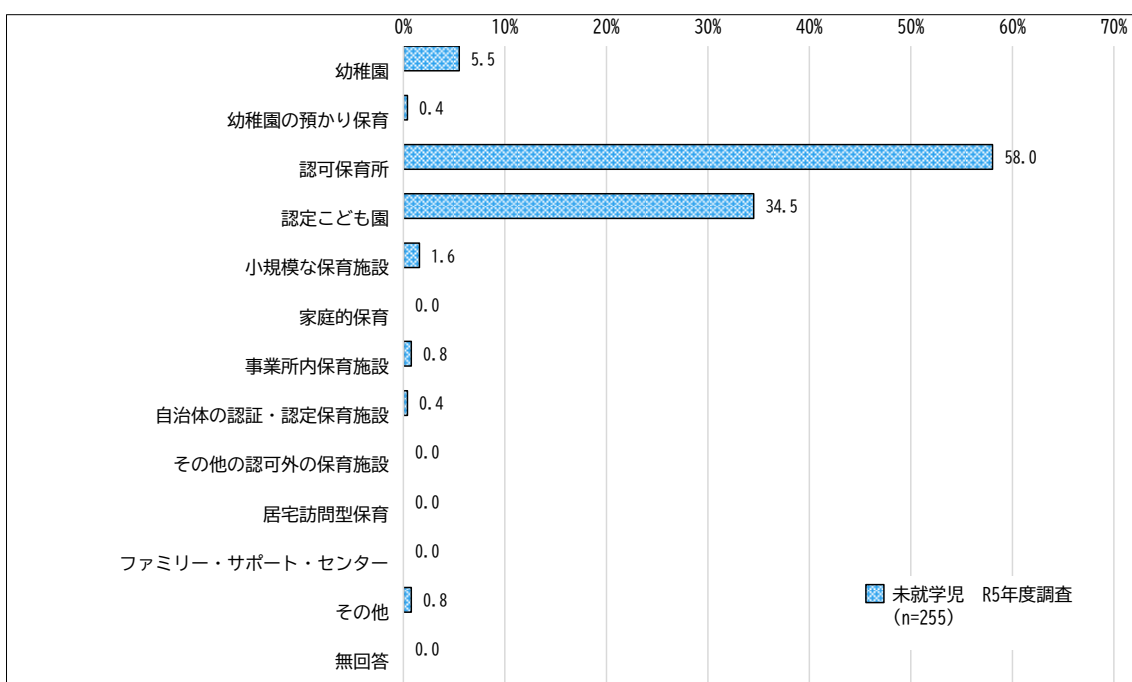
○「利用している」が91.1%、「利用していない」が8.9%となっています。



問10で「1. 利用している」と回答した方のみ

問10-1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

○「認可保育所」が58.0%と最も高く、次いで「認定こども園」34.5%、「幼稚園」5.5%となっています。



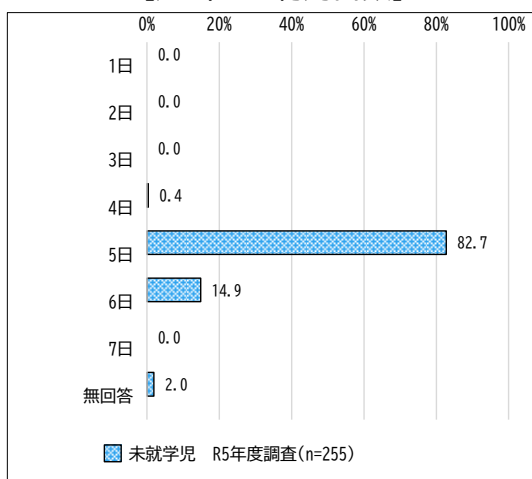


問10-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

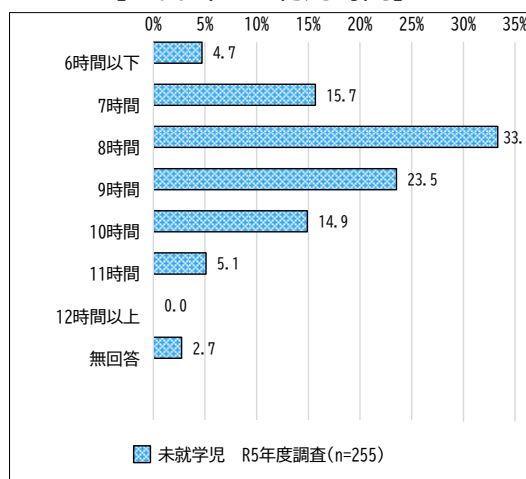
(1) 現在

- 現在の週当たりの利用日数では、「5日」が82.7%と最も高く、次いで「6日」14.9%となっています。
- 現在の1日当たりの利用時間では、「8時間」が33.3%と最も高く、次いで「9時間」23.5%となっています。
- 現在の利用開始時刻では、「8時」が47.1%と最も高く、次いで「9時」37.6%となっています。
- 現在の利用終了時刻では、「17時」が32.5%と最も高く、次いで「18時以降」31.0%となっています。

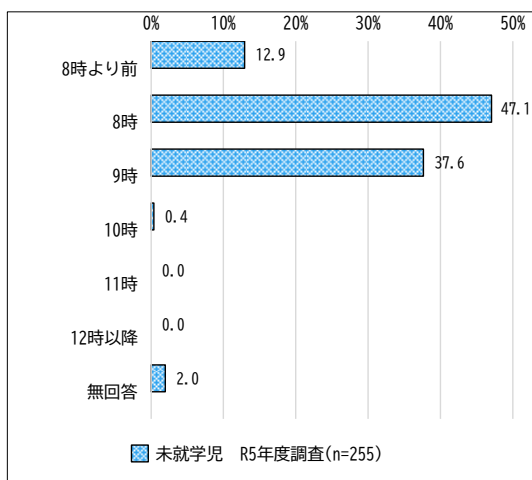
【週当たり利用日数】



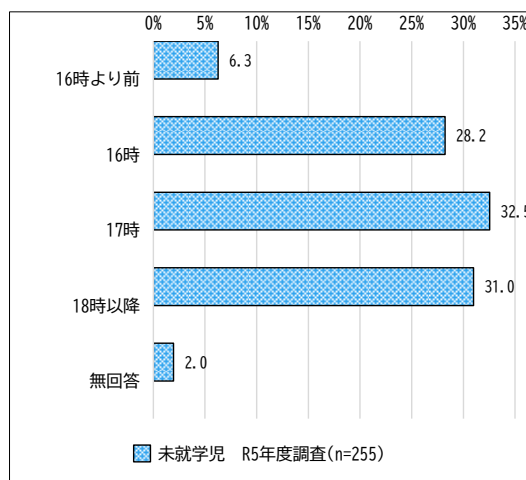
【1日当たり利用時間】



【利用開始時刻】



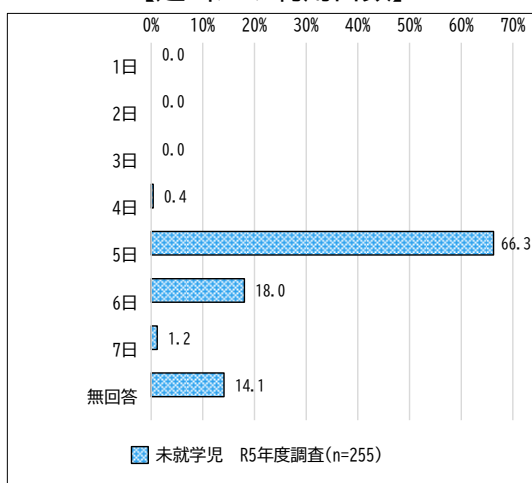
【利用終了時刻】



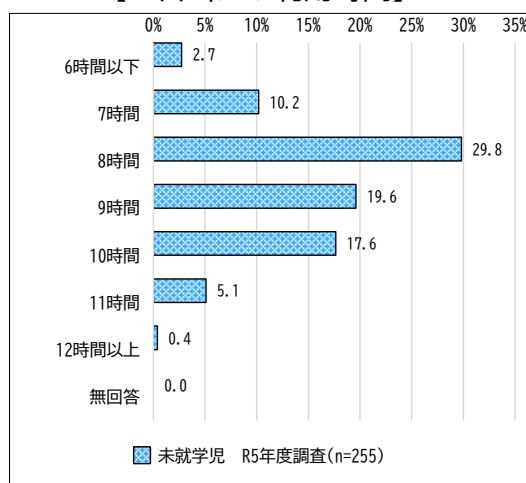
## (2) 希望

- 希望する週当たりの利用日数では、「5日」が66.3%と最も高く、次いで「6日」18.0%となっています。
- 希望する1日当たりの利用時間では、「8時間」が29.8%と最も高く、次いで「9時間」19.6%となっています。
- 希望する利用開始時刻では、「8時」が41.2%と最も高く、次いで「9時」30.6%となっています。
- 希望する利用終了時刻では、「17時」が35.3%と最も高く、次いで「18時以降」32.2%となっています。

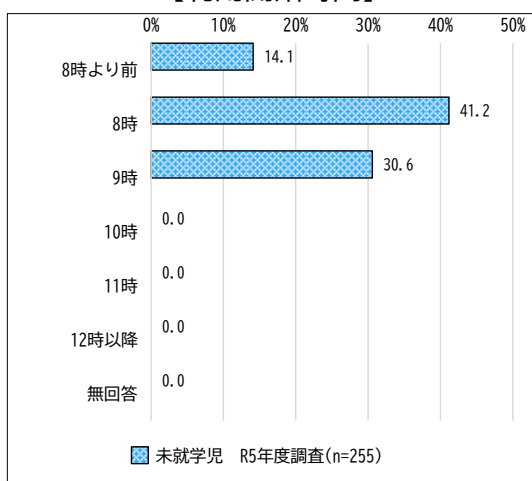
【週当たり利用日数】



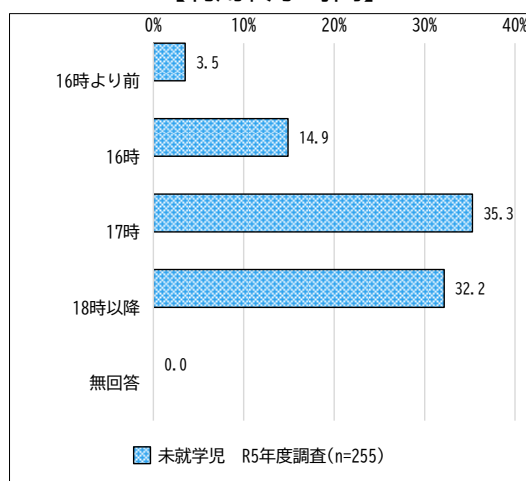
【1日当たり利用時間】



【利用開始時間】



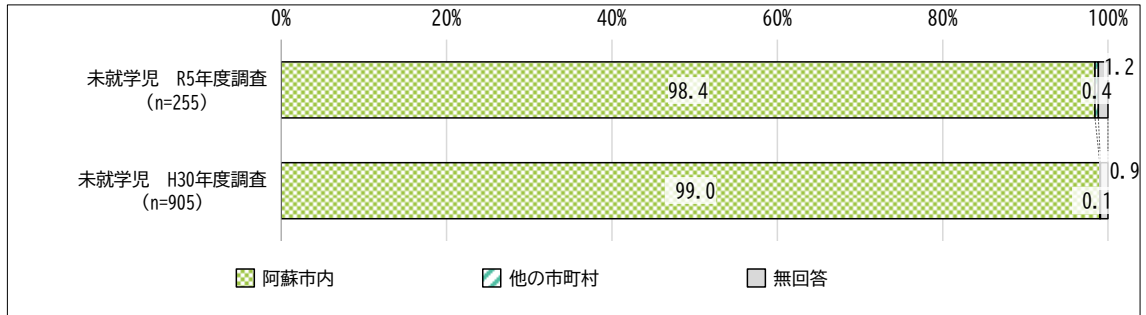
【利用終了時間】



問10で「1. 利用している」と回答した方のみ

問10-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(単数回答)

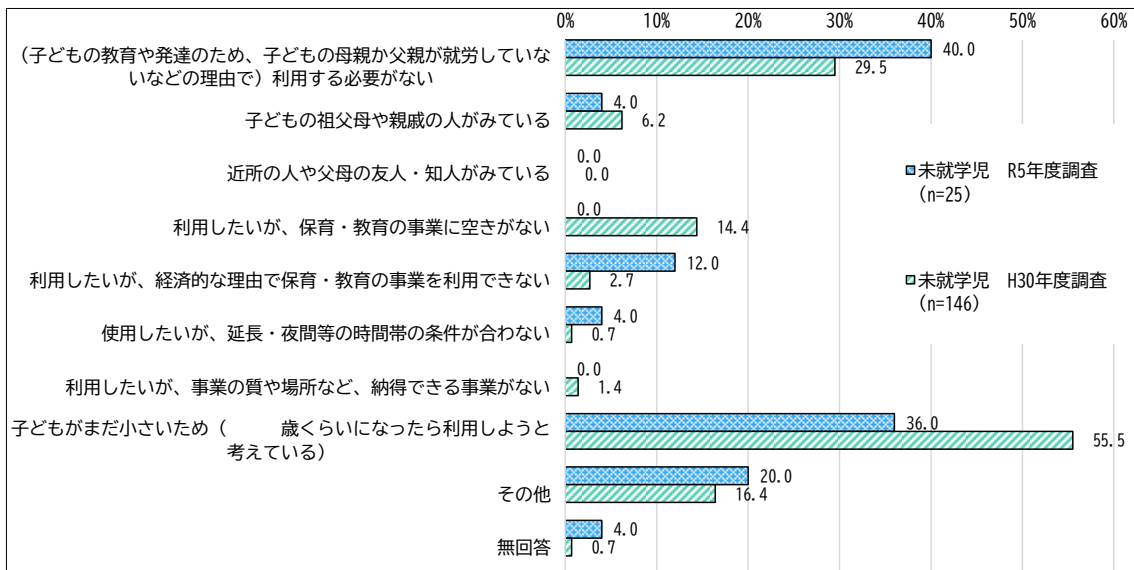
○「阿蘇市内」が98.4%、「他の市町村」が0.4%となっています。



問10で「2. 利用していない」と回答した方のみ

問10-4 利用していない理由は何ですか。(複数回答)

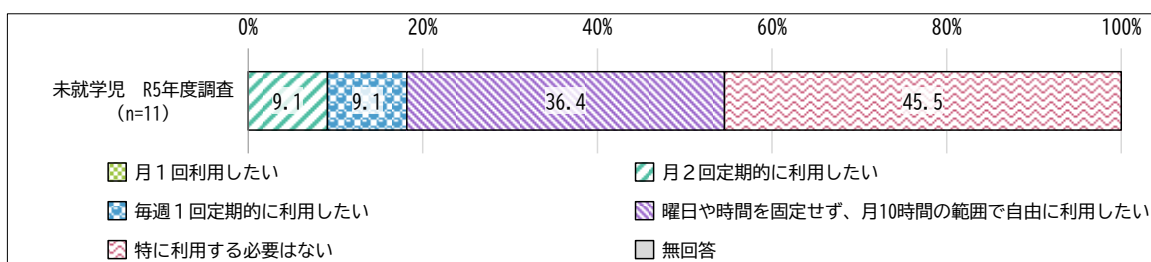
- 「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が40.0%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」36.0%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が高く、「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



問11 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、仮に月10時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。  
（単数回答）

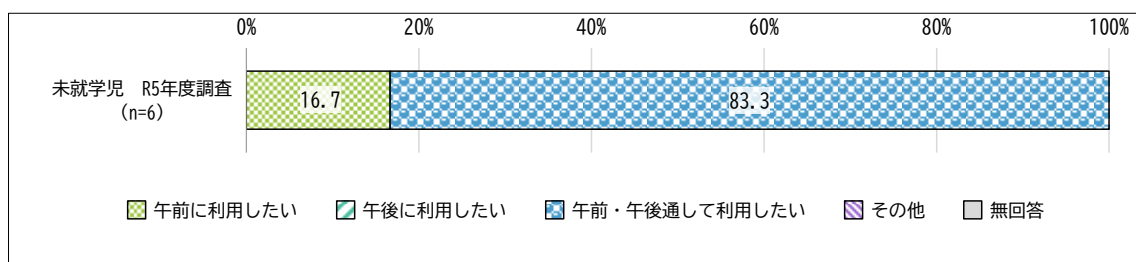
（1）利用希望

○「特に利用する必要はない」が45.5%と最も高く、次いで「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」36.4%となっています。



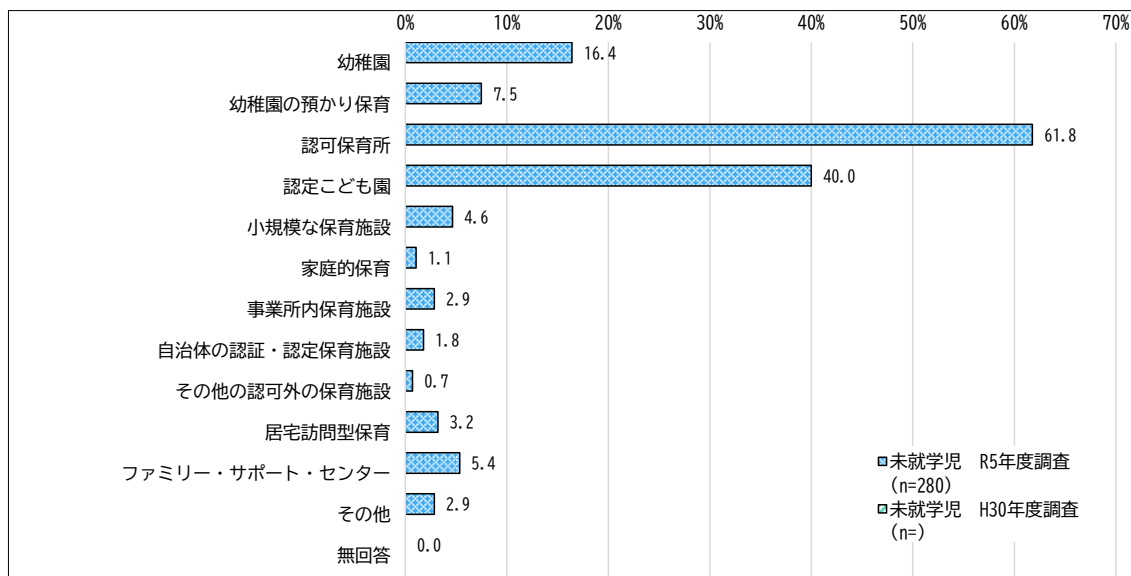
（2）利用したい時間帯

○「午前・午後通して利用したい」が83.3%と最も高く、次いで「午前に利用したい」16.7%となっています。



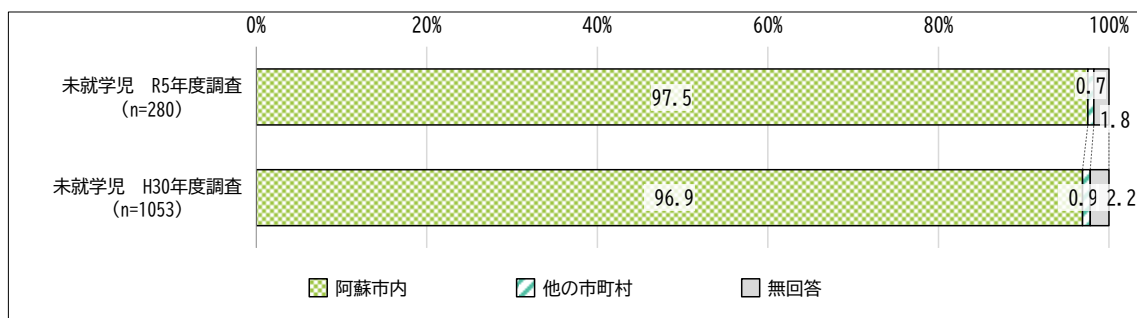
問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の日中の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

○「認可保育所」が61.8%と最も高く、次いで「認定こども園」40.0%、「幼稚園」16.4%となっています。



問12-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(単数回答)

○「阿蘇市内」が97.5%、「他の市町村」が0.7%となっています。

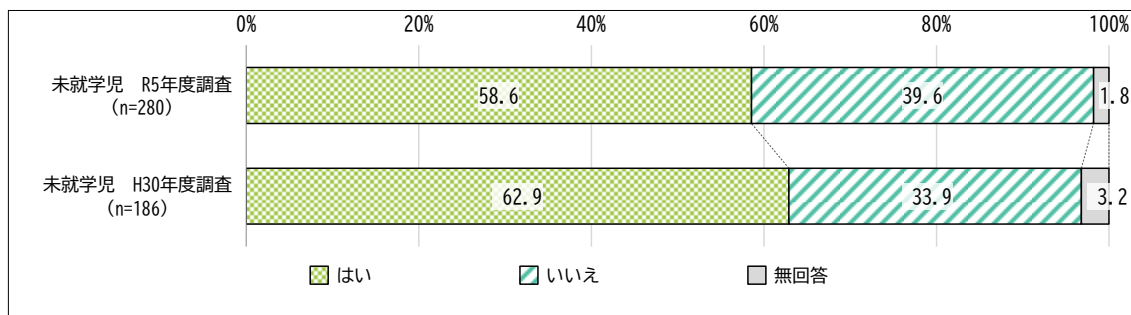


---

問12-2 特に幼稚園・認定こども園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（単数回答）

---

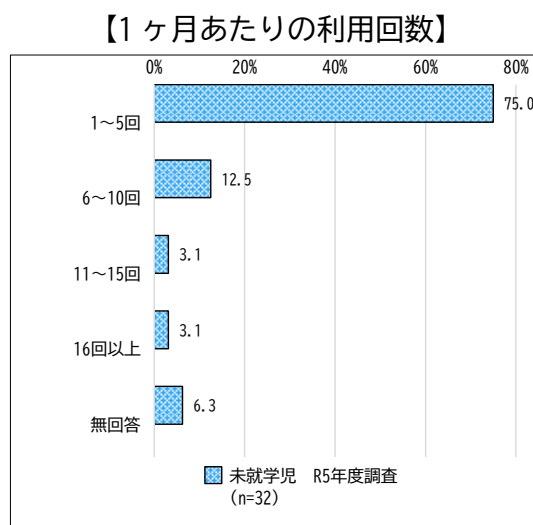
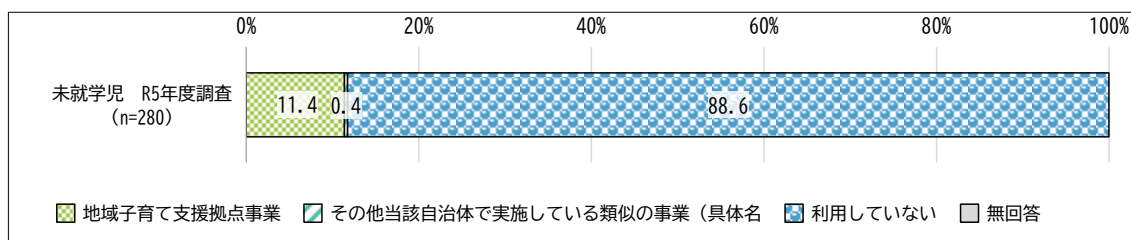
○ 「はい」が58.6%、「いいえ」が39.6%となっています。



## 4. 対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

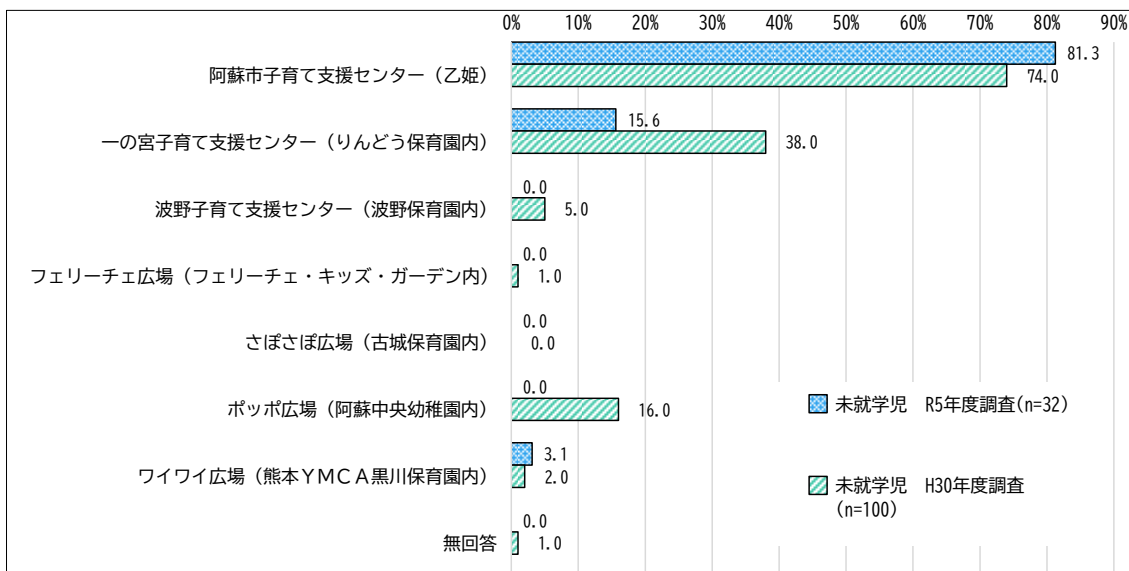
問13 対象のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。

- 「利用していない」が 88.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」11.4%となっています。
- 1ヶ月あたりの利用回数について、「1～5回」が 75.0%と最も高く、次いで「6～10回」12.5%となっています。



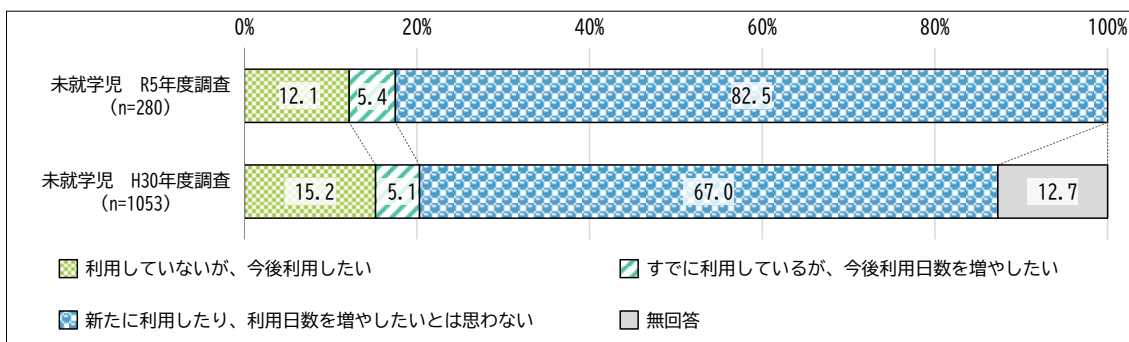
### 問13-1 どの施設を利用していますか。(複数回答)

- 「阿蘇市子育て支援センター（乙姫）」が81.3%、次いで「一の宮子育て支援センター（りんどう保育園内）」15.6%となっています。
- ※前回調査時は「阿蘇市子育て支援センター（三久保）」は場所が異なる為、参考程度。



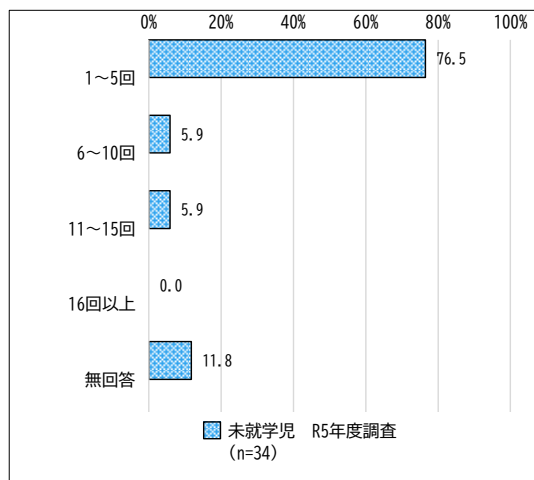
### 問14 問13のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(単数回答)

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が82.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」12.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数をふやしたい」5.4%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が15.5ポイント高くなっています。
- 今後利用したい方の利用日数については「月1～5回」が最も高く7割を超えています。利用したことがある方のさらに増やしたい日数については「更に月1～5回」が最も高く5割を超えています。

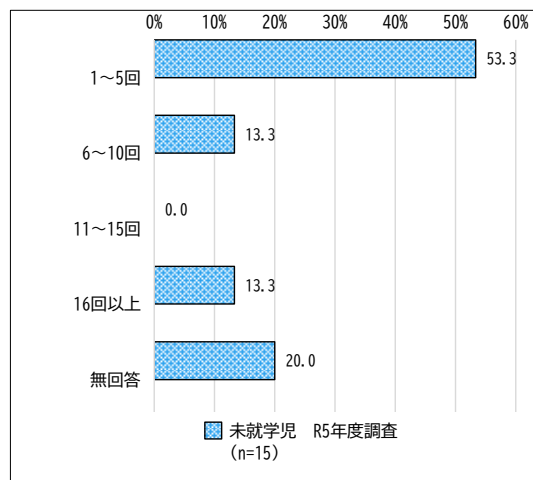




【1ヶ月あたりの希望利用回数】  
(利用していない方)



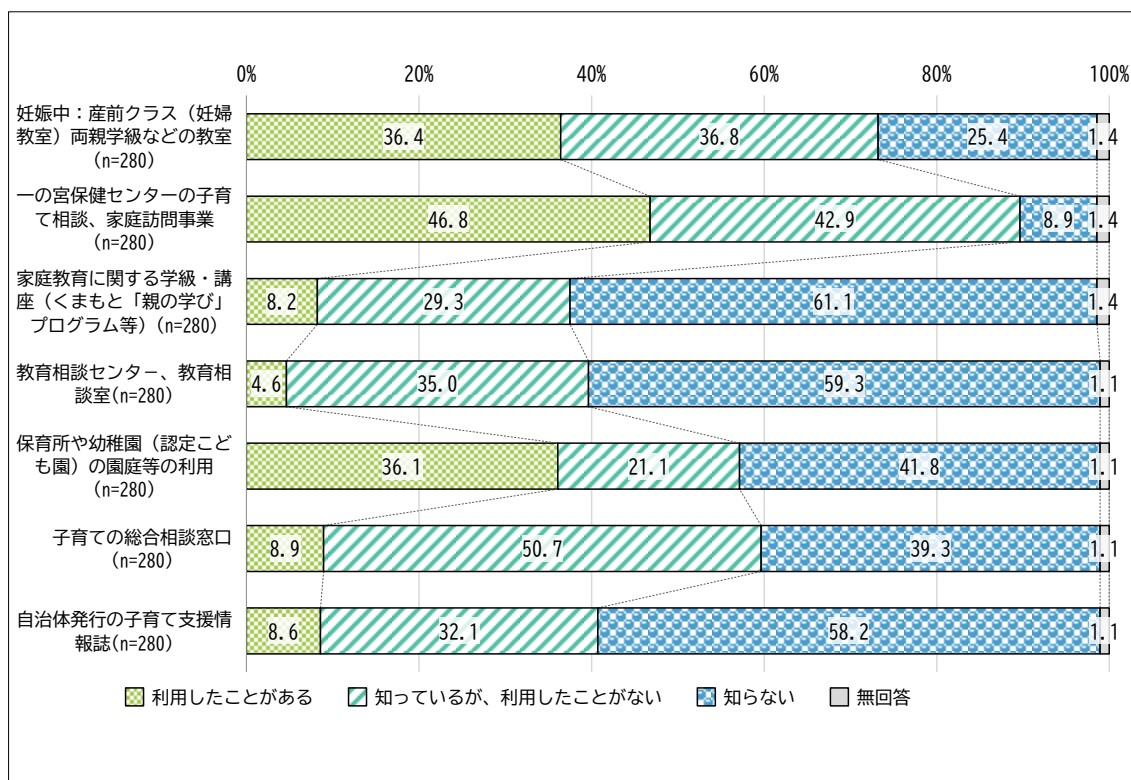
【1ヶ月あたり更に増やす回数】  
(利用している方)



問15 (阿蘇市が実施している) 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。それぞれのサービスごとにあてはまるものを選んでください。(単数回答)

(1) 認知度・利用状況

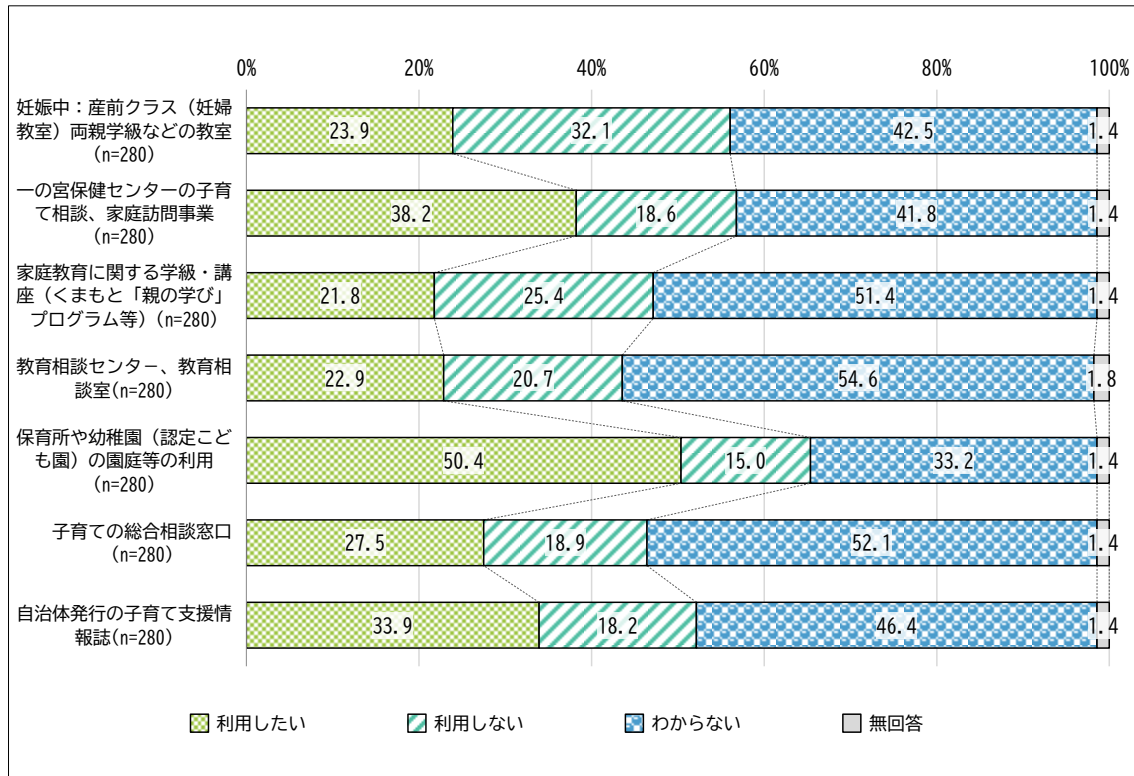
- 現在の認知度・利用状況について、利用率が最も高い事業は「一の宮保健センターの子育て相談、家庭訪問事業」が46.8%、次いで「妊娠中：産前クラス（妊婦教室）両親学級などの教室」36.4%、「保育所や幼稚園（認定子ども園）の園庭等の利用」36.1%となっています。
- 認知はしているが、利用したことがない事業については、「子育ての総合相談窓口」が50.7%と最も高く、次いで「一の宮保健センターの子育て相談、家庭訪問事業」42.9%、「妊娠中：産前クラス（妊婦教室）両親学級などの教室」36.8%となっています。
- 認知度が低い事業については、「家庭教育に関する学級・講座（くまもと「親の学び」プログラム等）」が61.1%と最も高く、次いで「教育相談センター・教育相談室」59.3%、「自治体発行の子育て支援情報誌」58.2%となっており、6割前後と高くなっています。



## (2) 今後の利用意向

○今後の利用意向について、利用意向が最も高い事業は「保育所や幼稚園（認定こども園）の園庭等の利用」が 50.4%、次いで「一の宮保健センターの子育て相談、家庭訪問事業」38.2%、「自治体発行の子育て支援情報誌」33.9%となっています。

○利用意向が最も低い事業は「妊娠中：産前クラス（妊婦教室）両親学級などの教室」が 32.1%と最も高く、次いで「家庭教育に関する学級・講座（くまもと「親の学び」プログラム等）」25.4%、「教育相談センター・教育相談室」20.7%となっています。

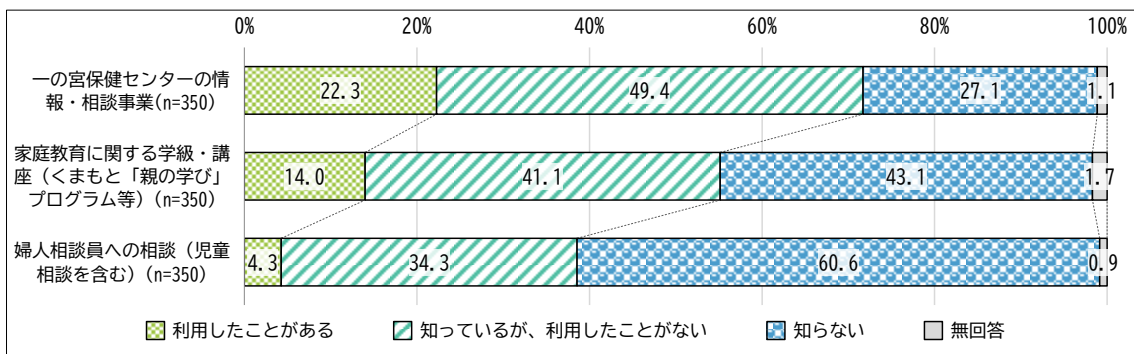


(就学児向け調査のみ)

■ (阿蘇市が実施している) 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありませんか。(単数回答)

(1) 認知度・利用状況

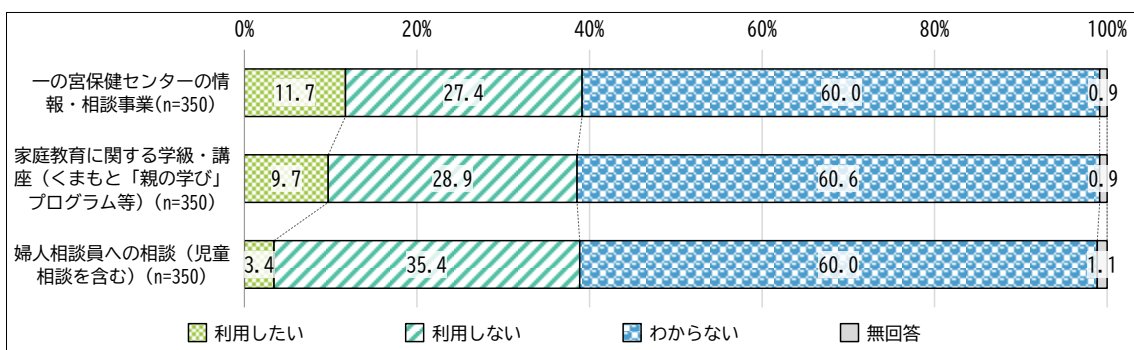
- 現在の認知度・利用状況について、利用率が最も高い事業は「一の宮保健センターの情報・相談事業」が 22.3%、次いで「家庭教育に関する学級・講座(くまもと「親の学び」(プログラム等))」14.0%となっています。
- 認知はしているが、利用したことがない事業については「一の宮保健センターの情報・相談事業」が 49.4%と最も高く、次いで「家庭教育に関する学級・講座(くまもと「親の学び」(プログラム等))」41.1%となっています。
- 認知度が低い事業については、「婦人相談員への相談(児童相談を含む)」が 60.6%、次いで「家庭教育に関する学級・講座(くまもと「親の学び」(プログラム等))」43.1%となっています。



(就学児向け調査のみ)

(2) 今後の利用意向

- 今後の利用意向について、利用意向が最も高い事業は「一の宮保健センターの情報・相談事業」が 11.7%、次いで「家庭教育に関する学級・講座(くまもと「親の学び」(プログラム等))」9.7%となっています。
- 利用意向が最も低い事業は「婦人相談員への相談(児童相談を含む)」が 35.4%、次いで「家庭教育に関する学級・講座(くまもと「親の学び」(プログラム等))」28.9%となっています。

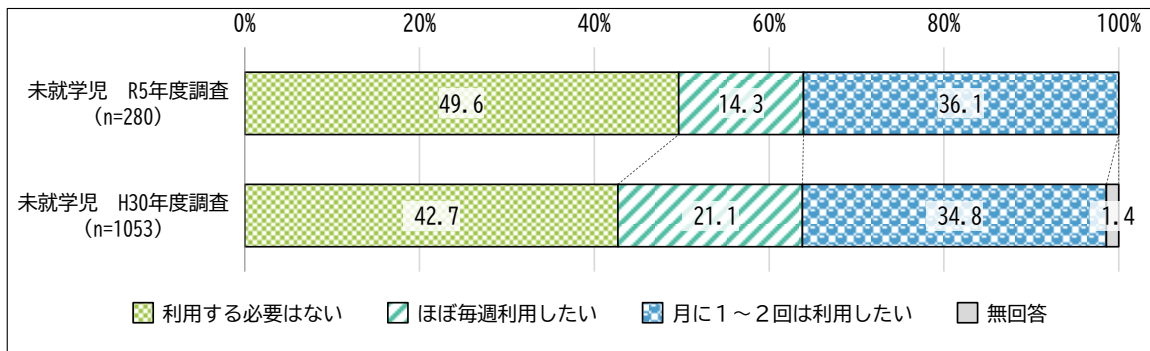


## 5. 対象のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

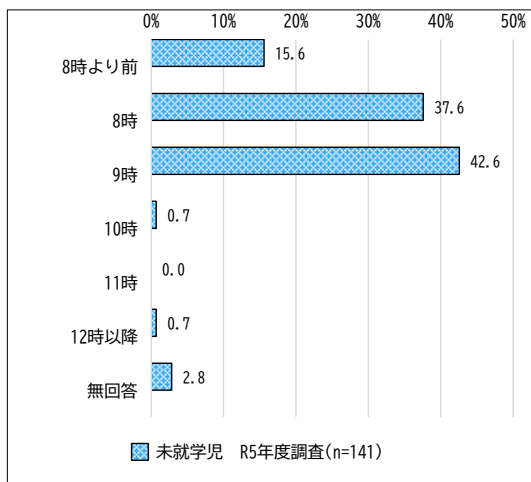
問16 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（単数回答）

### （1）土曜日

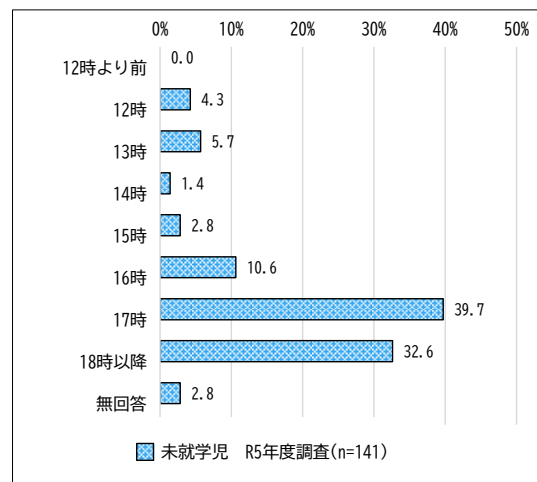
○土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が49.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」36.1%、「ほぼ毎週利用したい」14.3%となっています。  
○土曜日の利用希望時刻について、開始時刻では「9時」が42.6%、終了時刻では「17時」が39.7%と最も高くなっています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】



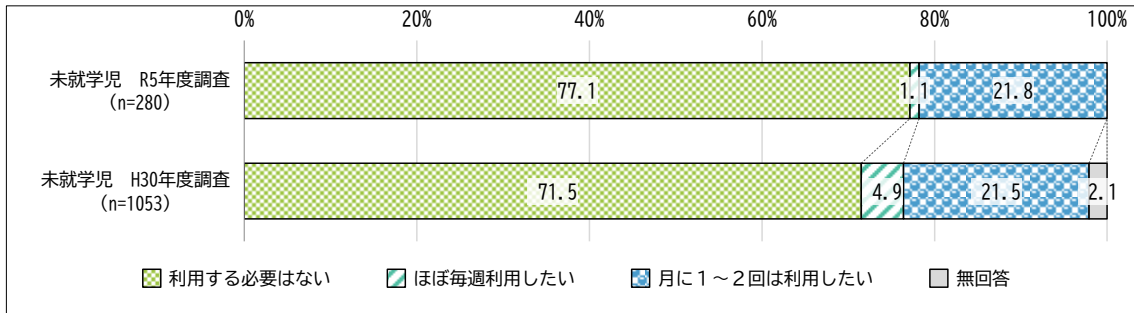
【利用したい時間帯（終了時刻）】



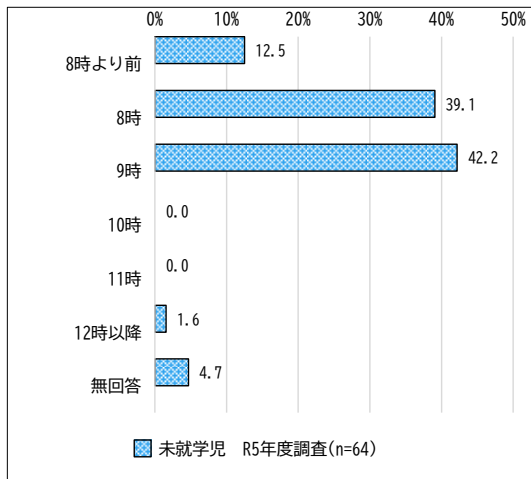
## (2) 日曜・祝日

○日曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が77.1%最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」21.8%、「ほぼ毎週利用したい」1.1%となっています。

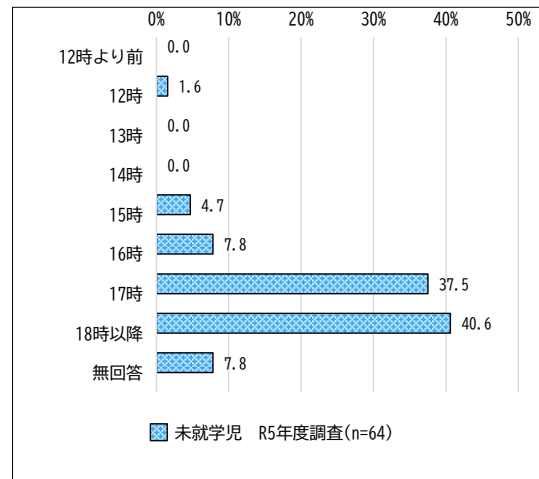
○日・祝日の利用希望時刻について、開始時刻では「8時」「9時」が、終了時刻では「17時」「18時以降」が4割前後と高くなっています。



【利用したい時間帯（開始時間）】

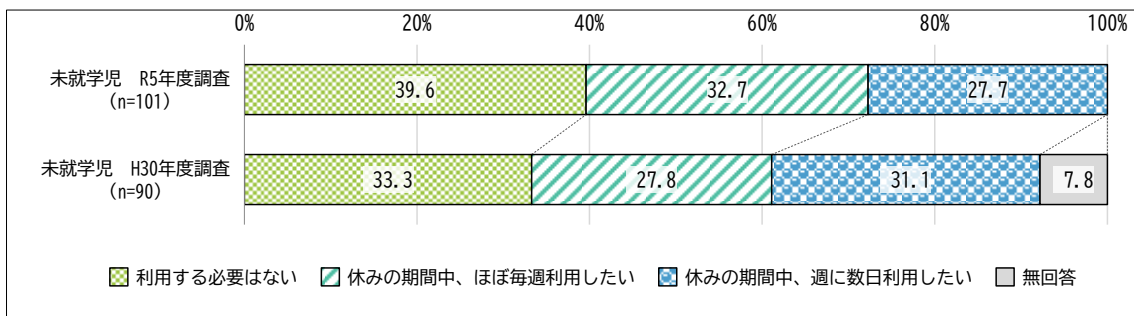


【利用したい時間帯（終了時間）】

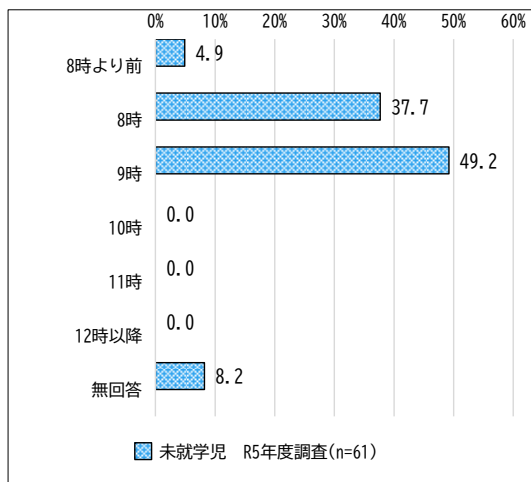


**問17 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（単数回答）**

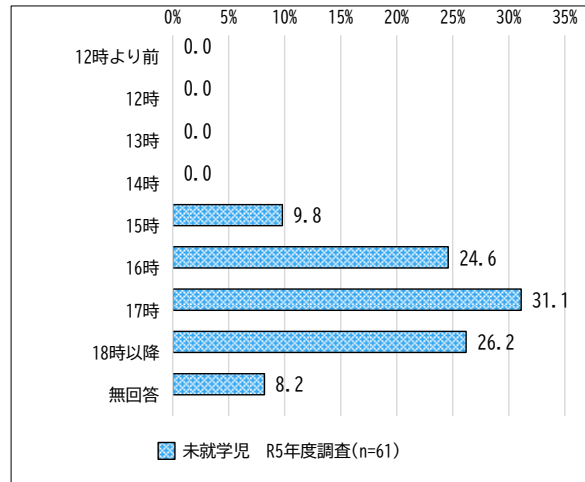
- 長期休暇期間中の利用希望については、「利用する必要はない」が39.6%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」32.7%、「休みの期間中、週に数日利用したい」27.7%となっています。
- 長期休暇期間中の利用希望時刻について、開始時刻では「9時」が49.2%、終了時刻では「17時」が31.1%と最も高くなっています。



【利用したい時間帯（開始時間）】



【利用したい時間帯（終了時間）】

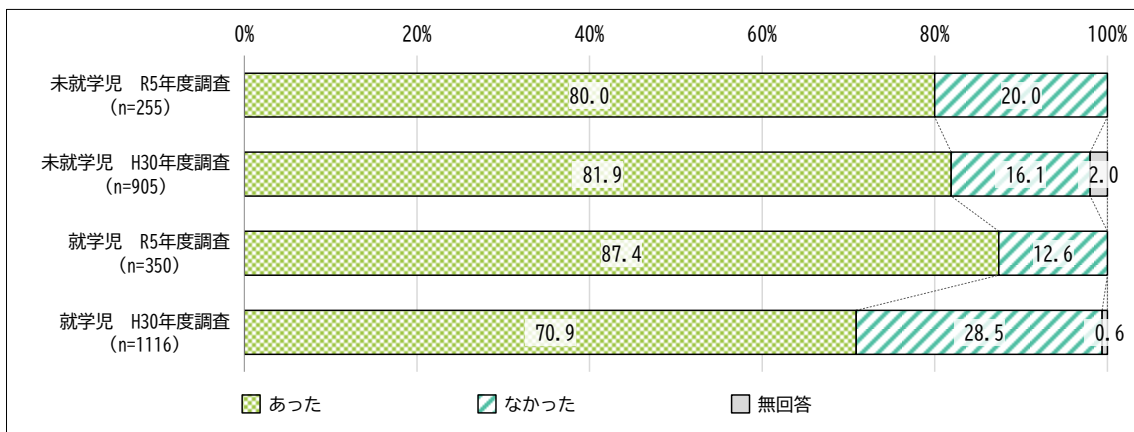


## 6. 対象のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問10で1を回答した方）のみ

問18 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(単数回答)

- 未就学児及び就学児ともに「あった」が8割を超えており、「なかった」が2割程度となっています。
- 前回調査との比較をみると、就学児では「あった」が高く、「なかった」が低くなっており、15ポイント以上差が生じています。



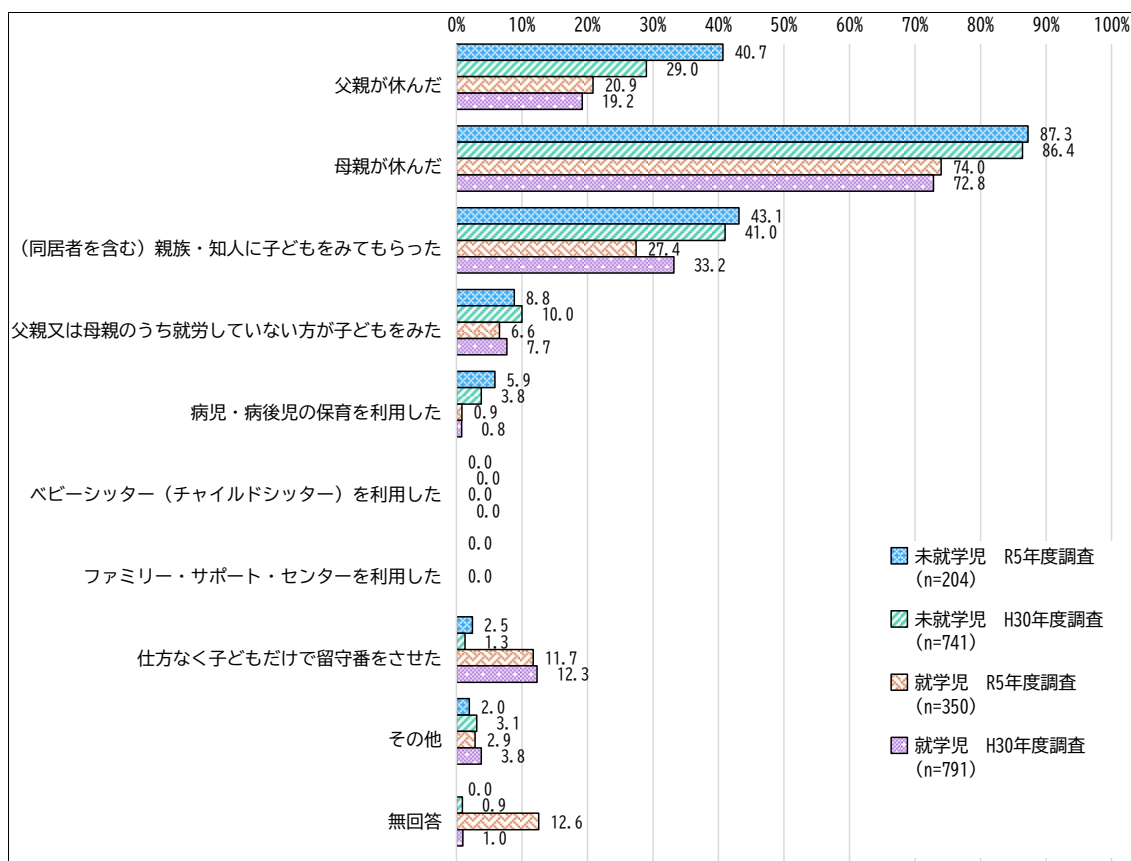


問18で「1. あった」と回答した方のみ

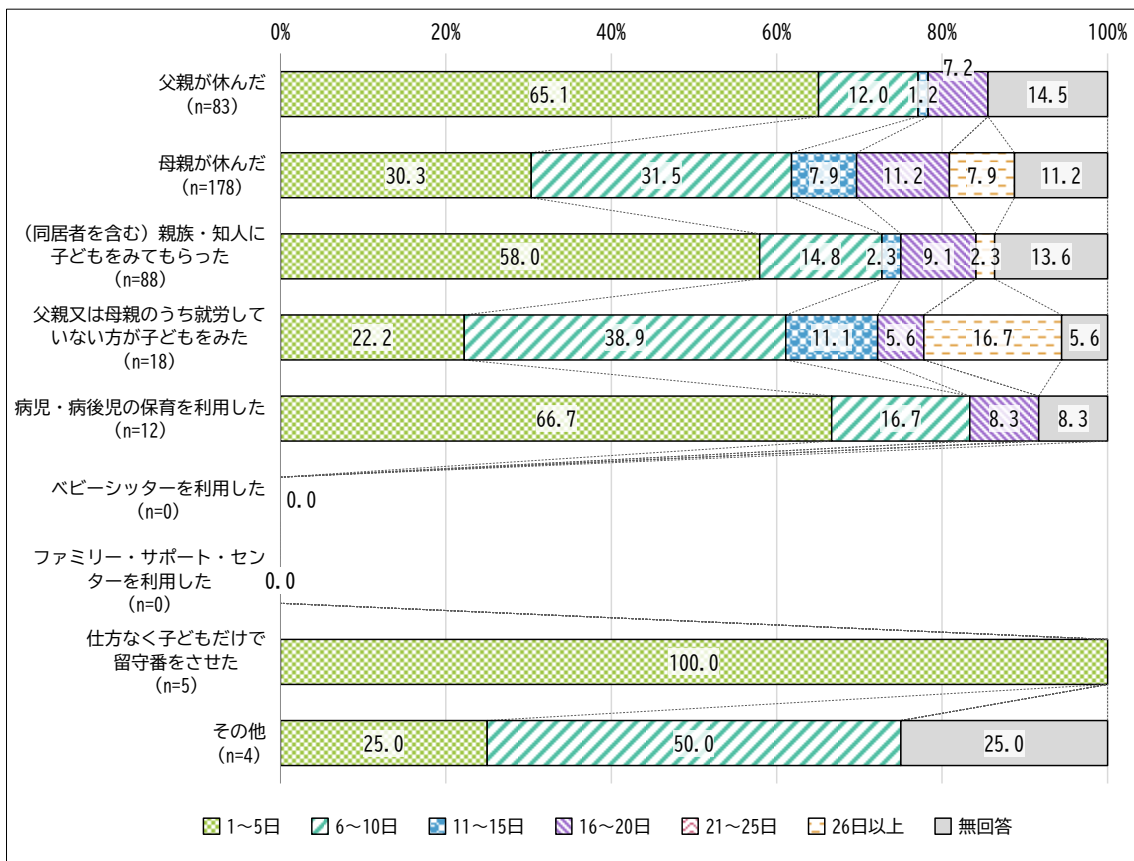
問18-1 対象のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をおうかがいします。  
(複数回答)

- 未就学児及び就学児ともに「母親が休んだ」(未就学児：87.3%、就学児：74.0%)が最も高く、特に未就学児は9割近くが母親が休んだと回答しています。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(未就学児：43.1%、就学児：27.4%)、「父親が休んだ」(未就学児：40.7%、就学児：20.9%)となっています。
- 前回調査との比較をみると、未就学児では「父親が休んだ」が11.7ポイント高くなっています。

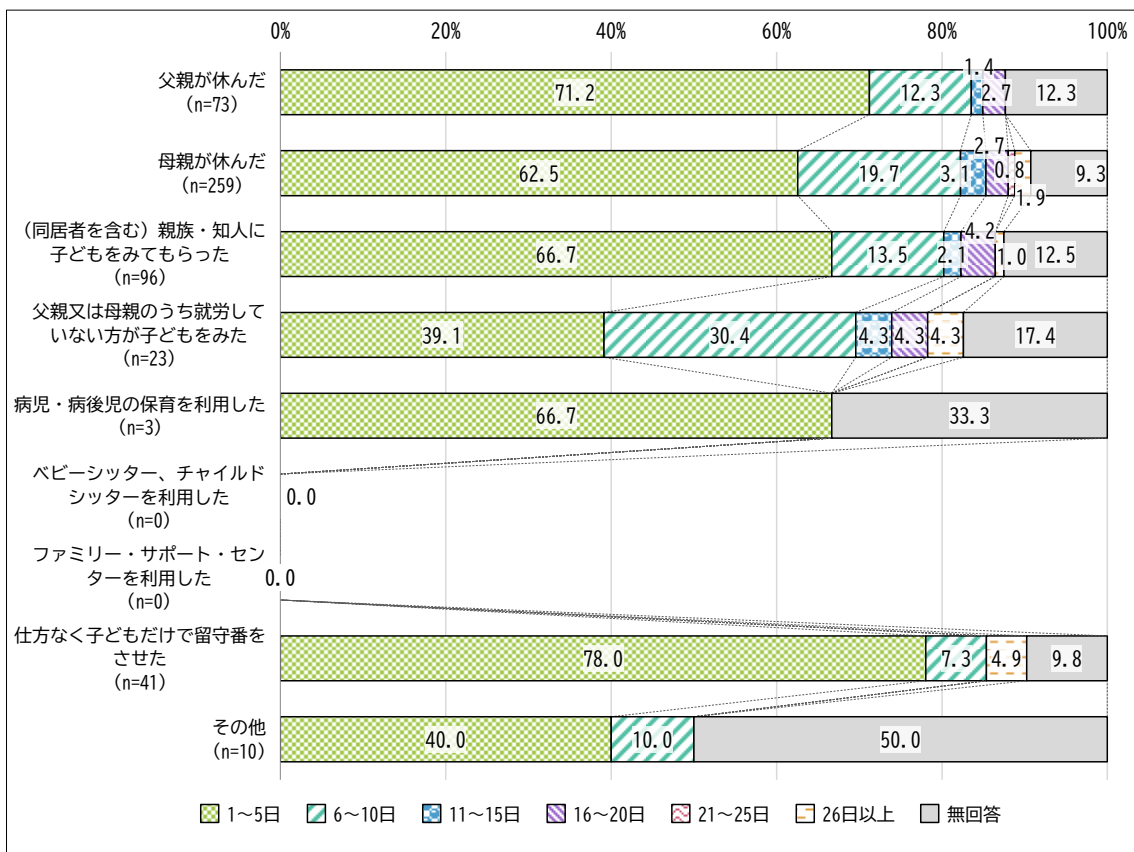
【1年間の対処方法】



### 【1年間の対処日数（未就学児）】

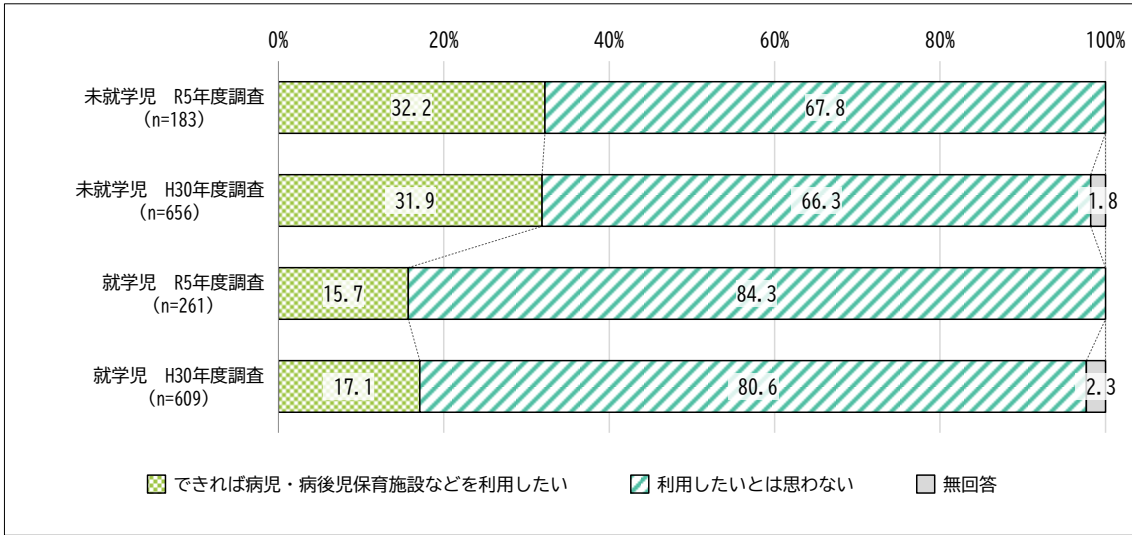


### 【1年間の対処日数（就学児）】

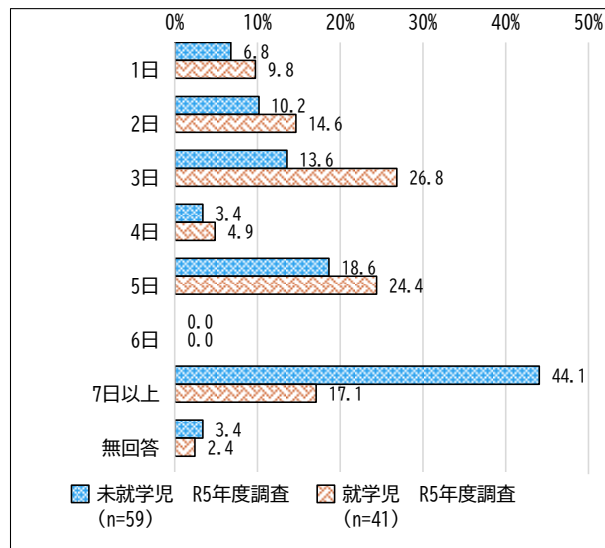


問18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

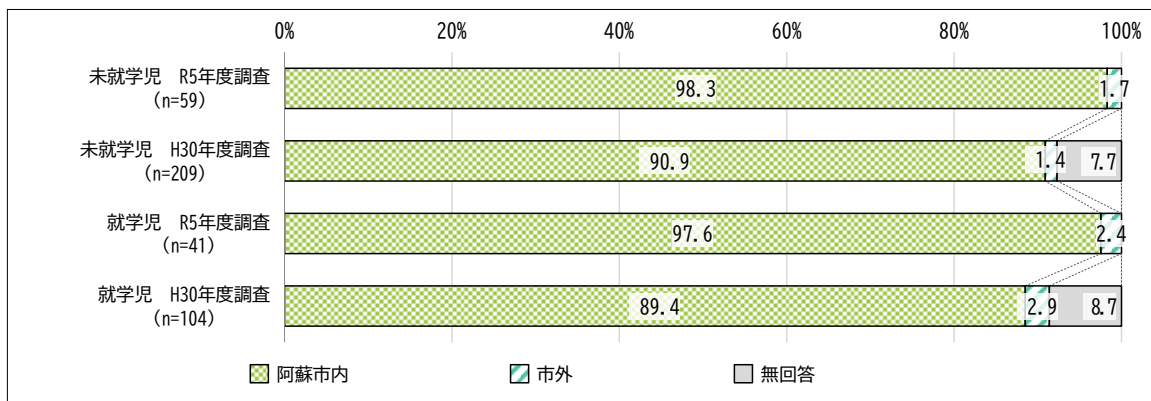
- 未就学児及び就学児ともに「利用したいとは思わない」（未就学児：67.8%、就学児：84.3%）が最も高くなっています。また、未就学児では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が3割を超えています。
- 利用したい日数では、未就学児では「7日以上」が44.1%、就学児では「3日」が26.8%と最も高くなっています。
- 利用したい場所では、未就学児及び就学児ともに「阿蘇市内」の割合が9割を超えて高くなっています。



【病児・病後児保育施設等を利用したい年間日数】



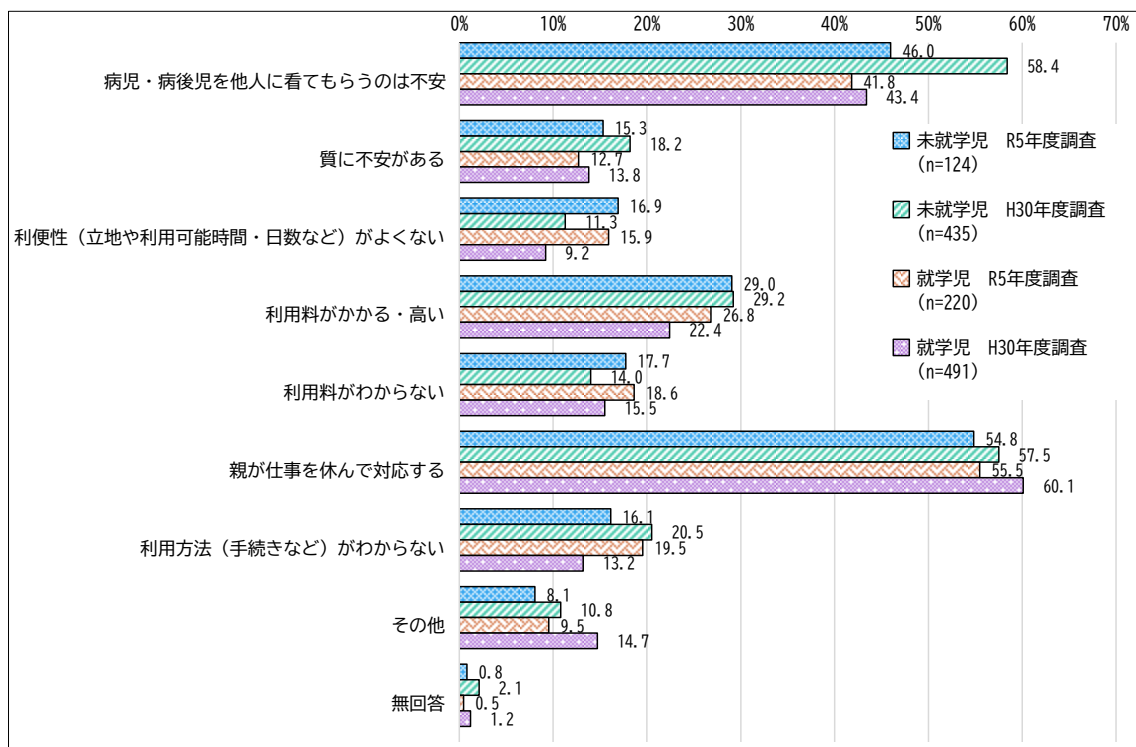
### 【病児・病後児保育施設等を利用したい場所】



問18-2で「2. 利用したいと思わない」と回答した方のみ

### 問18-3 「利用したいと思わない」理由はなんですか。(複数回答)

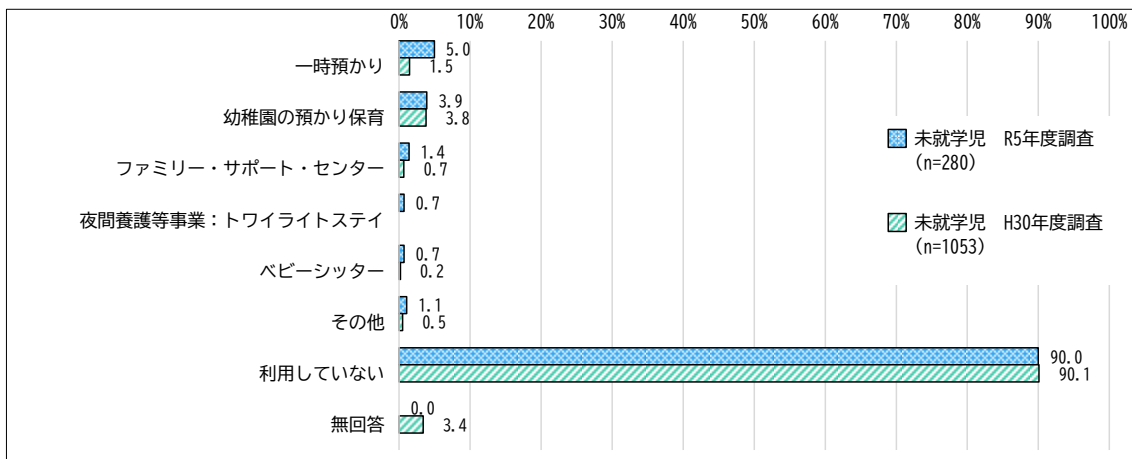
- 未就学児及び就学児ともに「親が仕事を休んで対応する」(未就学児：54.8%、就学児：55.5%)が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(未就学児：46.0%、就学児：41.8%)、「利用料がかかる・高い」(未就学児：29.0%、就学児：26.8%)となっています。
- 前回調査との比較をみると、未就学児では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が12.4ポイント低くなっています。



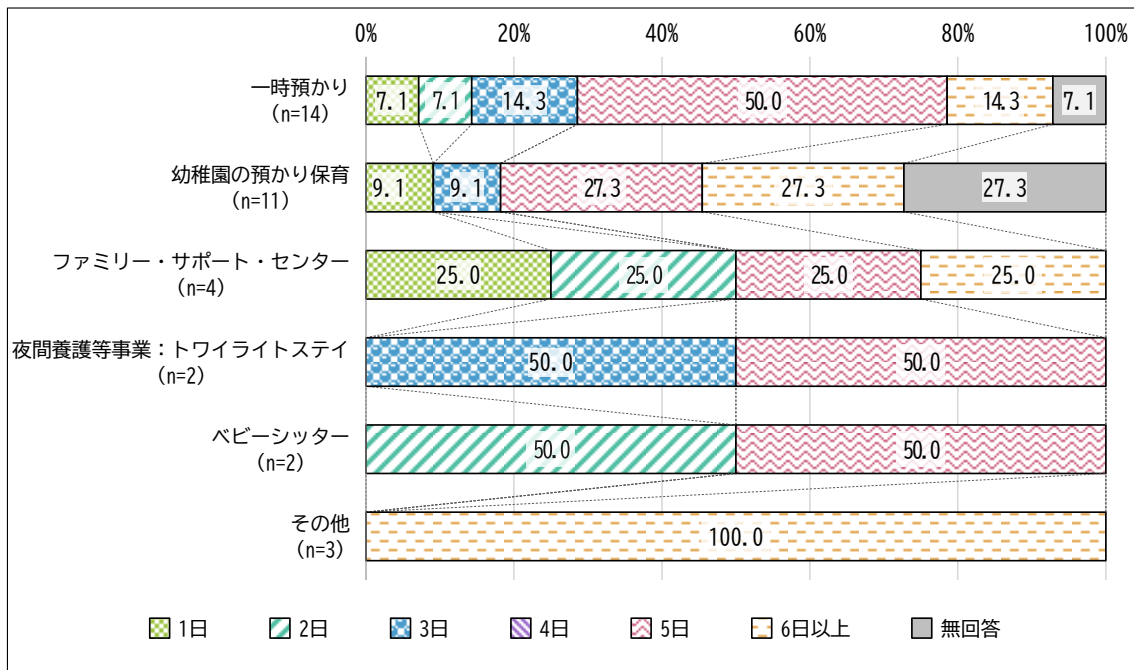
## 7. 対象のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問19 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。  
(複数回答)

○「利用していない」が90.0%と最も高く9割を超えています。



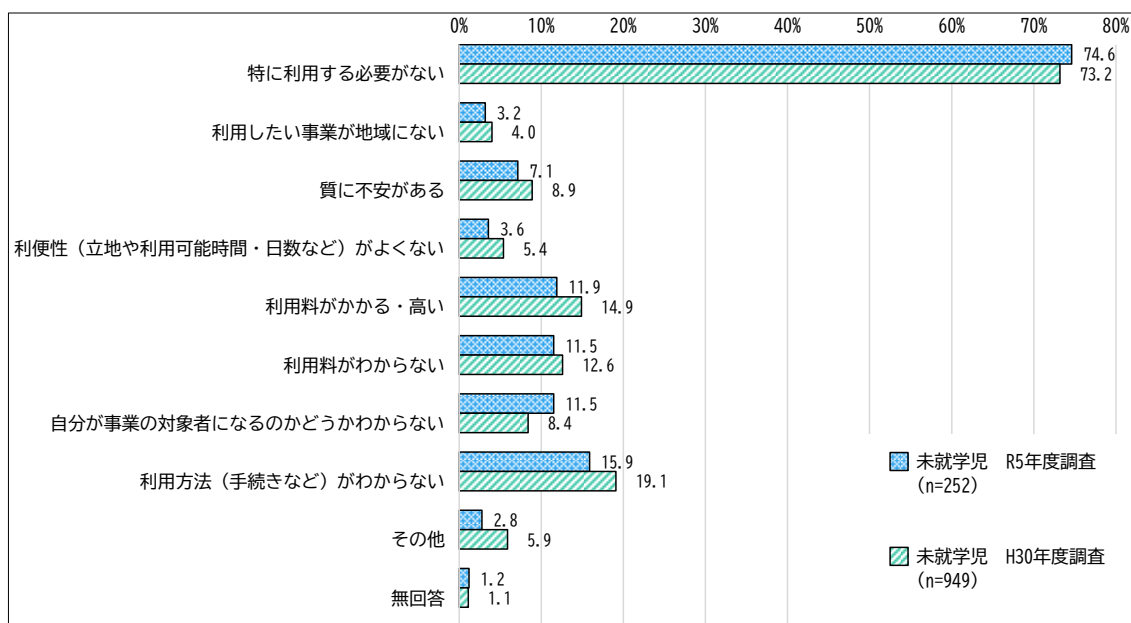
【1年間の利用日数】



問19で「7. 利用していない」と回答した方のみ

問19-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

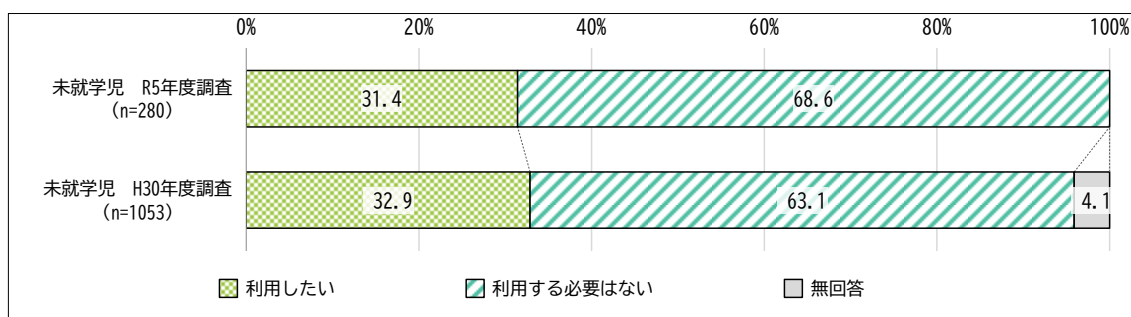
○「特に利用する必要がない」が74.6%と最も高く、次いで「利用方法（手続きなど）がわからない」15.9%、「利用料がかかる・高い」11.9%となっています。



問20 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問19の事業を利用する必要があると思いますか。(単数回答)

○利用希望については、「利用したい」が31.4%、「利用する必要はない」が68.6%となっています。

【利用希望の有無】

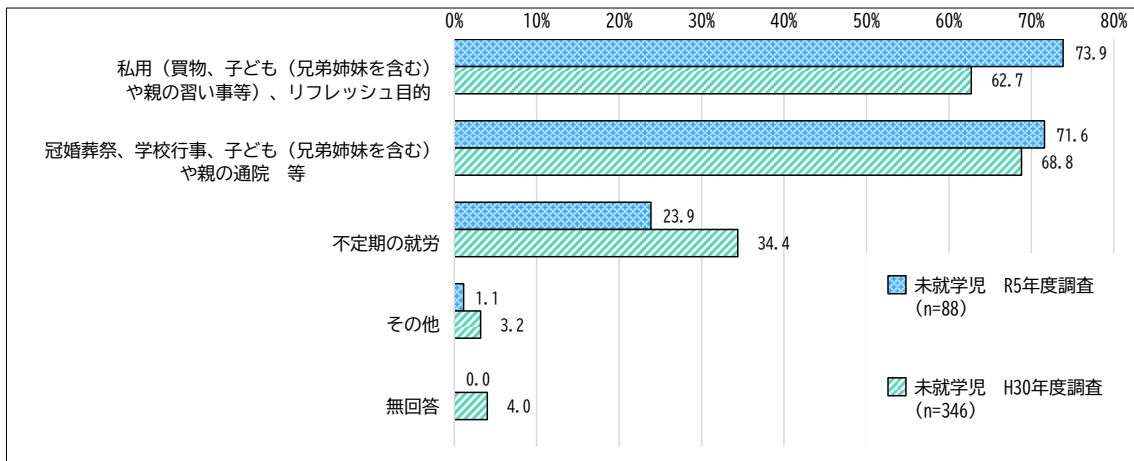


問20で「1」と回答した方のみ

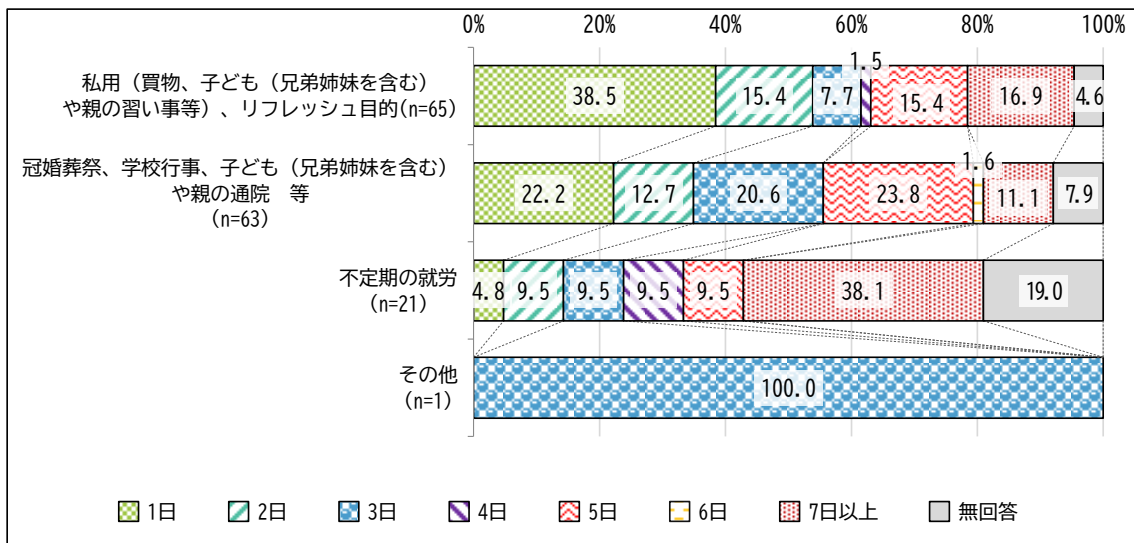
問20-1 どのような目的で事業を利用する必要があると思いますか。また、選ばれた目的の必要な日数をご回答ください。(複数回答)

- 利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が73.9%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が71.6%、「不定期の就労」23.9%となっています。
- 前回調査との比較では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が高く、「不定期の就労」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 利用希望日数については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が「1日」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が「5日」、「不定期の就労」が「7日以上」と高くなっています。

【利用目的】

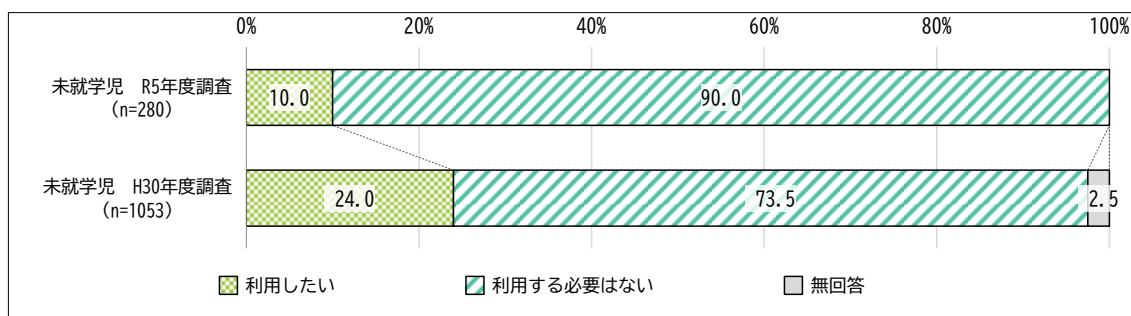


【利用希望日数】



**問21 対象のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、短期入所生活支援事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用する必要がありますか。（単数回答）**

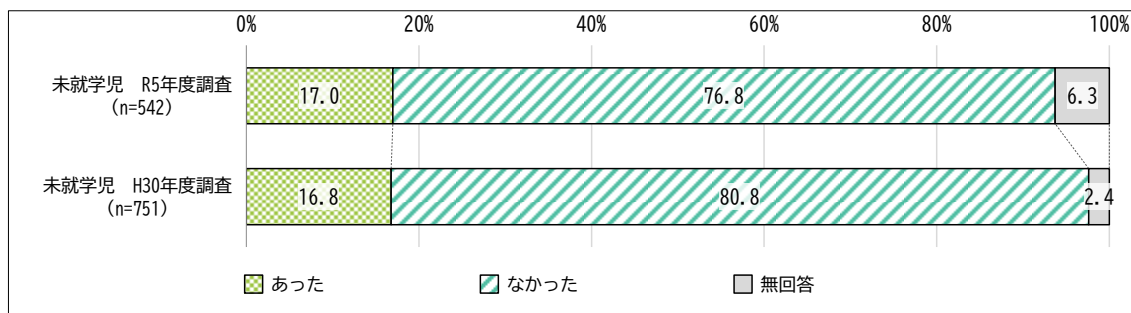
- 「利用したい」が10.0%、「利用する必要はない」90.0%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「利用したい」が低く、「利用する必要はない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



問21で「1」と回答した方のみ

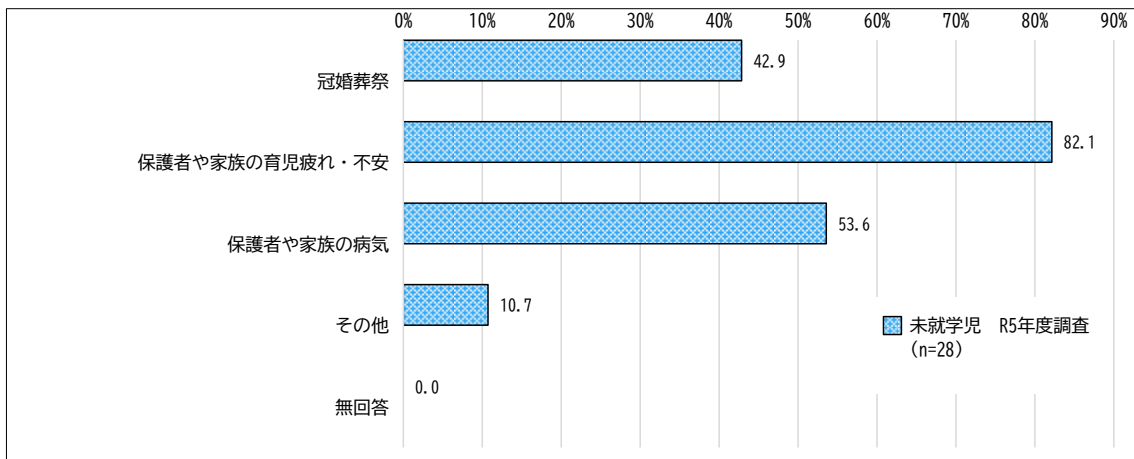
**問21-1 保護者のどのような用事で泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。また、用事の必要な泊数をご回答ください。（複数回答）**

- 「あった」が17.0%、「なかった」が76.8%となっています。
- 利用目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が82.1%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」53.6%、「冠婚葬祭」42.9%となっています。
- 利用希望日数は、どの目的も「1泊」が最も高くなっています。

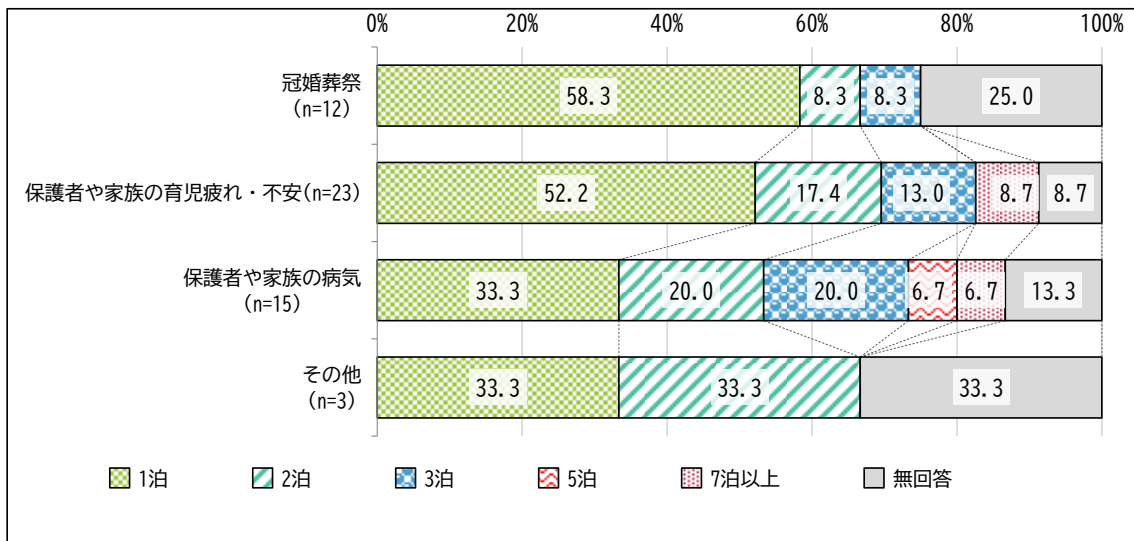




### 【利用目的】



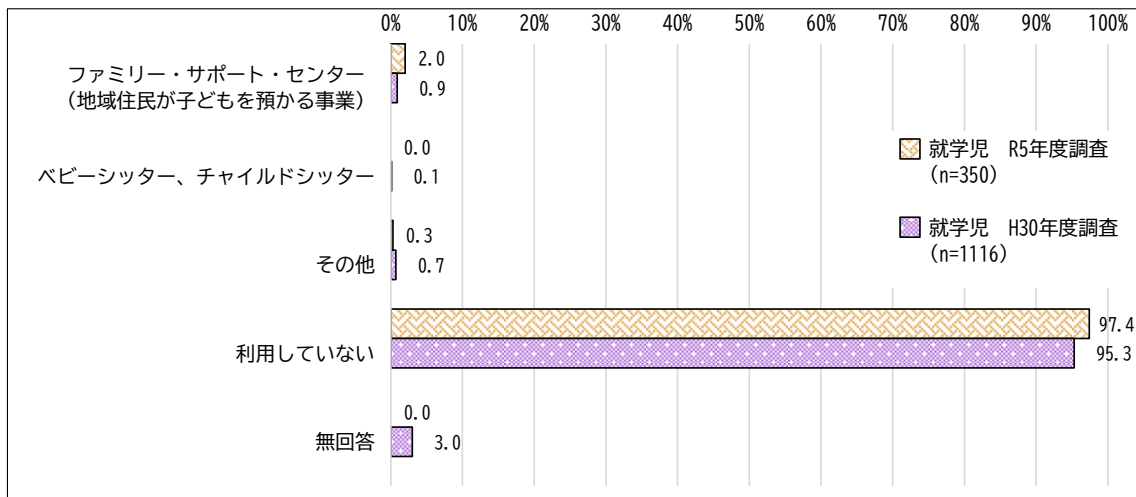
### 【利用希望日数】



(就学児向け調査のみ)

- 対象のお子さんについて、病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。（複数回答）

○ 「利用していない」が97.4%と最も高く9割を超えています。

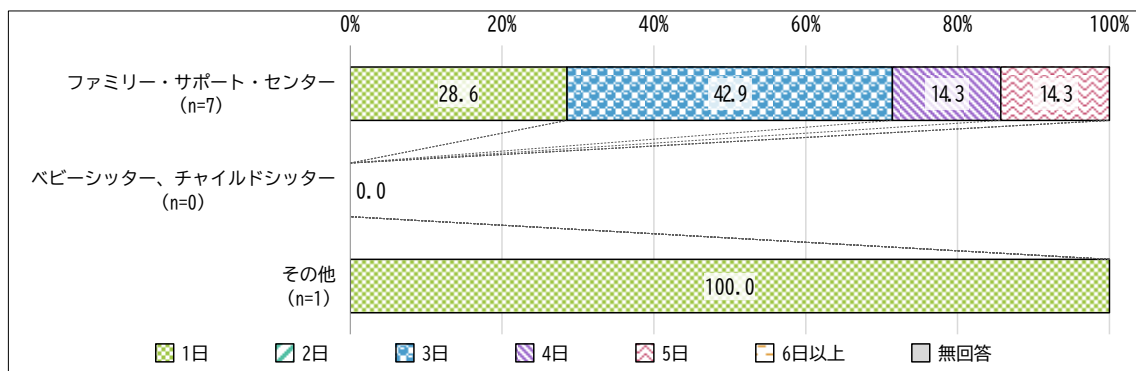


(就学児向け調査のみ)

前問で「1」と回答した方のみ

- 選ばれた目的の必要な日数をご回答ください。（複数回答）

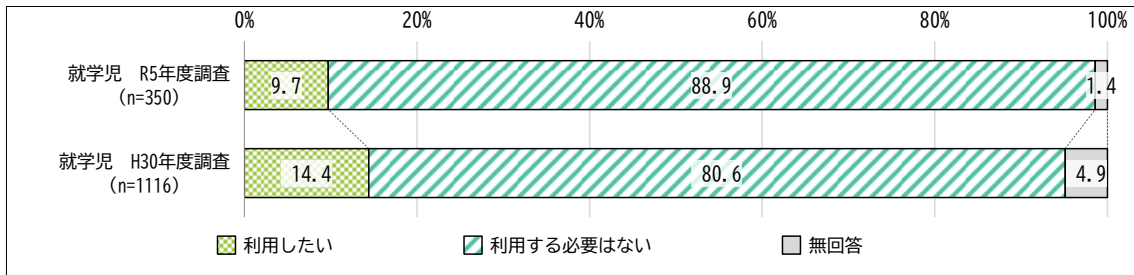
○ 必要日数については、サンプル数が少ないため参考程度。



(就学児向け調査のみ)

■ 対象のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不  
定期の就労等の目的で事業を利用する必要がありますか。（複数回答）

○ 「利用したい」が9.7%、「利用する必要はない」88.9%となっています。

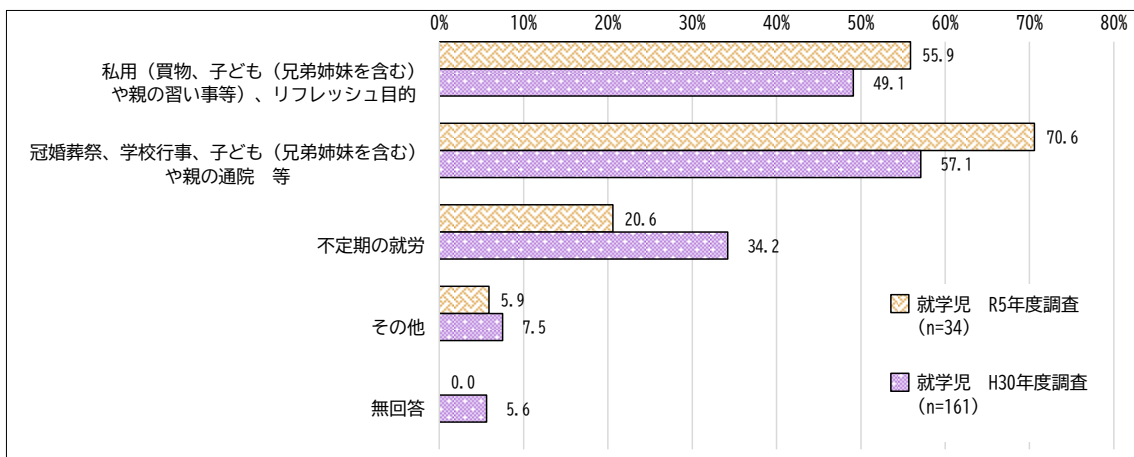


(就学児向け調査のみ)

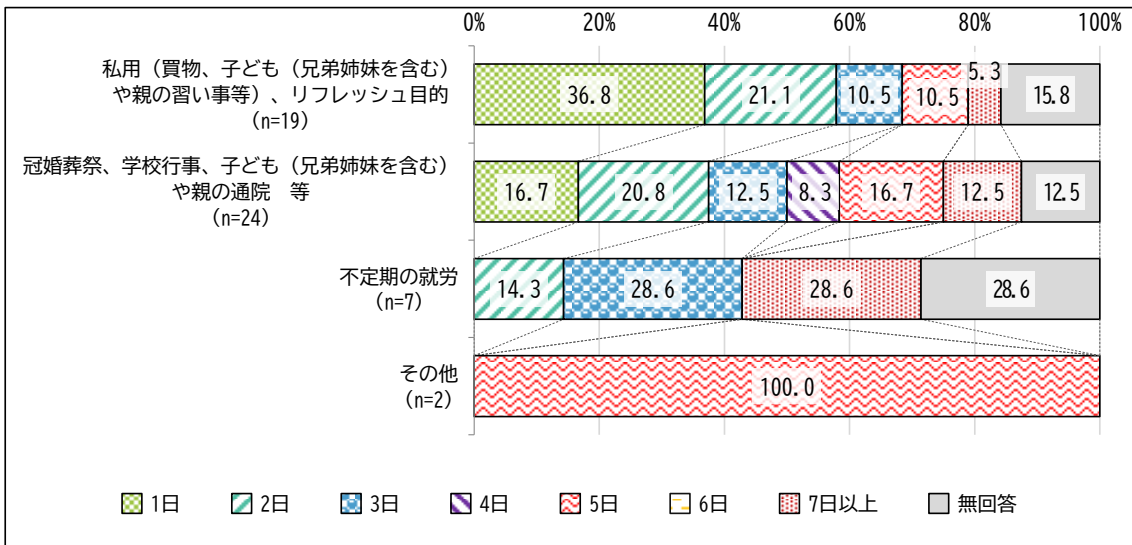
前問で「1」と回答した方のみ

■ どのような目的で事業を利用する必要がありますか。また選ばれた目的の必要な  
日数をご回答ください。（複数回答）

- 「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が70.6%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が55.9%、「不特定の就労」20.6%となっています。
- 前回調査より「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が高く、「不特定の就労」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 利用希望日数については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」利用したいが「1日」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が「2日」と最も高くなっています。



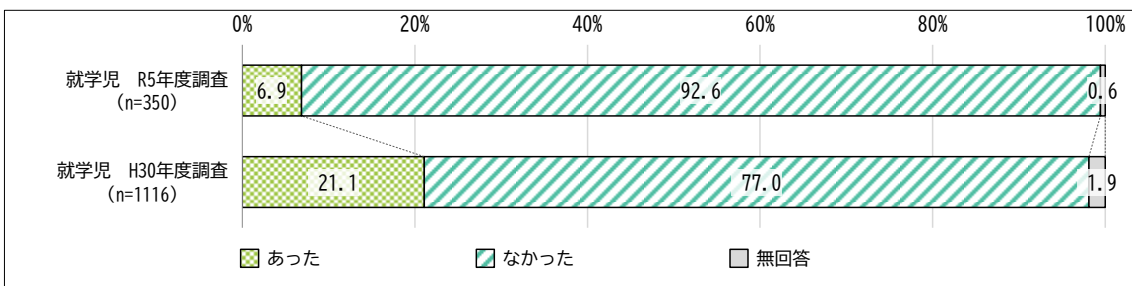
【利用希望日数】



（就学児向け調査のみ）

- この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（単数回答）

- 「あった」が6.9%、「なかった」92.6%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「あった」が低く、「なかった」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。

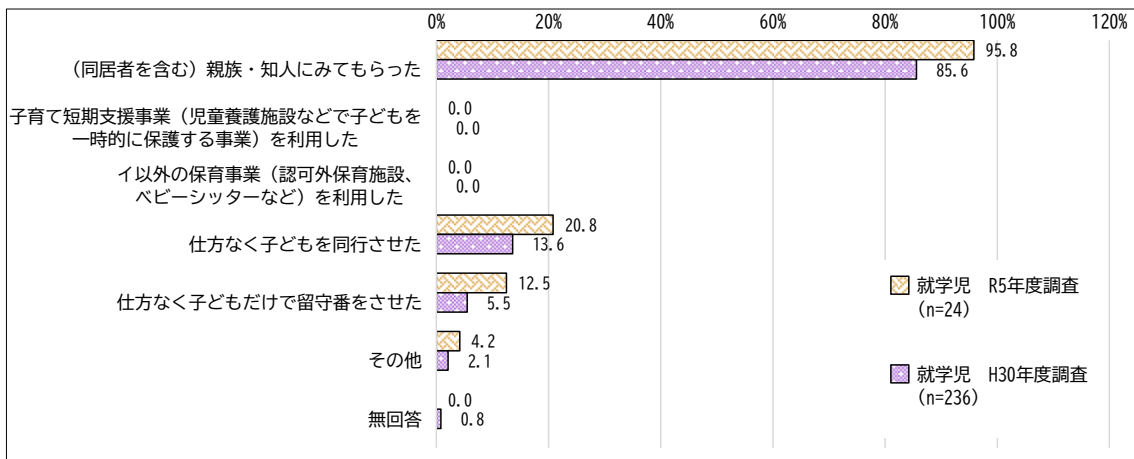


(就学児向け調査のみ)

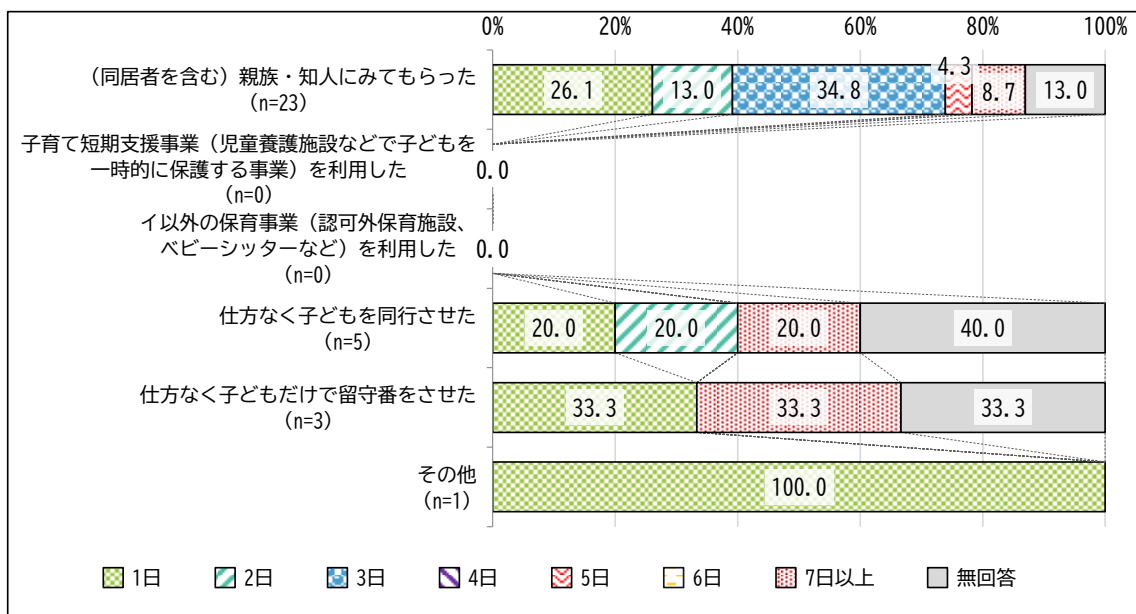
前問で「1」と回答した方のみ

■ この1年間の対処方法をすべて選んでください。また選ばれた目的の必要な日数をご回答ください。(複数回答)

- 「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 95.8%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」20.8%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」12.5%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 10.2 ポイント高くなっています。
- 利用希望日数については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」では「3日」が34.8%と最も高くなっています。



【利用希望日数】

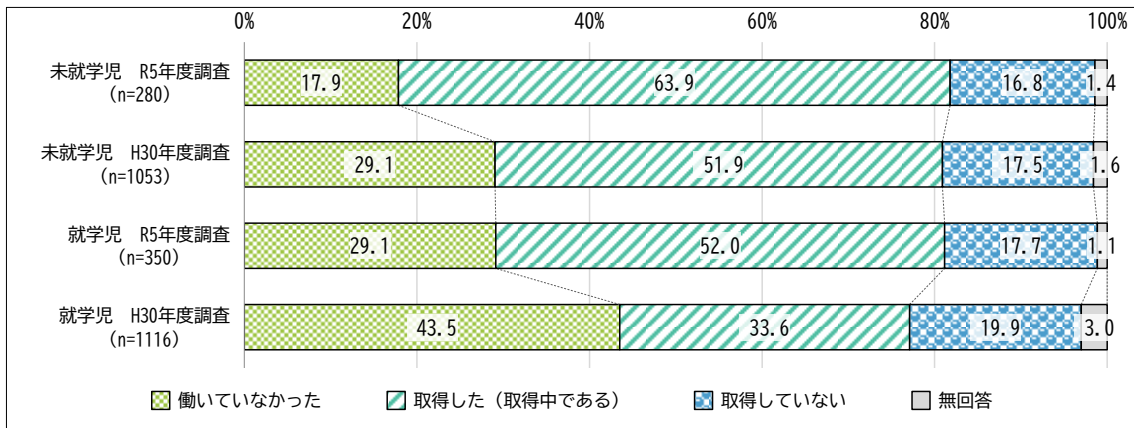


## 8. 育児休業など職場の両立支援制度について

### 問22 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

#### (1) 母親

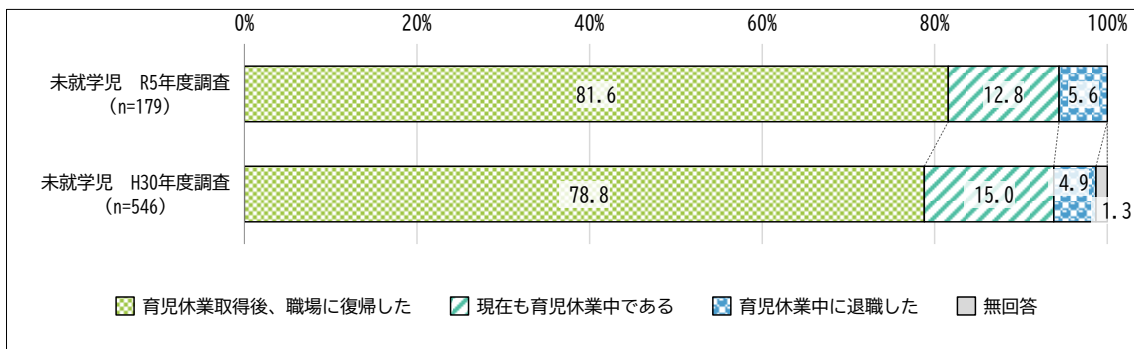
- 育児休業の取得について、母親では未就学児及び就学児ともに「取得した（取得中である）」（未就学児：63.9%、就学児：52.0%）が最も高く、次いで「働いていなかった」（未就学児：17.9%、就学児：29.1%）、「取得していない」（未就学児：16.8%、就学児：17.7%）となっています。
- 前回調査との比較をみると、未就学児及び就学児では「取得した（取得中である）」が高くなっており、「働いていなかった」が低くなっています。



#### (1) 母親で「2」と回答した方のみ

##### (1) 母親-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

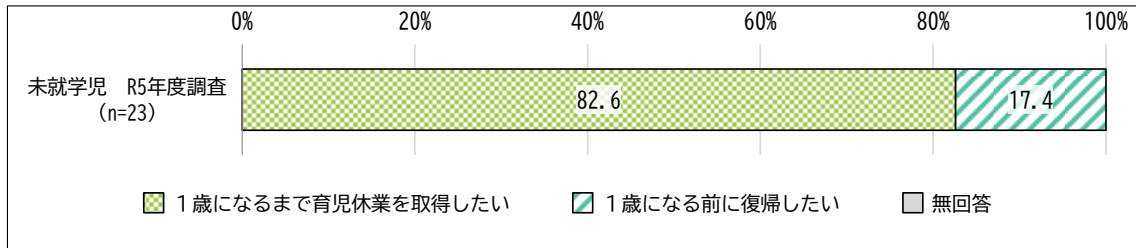
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」が81.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」12.8%、「育児休業中に退職した」5.6%となっています。



(1) 母親-1で「2」と回答した方のみ

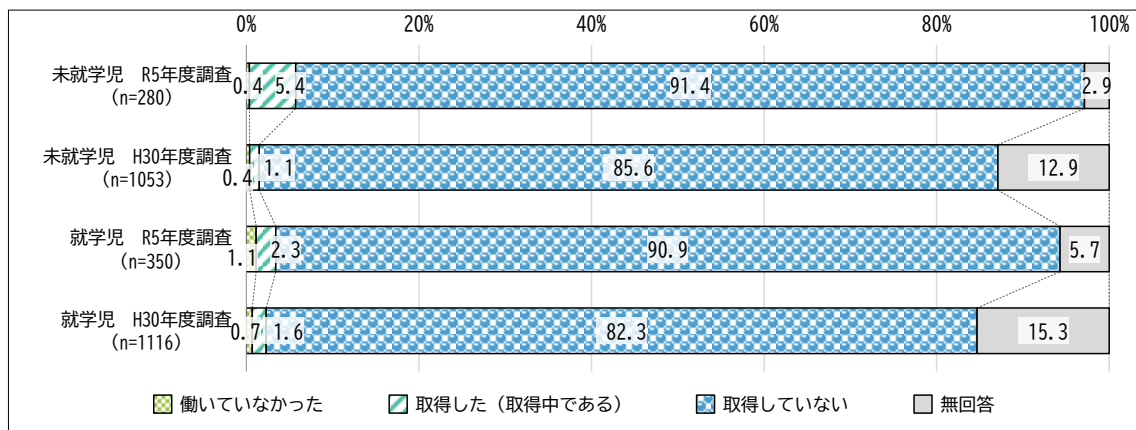
(1) 母親-2 対象のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

○「1歳になるまで育児休業を取得したい」は82.6%、「1歳になる前に復帰したい」は17.4%となっています。



(2) 父親

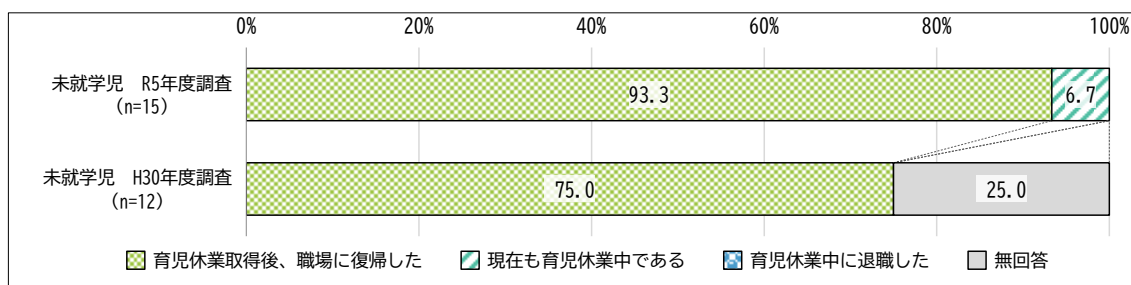
○育児休業の取得について、父親では未就学児及び就学児ともに「取得していない」(未就学児：91.4%、就学児：90.9%)が最も高く9割を超えています。



(1) 父親で「2」と回答した方のみ

(2) 父親-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

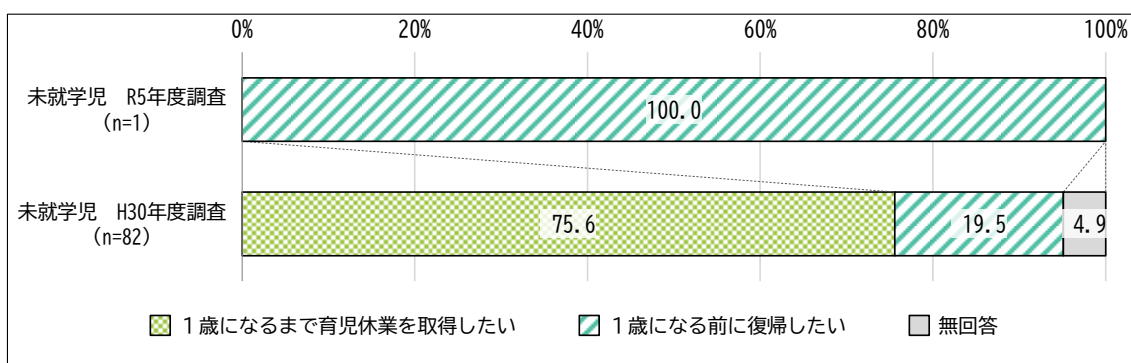
○「育児休業取得後、職場に復帰した」が93.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が6.7%となっています。



(1) 父親-1で「2」と回答した方のみ

(2) 父親-2 対象のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

○父親の預けられる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するかについては、サンプル数が少ないため参考程度。





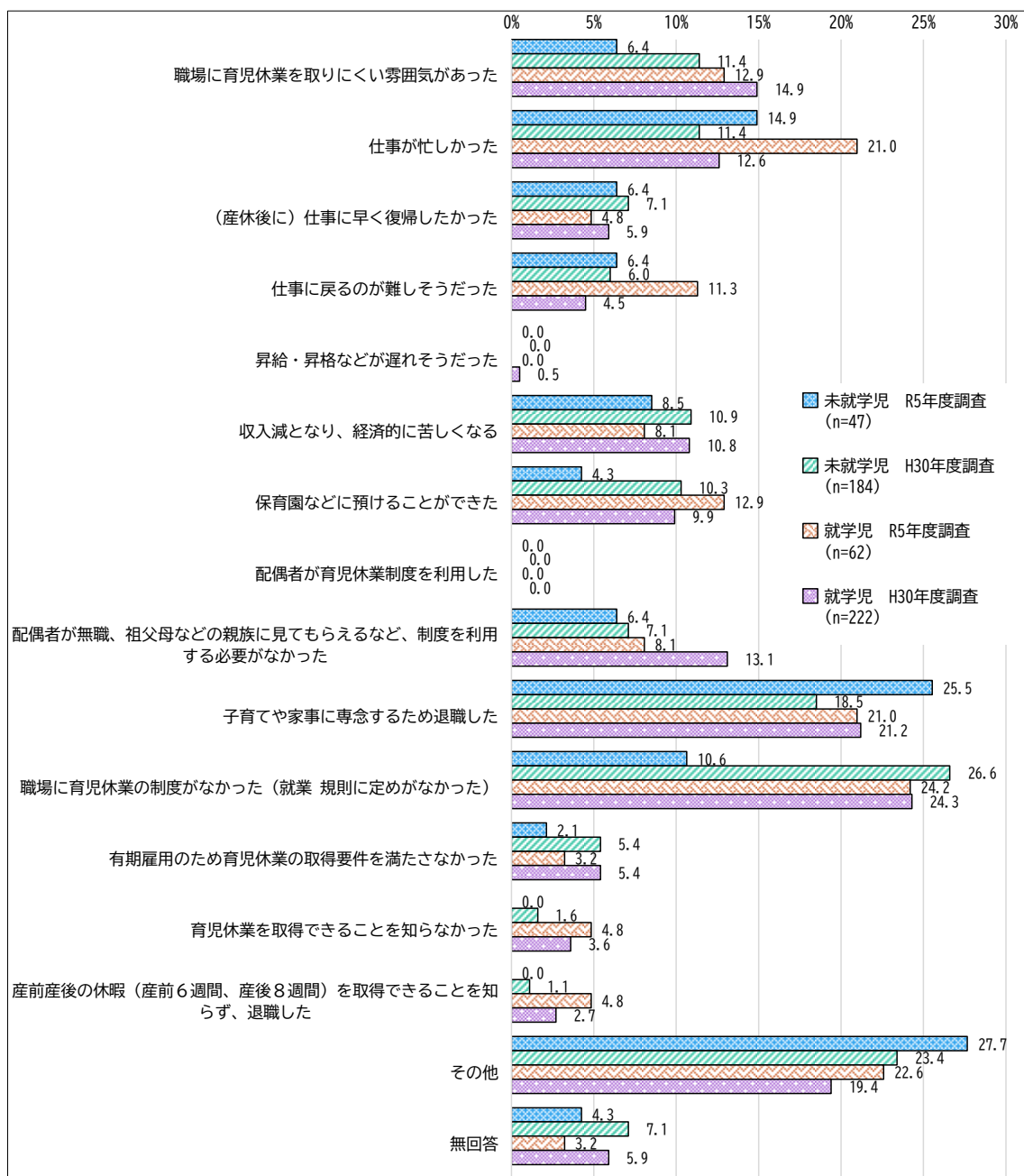
(1) 母親 (2) 父親それぞれで「3.取得していない」と回答した方のみ

問22-1 取得していない理由は何ですか。

(1) 母親

- 未就学児では「その他」が 27.7%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」25.5%、「仕事が忙しかった」14.9%となっています。
- 就学時では「職場に育児休業の制度がなかった（就業 規則に定めがなかった）」が 24.2%と最も高く、次いで「その他」22.6%、「仕事が忙しかった」「子育てや家事に専念するため退職した」共に 21.0%となっています。

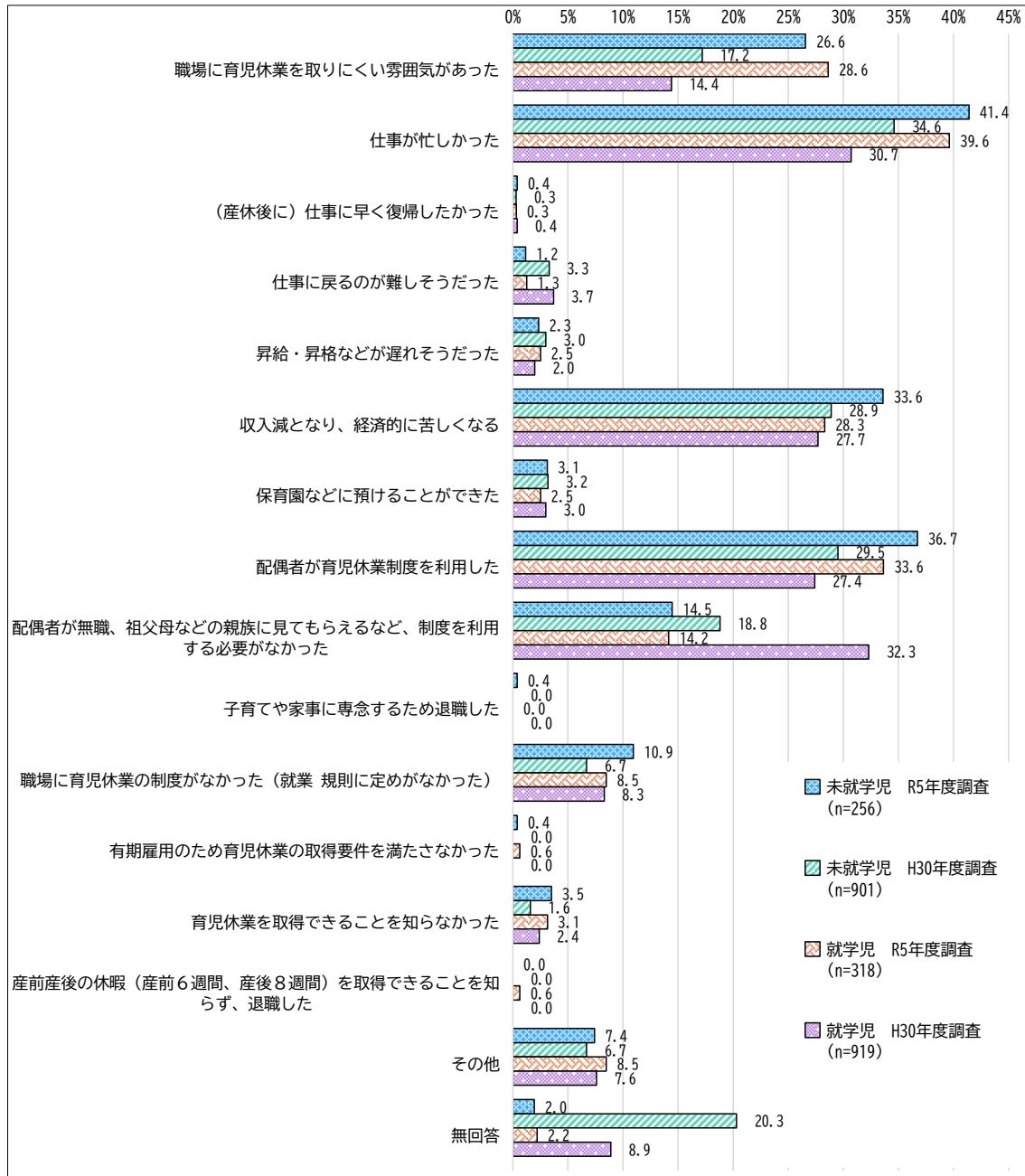
【取得していない理由】



## (2) 父親

○未就学児及び就学児ともに「仕事が忙しかった」(未就学児：41.4%、就学児：39.6%)が最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(未就学児：36.7%、就学児：33.6%)となっています。また、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が3割前後と高くなっています。

【取得していない理由】



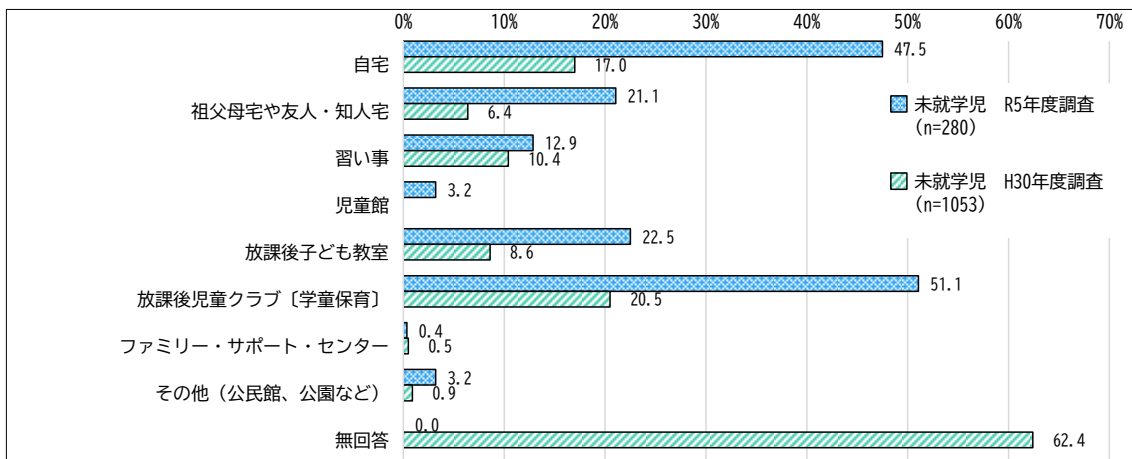
## 9. 対象のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問23 対象のお子さんが小学生になられた時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

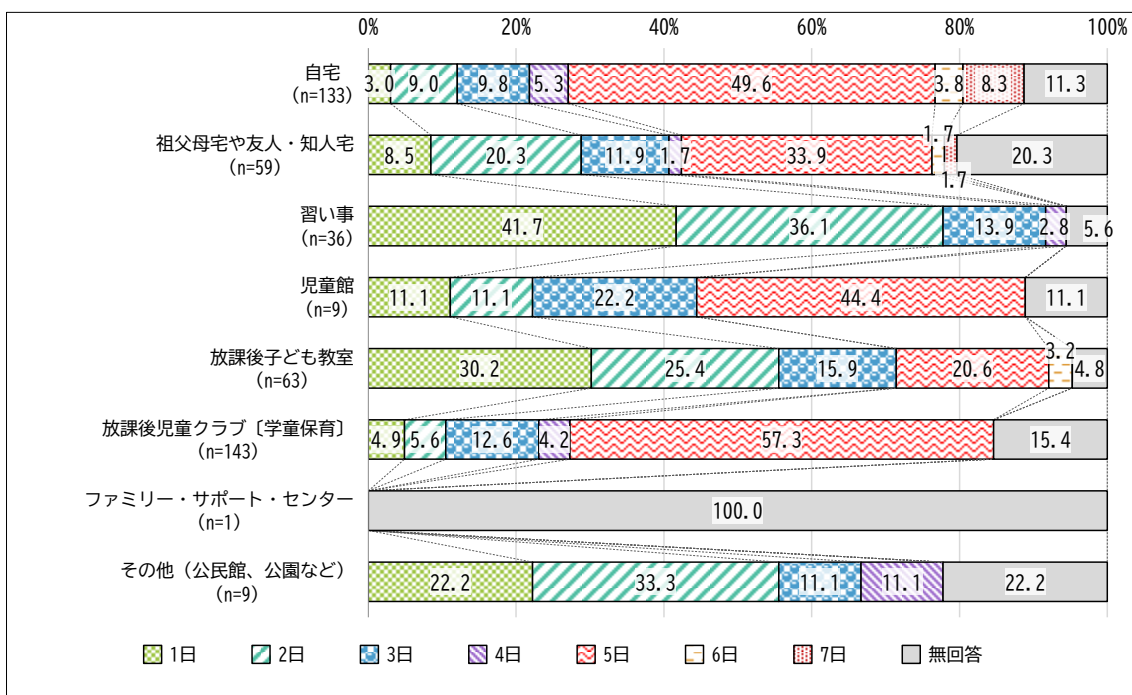
### (1) 小学校低学年（1～3年生）

○小学校低学年（1～3年生）では、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が51.1%と最も高く、次いで「自宅」47.5%、「放課後子ども教室」22.5%となっています。

○利用希望日数について、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では「5日」、「習い事」「放課後子ども教室」では「1日」が最も高くなっています。



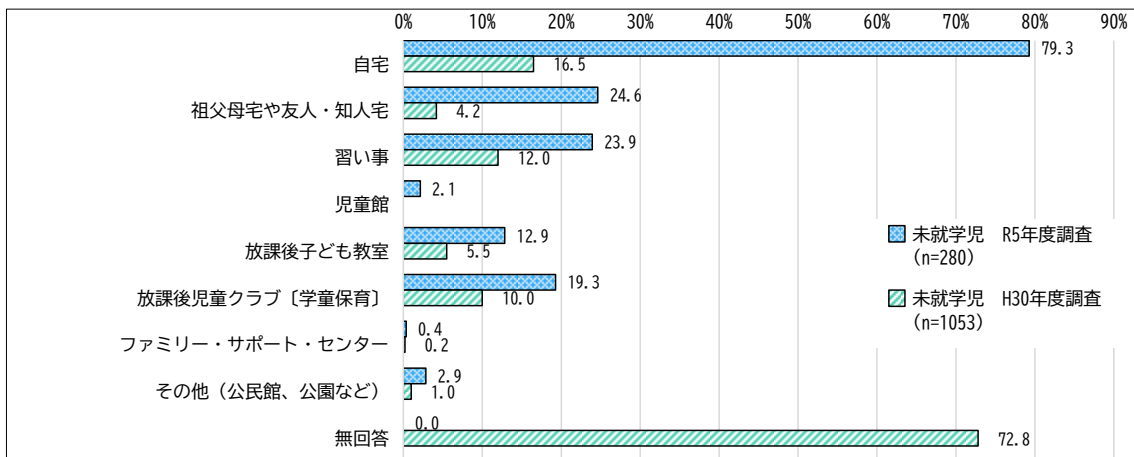
### 【利用希望日数】



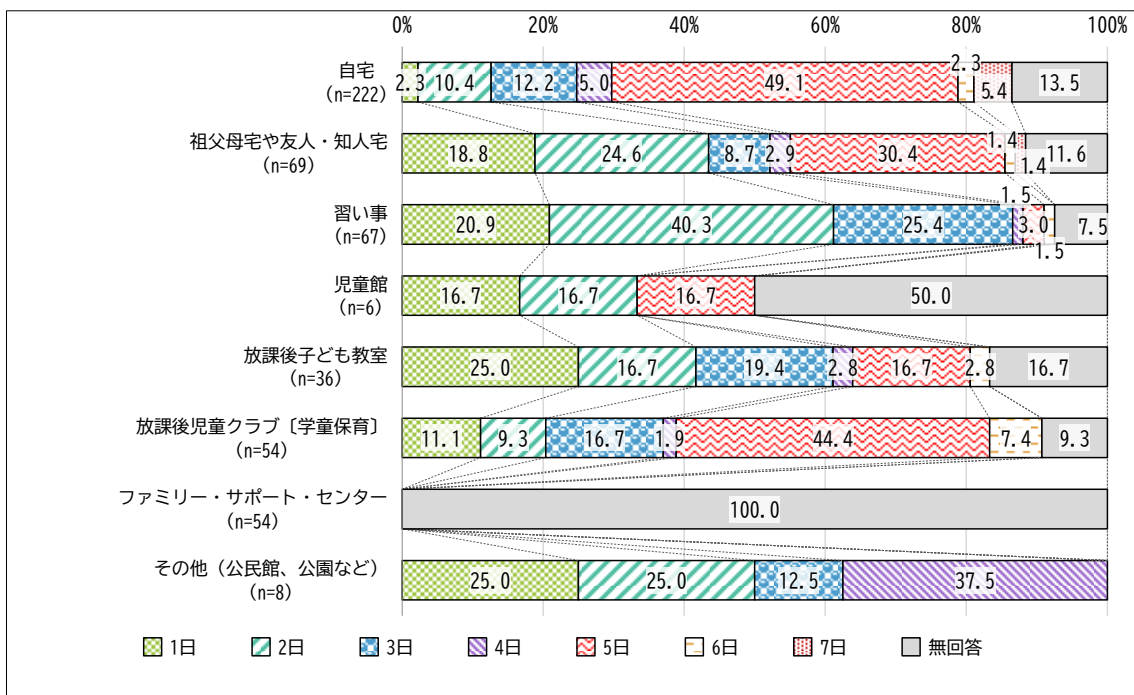
## (2) 小学校高学年（4～6年生）

○小学校高学年（4～6年生）では、「自宅」が79.3%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」24.6%、「習い事」23.9%となっています。

○利用希望日数について、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では「5日」、「習い事」では「2日」、「放課後子ども教室」では「1日」が最も高くなっています。



### 【利用希望日数】

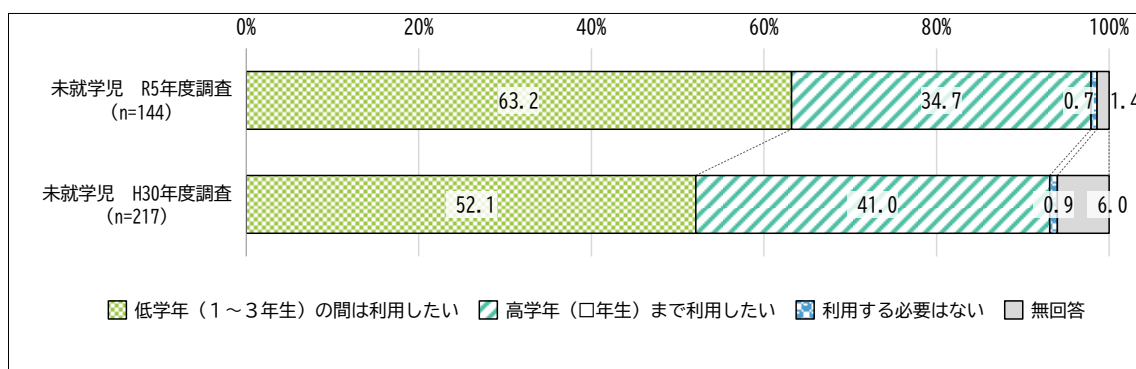


問23で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」を回答した方のみ

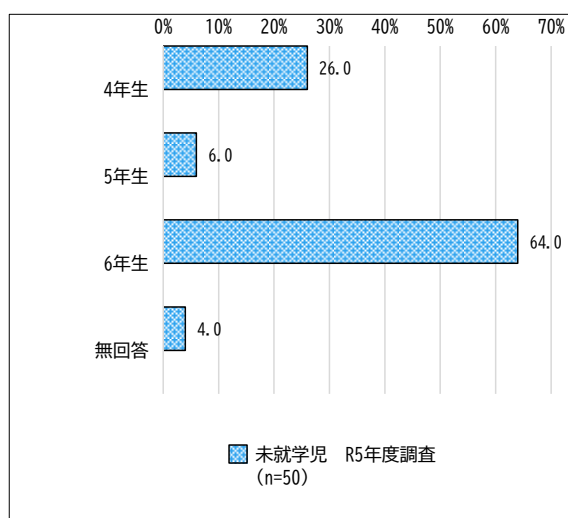
問23-1 対象のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用する場合、平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

(1) 平日

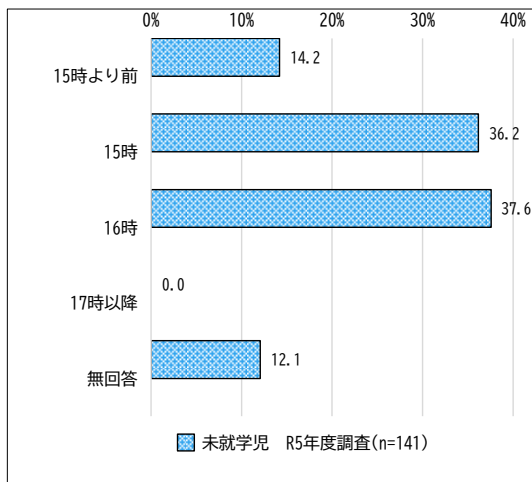
- 平日の利用希望について、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が63.2%と最も高く、次いで「高学年（4年生）まで利用したい」34.7%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.1ポイント高くなっています。
- 利用継続について、「6年生」が64.0%と最も高く、次いで「4年生」26.0%となっています。
- 利用希望時刻について、開始時刻では「15時」「16時」が3割を超えて高く、終了時刻では「18時」が60.3%と最も高くなっています。



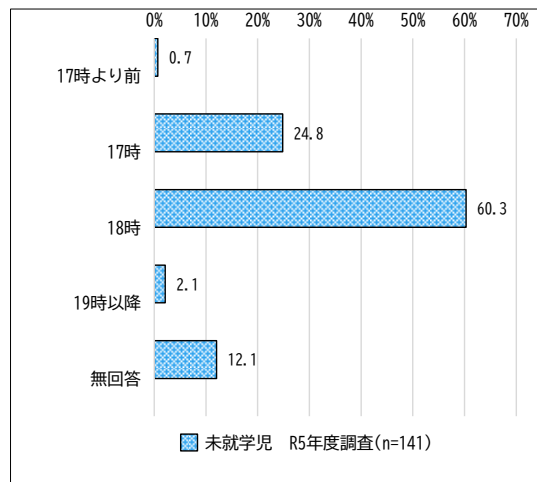
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時刻）】

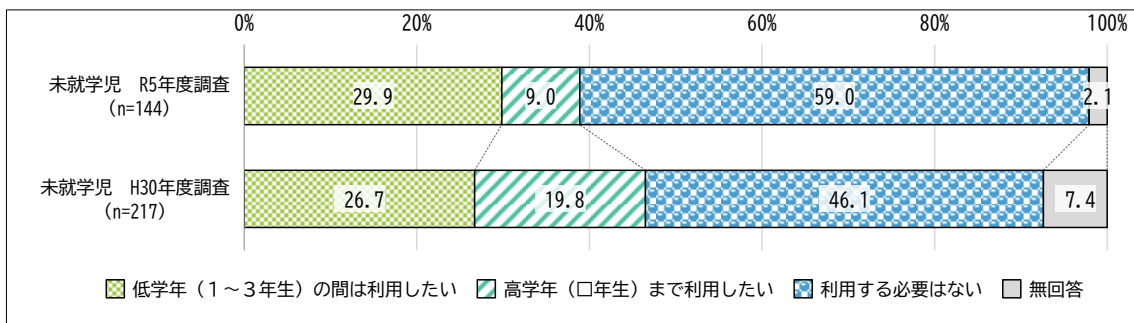


【利用したい時間帯（終了時刻）】

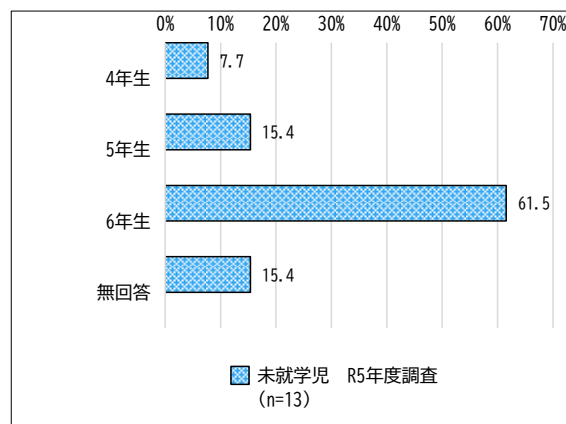


## (2) 土曜日

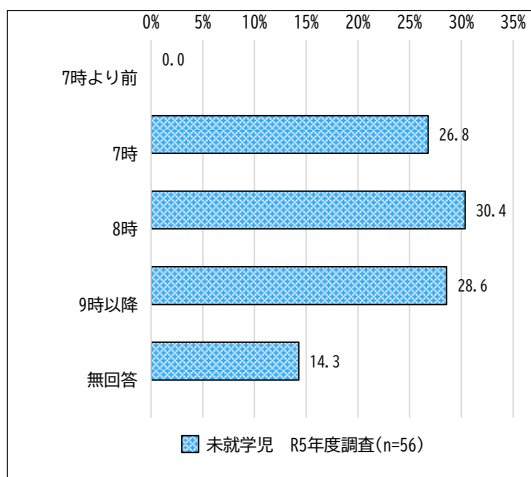
- 土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が59.0%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」29.9%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「利用する必要はない」が高く、「高学年（□年生）まで利用したい」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 利用継続について、「6年生」が61.5%と最も高く、次いで「5年生」が15.4%となっています。
- 利用希望時間について、開始時刻では「7時」「8時」「9時以降」が3割前後と高く、終了時刻では「18時」が50.0%と最も高くなっています。



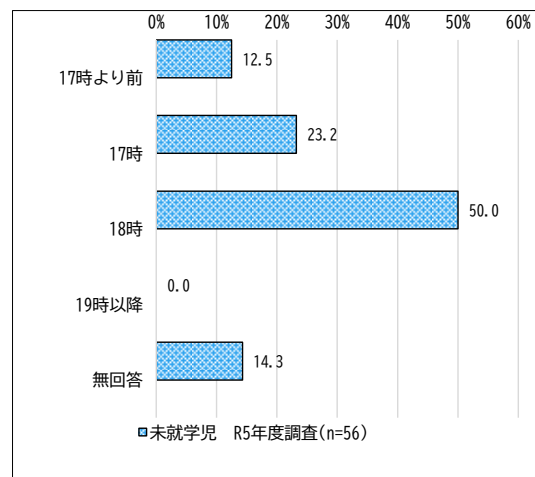
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時刻）】



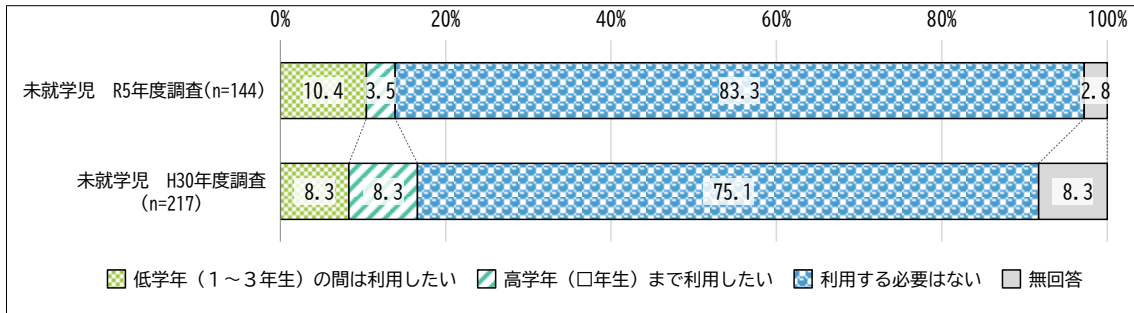
【利用したい時間帯（終了時刻）】



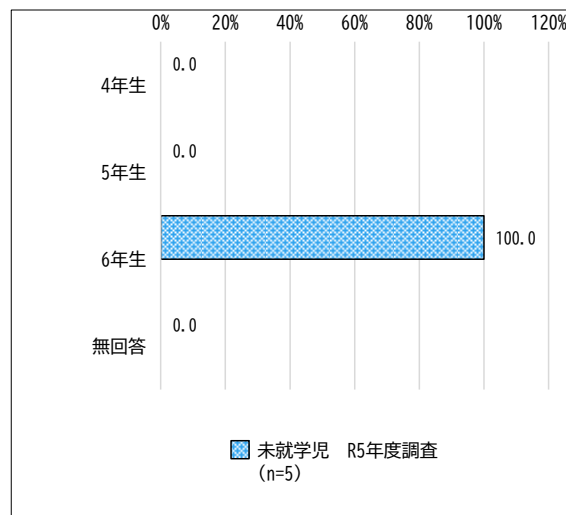
### (3) 日曜・祝日

○日曜・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が 83.3%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」10.4%となっています。

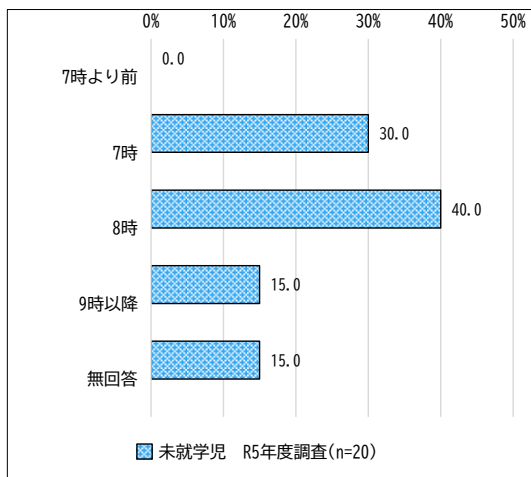
○利用希望時間について、開始時刻では「8時」が 40.0%、終了時刻では「18時」が 60.0%と最も高くなっています。



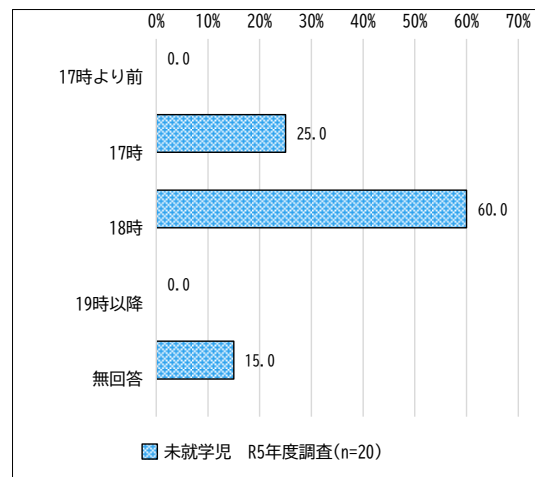
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時間）】



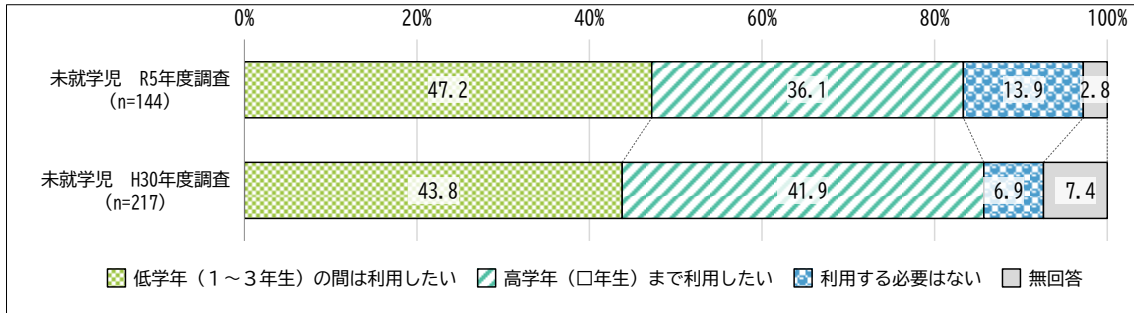
【利用したい時間帯（終了時間）】



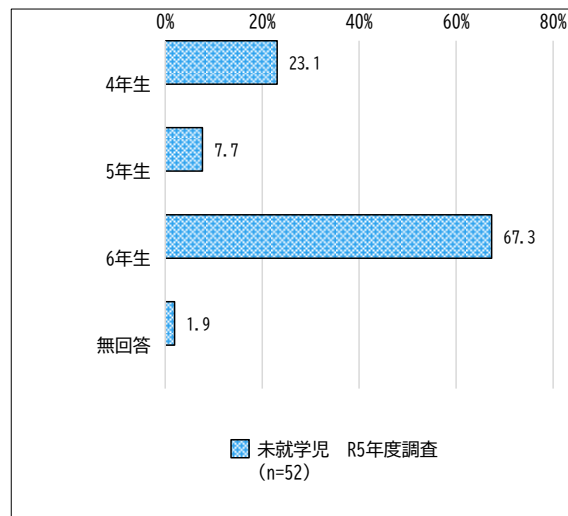


#### (4) 長期休暇中

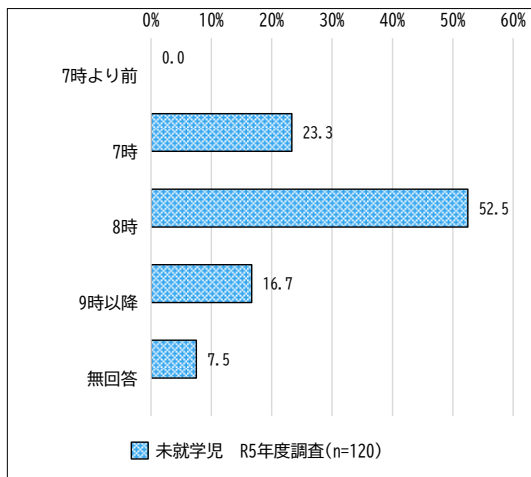
- 長期休暇中の利用希望について、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が47.2%と最も高く、次いで「高学年（□年生）まで利用したい」36.1%となっています。
- 利用継続について、「6年生」が67.3%と最も高く、次いで「4年生」23.1%となっています。
- 利用希望時間について、開始時刻では「8時」が52.5%、終了時刻では「18時」が53.3%と最も高くなっています。



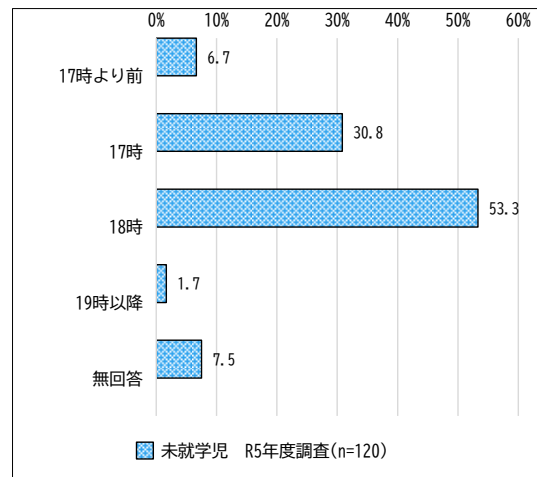
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時刻）】



【利用したい時間帯（終了時刻）】

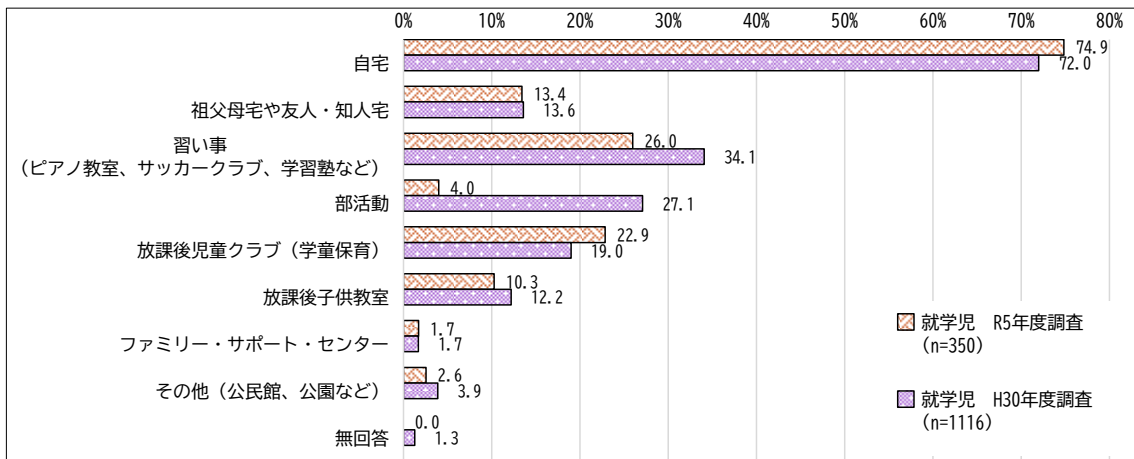


(就学児向け調査のみ)

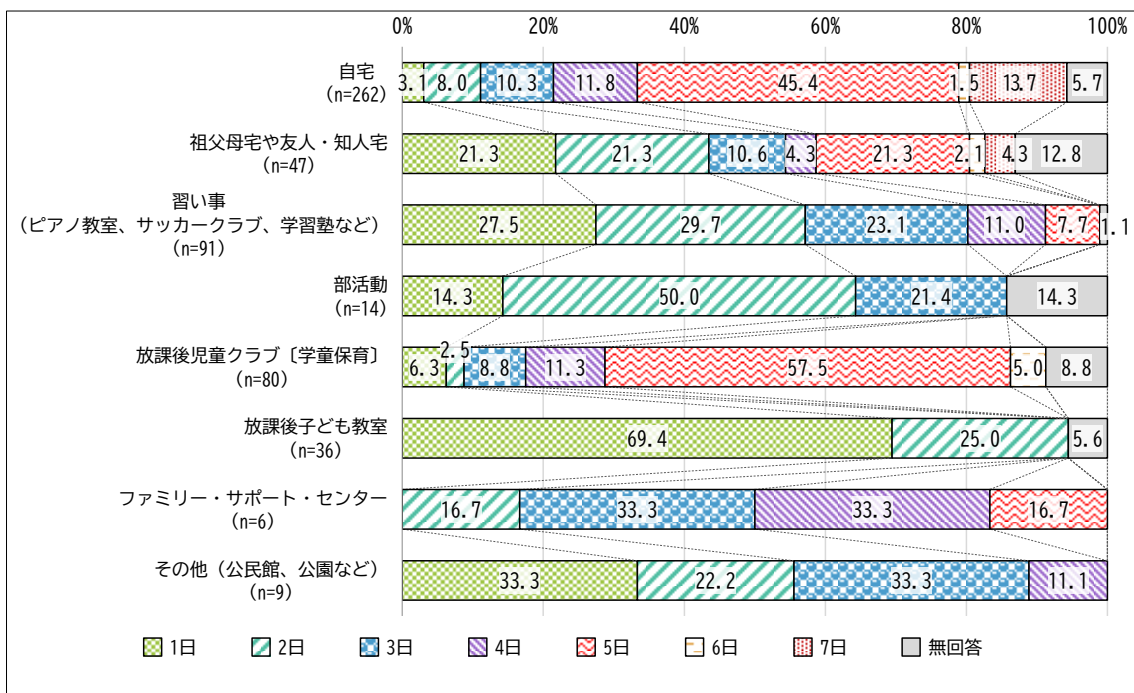
■ 対象のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。

(1) 放課後過ごす場所：現状

- 現状では、「自宅」が74.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」26.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」22.9%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「部活動」が23.1ポイント低くなっています。
- 利用日数について、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「部活動」では「2日」、「放課後子ども教室」では「1日」が最も高くなっています。



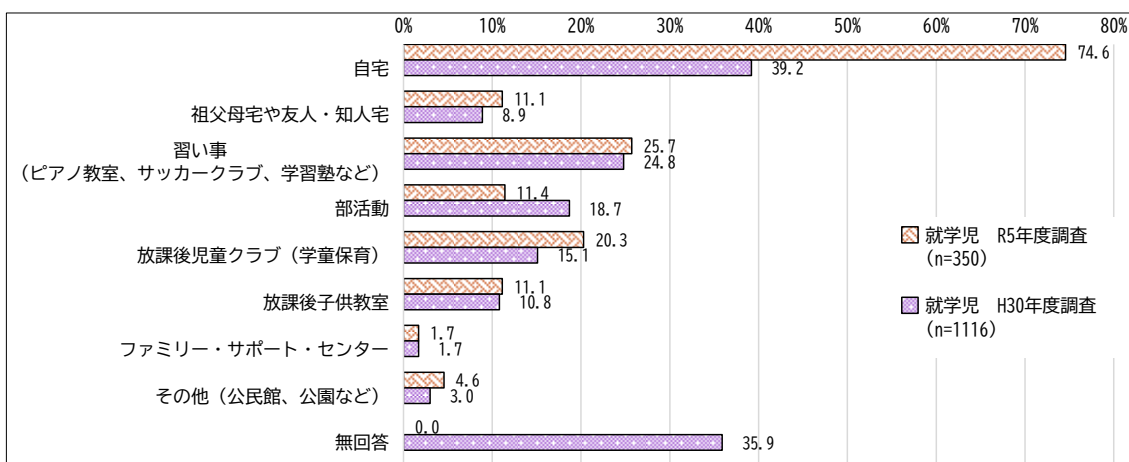
【利用日数】



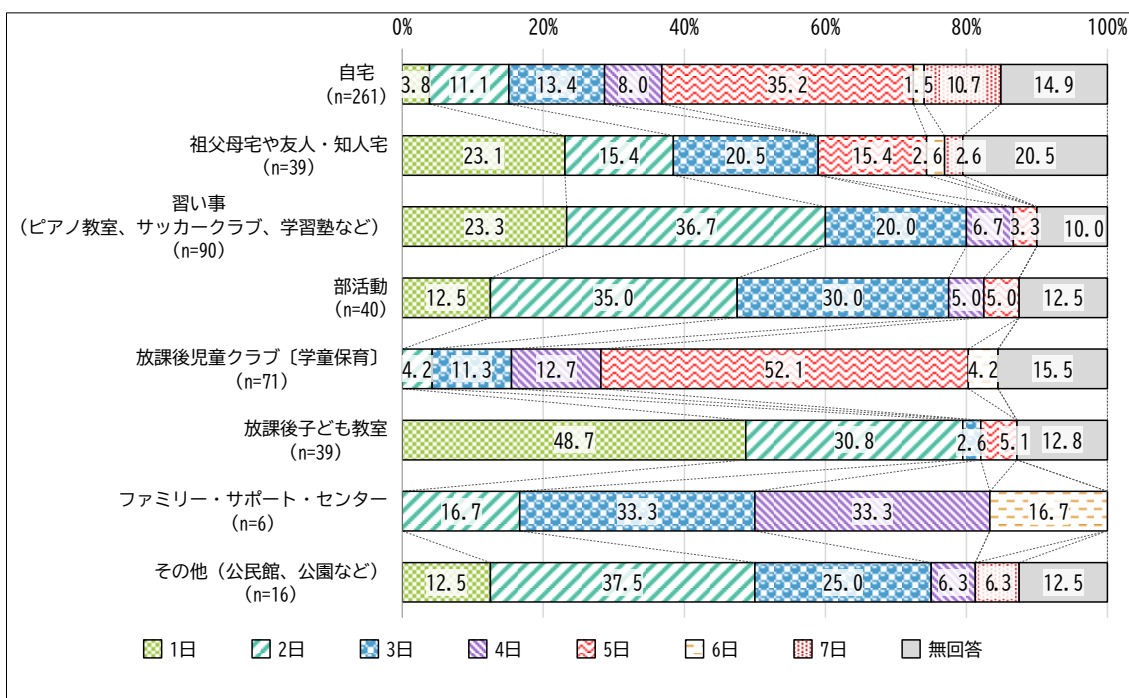
(就学児向け調査のみ)

(2) 放課後過ごす場所：希望

- 希望としては、「自宅」が74.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」25.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」20.3%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「自宅」が35.4ポイント高くなっています。
- 利用希望日数について、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後子ども教室」では「1日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「部活動」「その他（公民館、公園など）」では「2日」が最も高くなっています。



【利用希望日数】



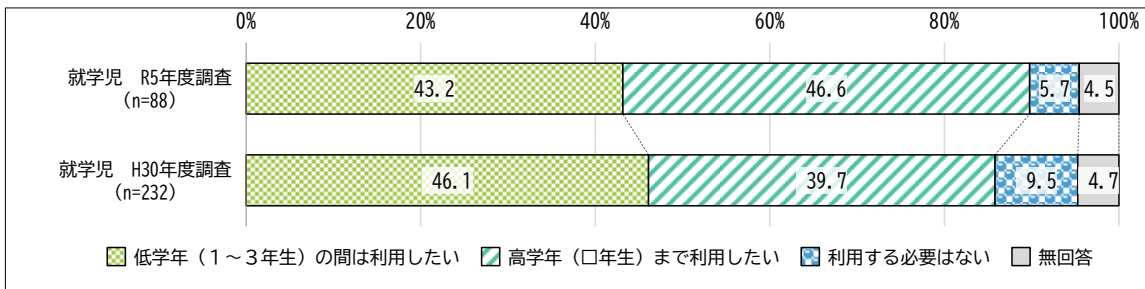
(就学児向け調査のみ)

前問で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」を回答した方のみ

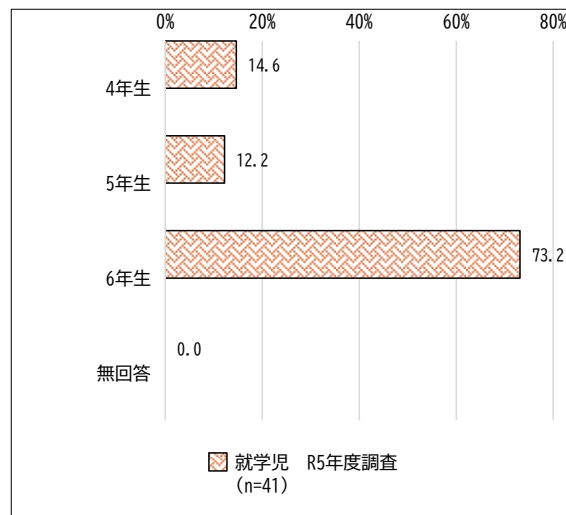
- 対象のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

(1) 平日

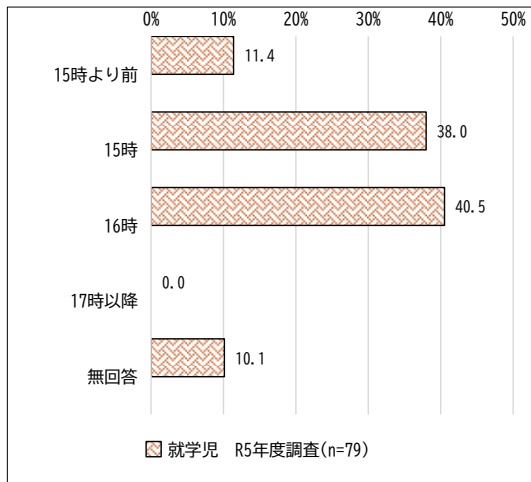
- 平日の利用希望について、「高学年(□年生)まで利用したい」が46.6%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」43.2%となっています。
- 利用継続について、「6年生」が73.2%と最も高く、次いで「4年生」14.6%となっています。
- 利用希望時間について、開始時刻では「15時」「16時」が4割前後と高く、終了時刻では「18時」が64.6%と最も高くなっています。



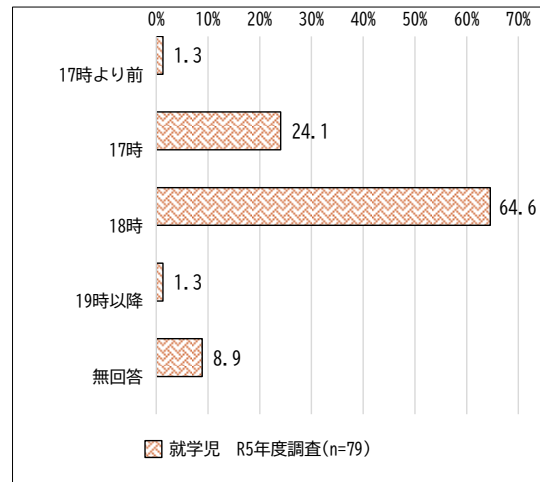
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時刻）】



【利用したい時間帯（終了時刻）】

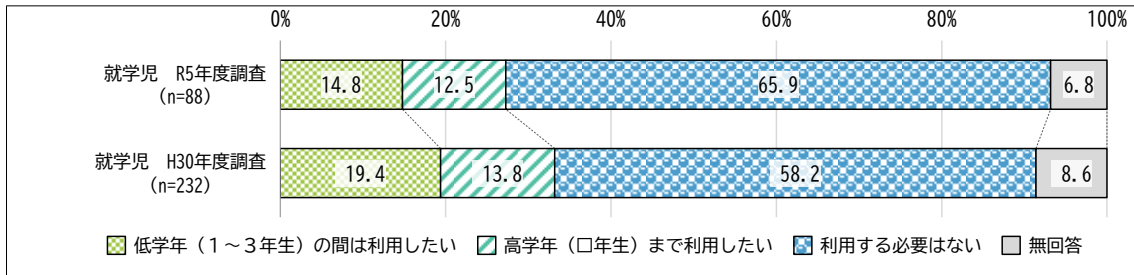


## (2) 土曜日

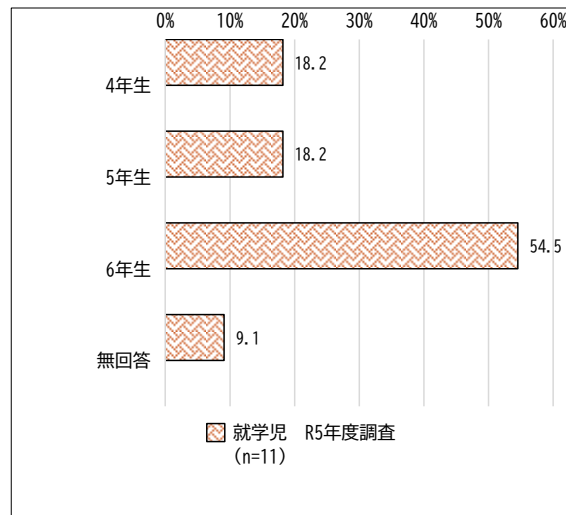
○土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 65.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」14.8%となっています。

○利用継続について、「6年生」が 54.5%と最も高くなっています。

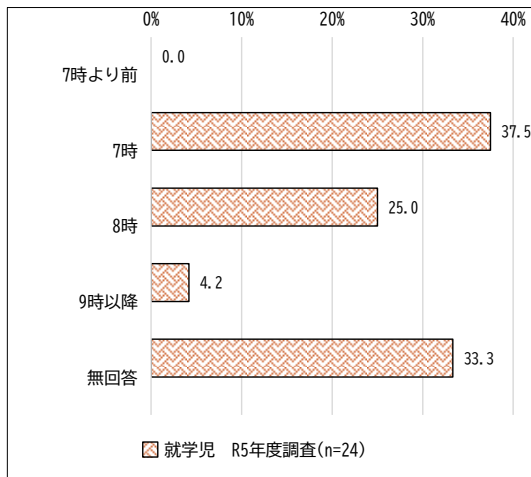
○利用希望時間について、開始時刻では「7時」が 37.5%、終了時刻では「18時」が 50.0%と最も高くなっています。



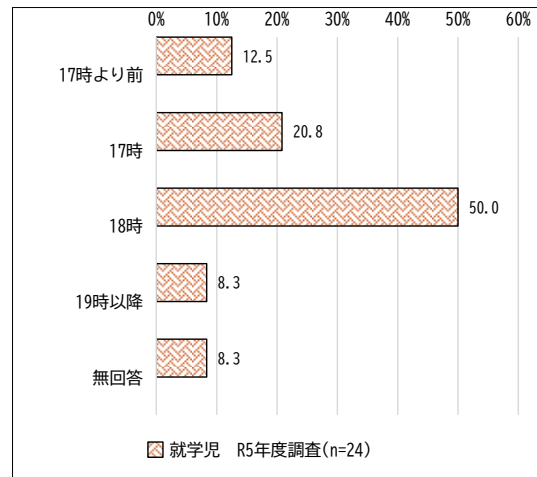
### 【利用継続したい学年】



### 【利用したい時間帯（開始時刻）】



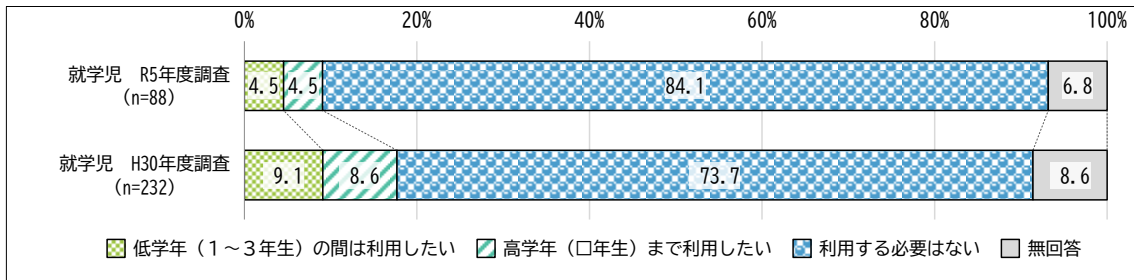
### 【利用したい時間帯（終了時刻）】



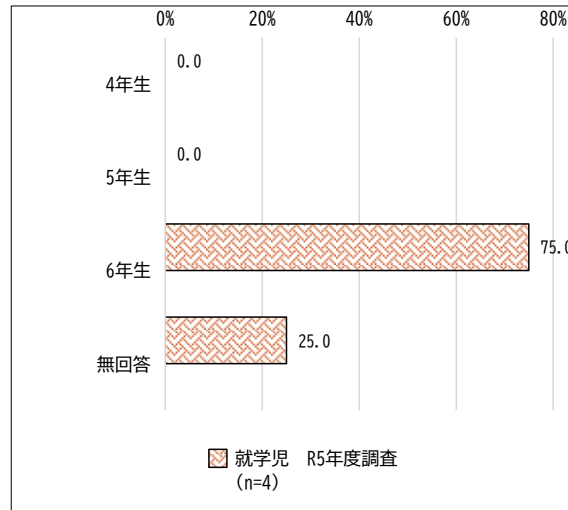
### (3) 日曜・祝日

○日曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が84.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（□年生）まで利用したい」共に4.5%となっています。

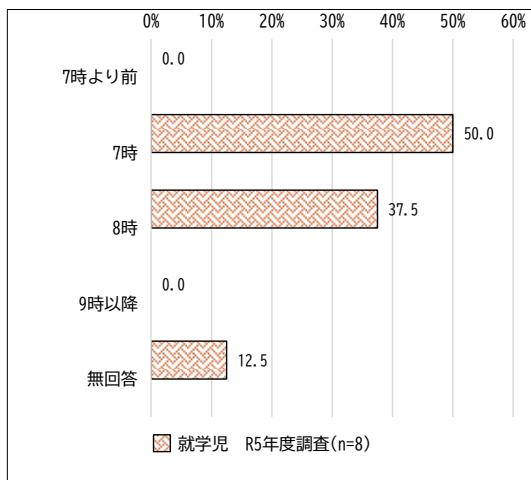
○前回調査との比較をみると、「利用する必要はない」が10.4ポイント高くなっています。



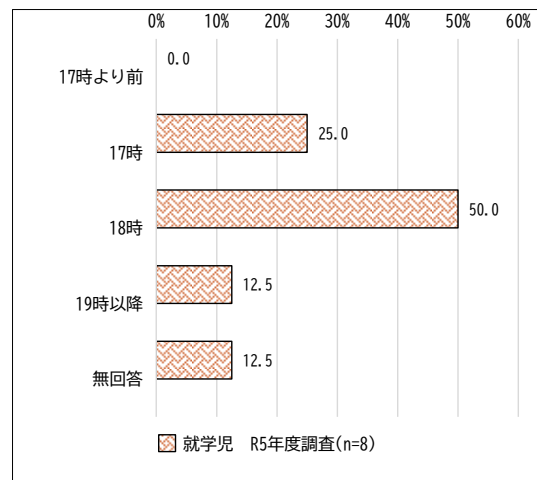
#### 【利用継続したい学年】



#### 【利用したい時間帯（開始時間）】



#### 【利用したい時間帯（終了時間）】

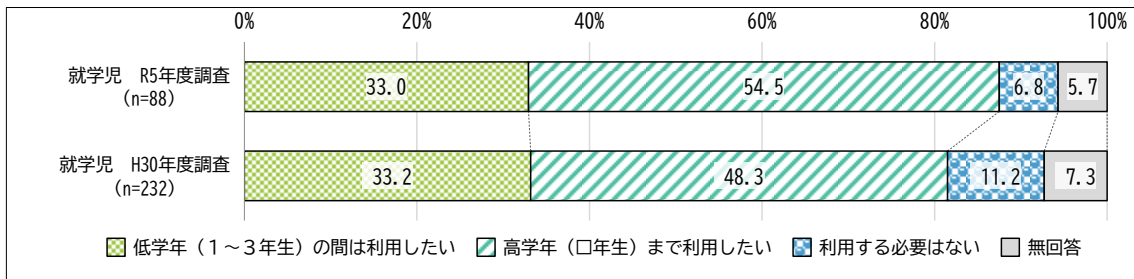


#### (4) 長期休暇中

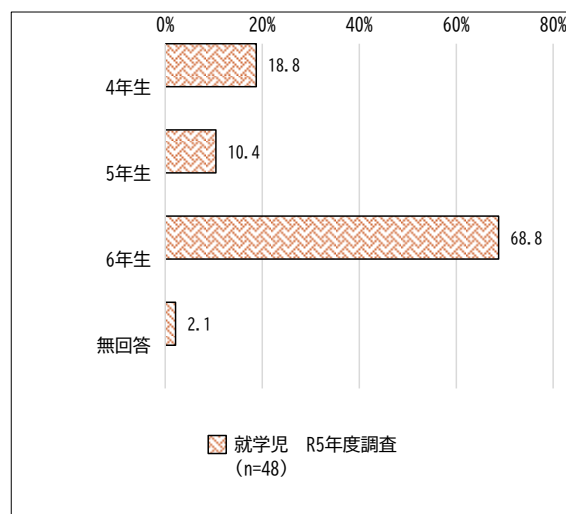
○長期の休暇期間中の利用希望については、「高学年（□年生）まで利用したい」が54.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」33.0%となっています。

○利用継続について、「6年生」が68.8%と最も高くなっています。

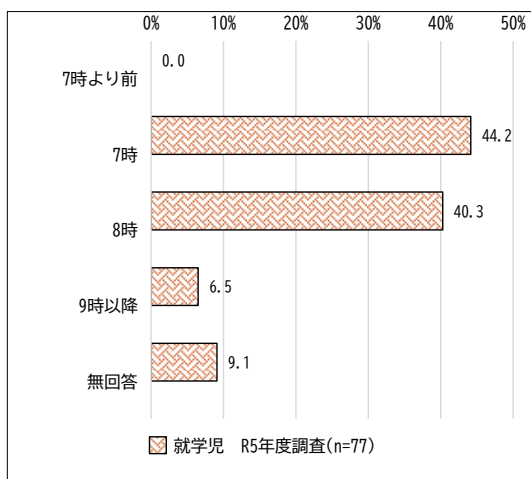
○利用希望時刻について、開始時刻では「7時」「8時」が約4割と高く、終了時刻では「18時」が61.0%と最も高くなっています。



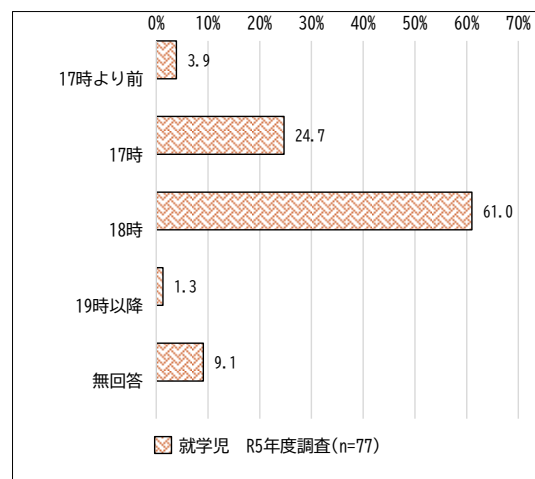
【利用継続したい学年】



【利用したい時間帯（開始時刻）】



【利用したい時間帯（終了時刻）】

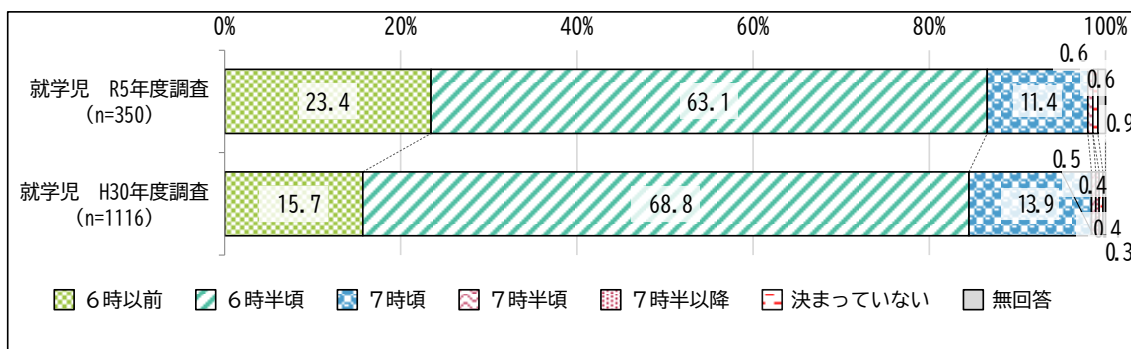




# 10. 対象のお子さんの日常生活についておうかがいします (就学児のみ)

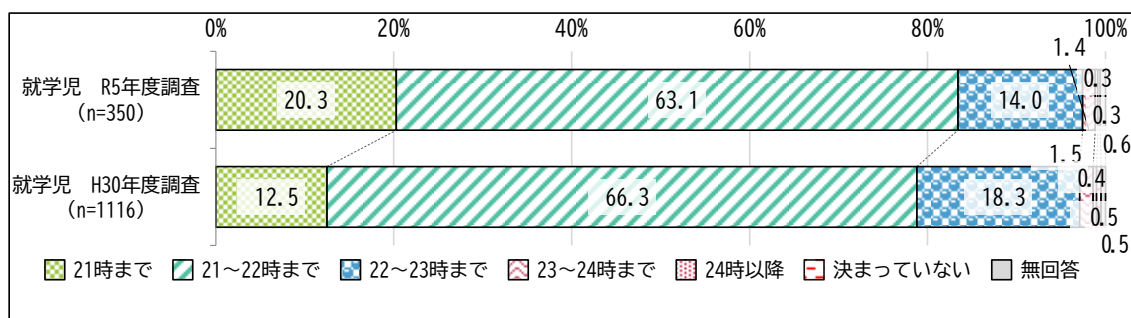
## 問19 お子さんは朝、大体何時頃に起きますか。(単数回答)

○「6時半頃」が63.1%と最も高く、次いで「6時以前」23.4%、「7時頃」11.4%となっています。



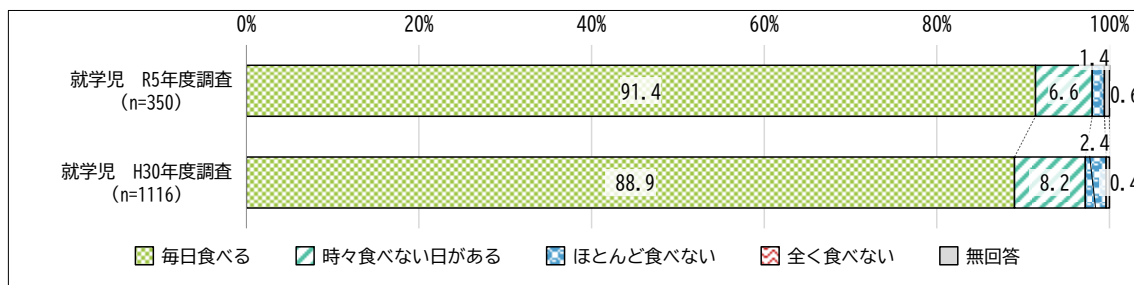
## 問20 お子さんは夜、大体何時頃に寝ますか。(単数回答)

○「21～22時まで」が63.1%と最も高く、次いで「21時まで」20.3%、「22～23時まで」14.0%となっています。



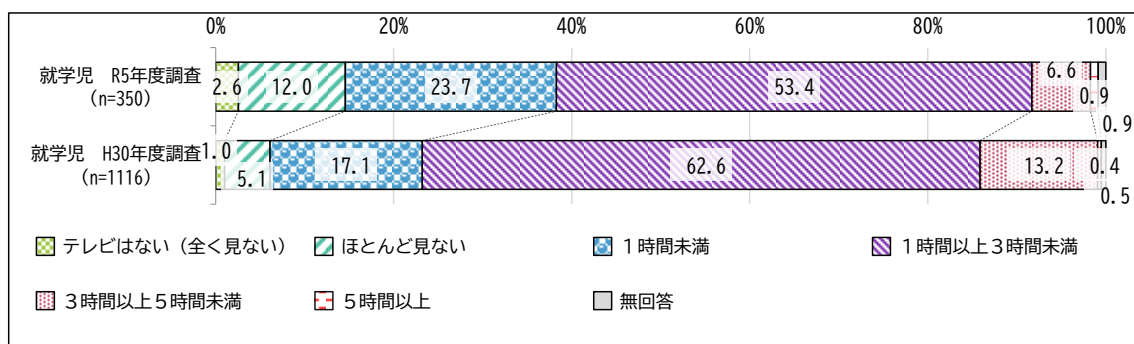
## 問21 お子さんは朝食を食べますか。(単数回答)

○「毎日食べる」が91.4%と最も高く、次いで「時々食べない日がある」6.6%、「ほとんど食べない」1.4%となっています。



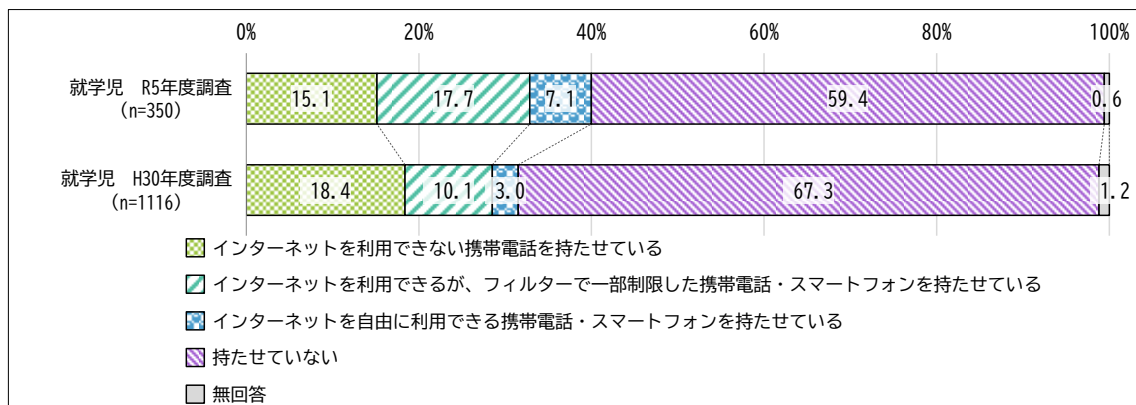
## 問22 お子さんは、平日、テレビ番組を1日にだいたいどれくらい見ていますか。(単数回答)

○「1時間以上3時間未満」が53.4%と最も高く、次いで「1時間未満」23.7%、「ほとんど見ない」12.0%となっています。



## 問23 お子さんに携帯電話・スマートフォンを持たせていますか。(単数回答)

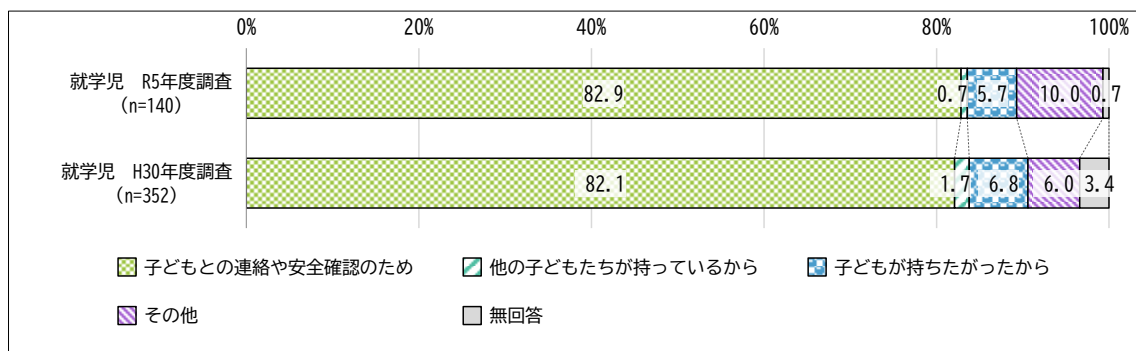
- 「持たせていない」が59.4%と最も高く、次いで「インターネットを利用できるが、フィルターで一部制限した携帯電話・スマートフォンを持たせている」17.7%、「インターネットを利用できない携帯電話を持たせている」15.1%となっています。



### 問23で、「1～3」を回答した方のみ

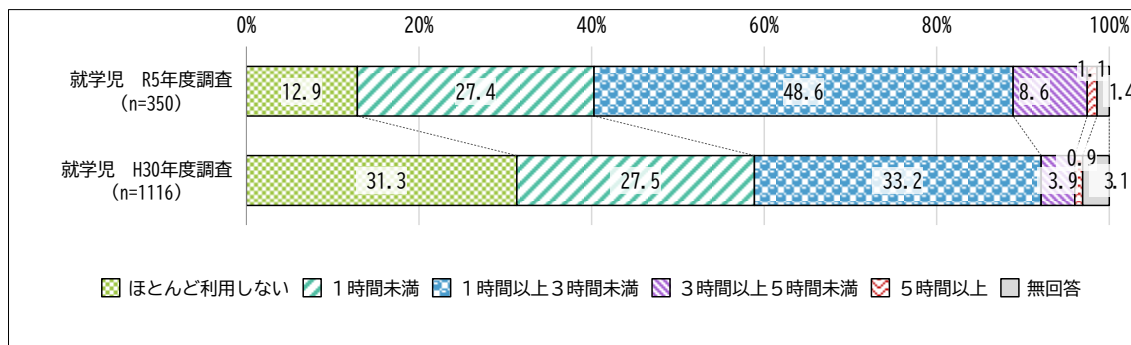
## 問23-1 携帯電話・スマートフォンを持たせている理由は何ですか。(単数回答)

- 「子どもとの連絡や安全確認のため」が82.9%と最も高く、次いで「その他」10.0%、「子どもが持ちたがったから」5.7%となっています。



問24 お子さんは、平日、パソコン、携帯電話・スマートフォン、その他多機能端末を1日にだいたいどれくらい利用していますか。(単数回答)

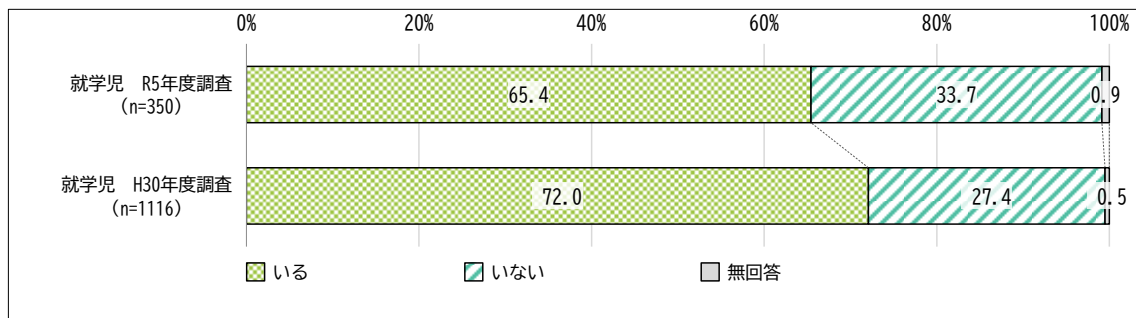
- 「1時間以上3時間未満」が48.6%と最も高く、次いで「1時間未満」27.4%、「ほとんど利用しない」12.9%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「ほとんど利用しない」が低く、「1時間以上3時間未満」が高くなっており、15ポイント以上差が生じています。



# 11. 対象のお子さんにかかわらず、子育て全般についてうかがいます（就学児のみ）

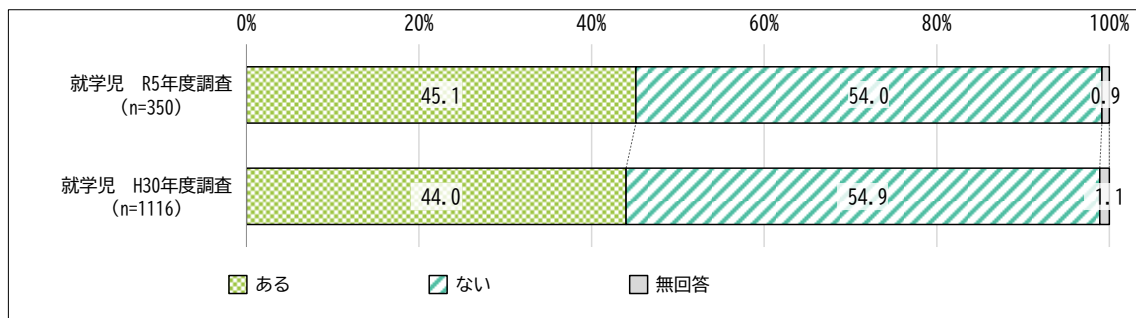
## 問25 近所にお子さんの遊び相手がありますか。（単数回答）

○ 「いる」が65.4%、「いない」が33.7%となっています。



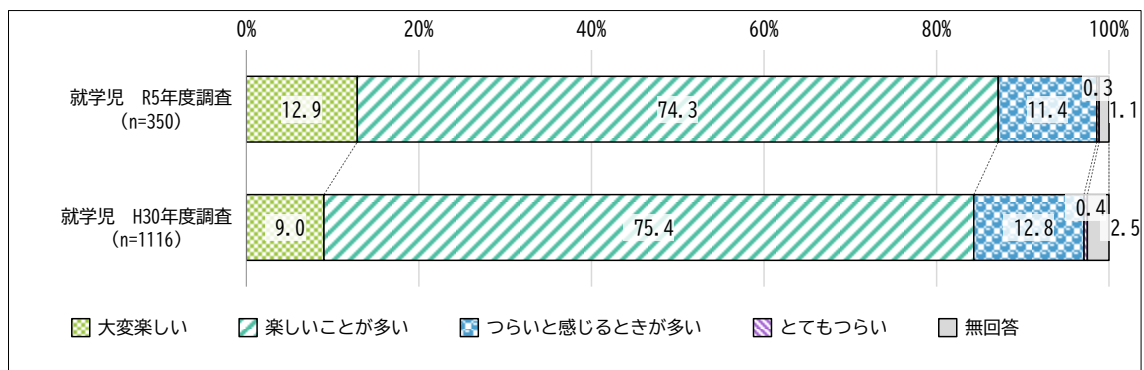
## 問26 近くに安心して遊べる場所がありますか。

○ 「ある」が45.1%、「ない」が54.0%となっています。



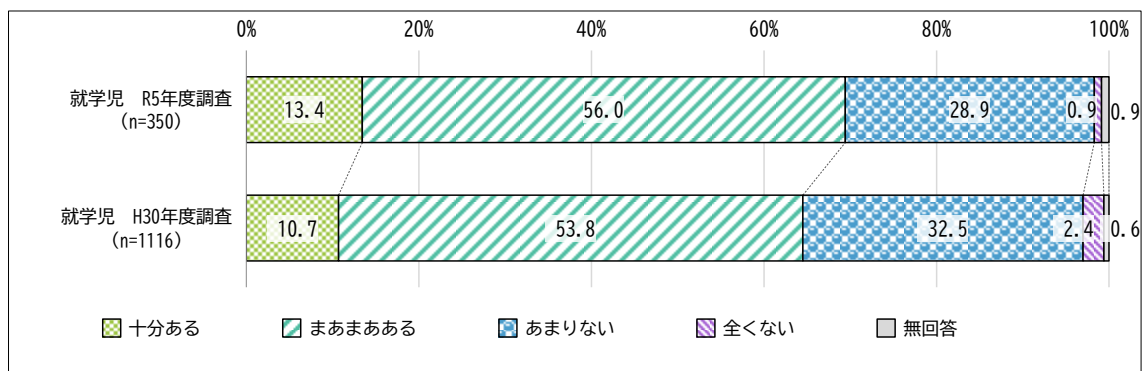
## 問27 あなたは、子育てをどのように思いますか。(単数回答)

○「楽しいことが多い」が74.3%と最も高く、次いで「大変楽しい」12.9%、「つらいと感じる時が多い」11.4%となっています。



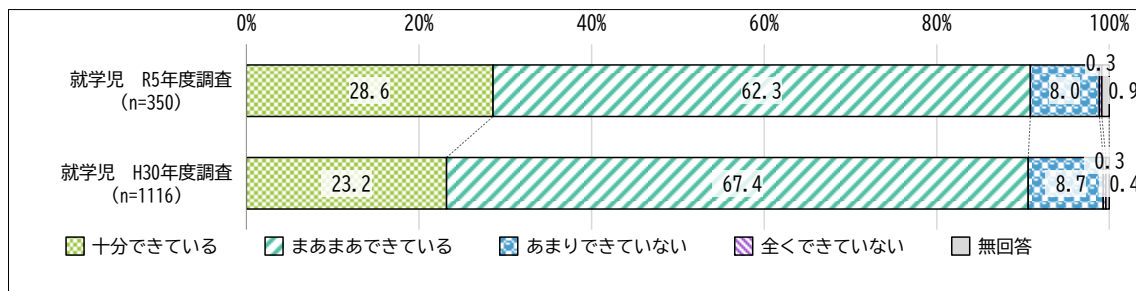
## 問28 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。(単数回答)

○「まあまあある」が56.0%と最も高く、次いで「あまりない」28.9%、「十分ある」13.4%となっています。



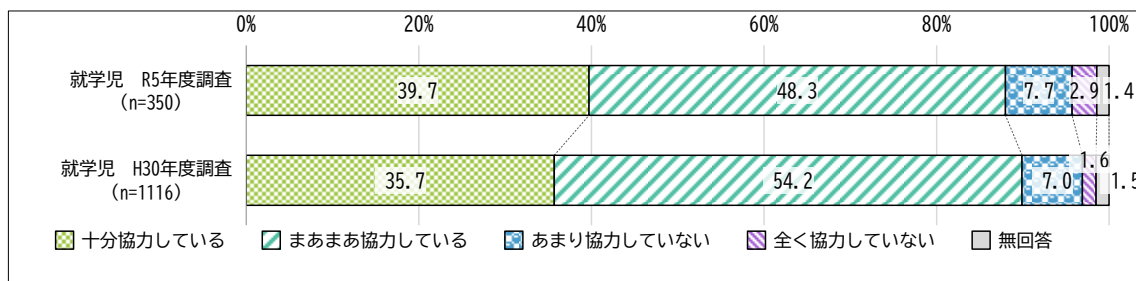
**問29 くだん家族の間で会話などのコミュニケーションができていますか。(単数回答)**

○「まあまあできている」が62.3%と最も高く、次いで「十分できている」28.6%、「あまりできていない」8.0%となっています。



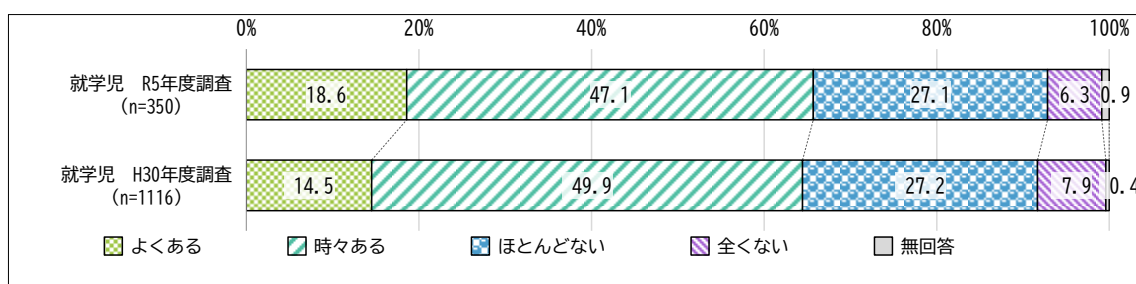
**問30 家族で協力して子育てをしていますか。(単数回答)**

○「まあまあ協力している」が48.3%と最も高く、次いで「十分協力している」39.7%、「あまり協力していない」7.7%となっています。



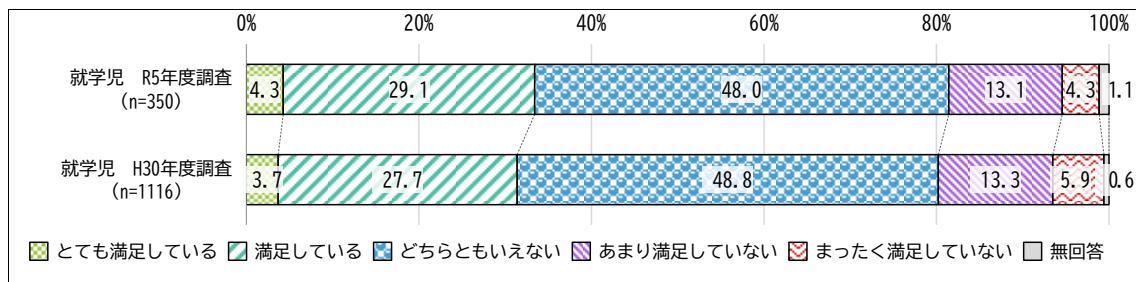
**問31 地域の人から子どものことで声をかけてもらうことがありますか。(単数回答)**

○「時々ある」が47.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」27.1%、「よくある」18.6%となっています。



### 問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援について、満足していますか。 (単数回答)

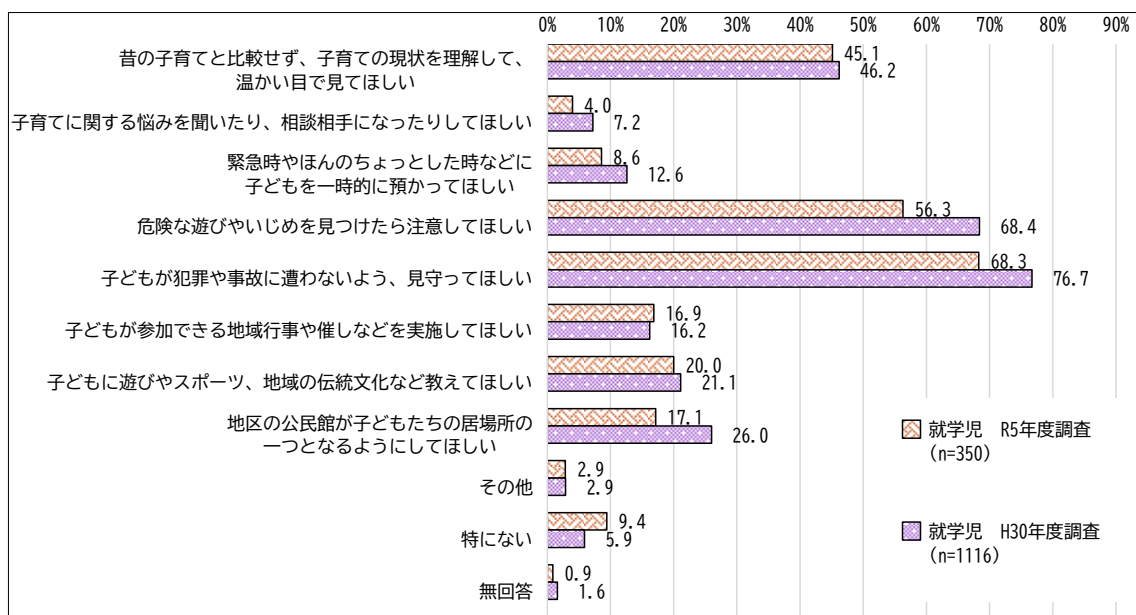
○「どちらともいえない」が48.0%と最も高く、次いで「満足している」29.1%、「あまり満足していない」13.1%となっています。



### 問33 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。 (複数回答)

○「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が68.3%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」56.3%、「昔の子育てと比較せず、子育ての現状を理解して、温かい目で見えてほしい」45.1%となっています。

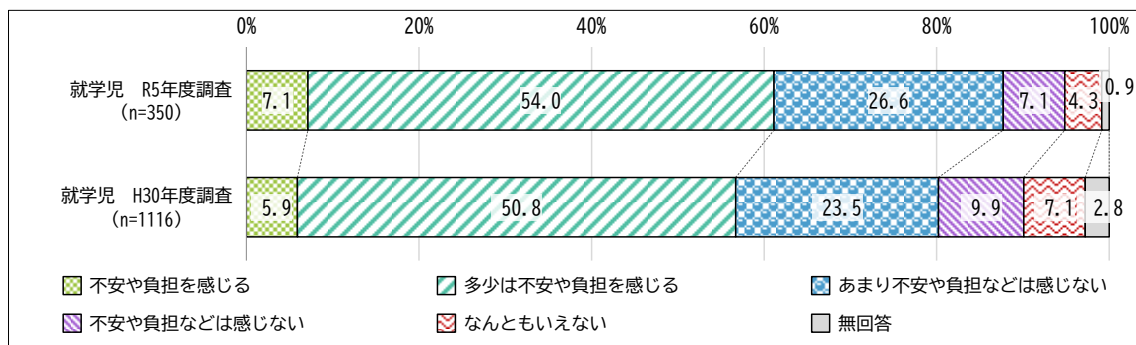
○前回調査との比較をみると、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が12.1ポイント低くなっています。





### 問34 子育てに不安や負担を感じることがありますか。(単数回答)

○「多少は不安や負担を感じる」が54.0%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」26.6%、「不安や負担を感じる」「不安や負担などは感じない」共に7.1%となっています。



■ 子育てに不安や負担を感じることがありますか。(自由記述)

【未就学児自由記述】

居住地区	子の年齢	行政支援(サービス)に関すること
尾ヶ石・阿蘇西	4歳	父親が育休取得できる雰囲気ではないため、取りやすい風潮にしてほしい。
内牧・山田	6歳	医療や福祉系の仕事で夜勤をしたいが見てくれる環境が行政で必要！病気がした時、診てくれる病後児サービスがなければ子育て中の仕事は、稼がたくても稼げない。勤務してる事業所にそのような環境があればとてもイイ！
その他	5歳	1 子育て世代への直接優遇措置(住居手当・教育手当・出産手当(ARTや無痛分娩等))。 2 療育の理解促進(市報への掲載や説明会や見学会実施) 3 小学校支援クラスの理解促進(市報への掲載や説明会や見学会実施) 4 男性子育てへの理解促進(市報への掲載や講習会実施) 5 阿蘇市独自の各関係機関役職の女性登用の促進義務化(子育て環境改善のため) 6 今回のような直接的なアンケート(メールで送付されると各家庭へ行き届くのでベター)の実施
一の宮	6歳	病児保育の利用人数の拡充を強く希望します！また利用料の半額助成などのシステムなどがあると手近に預ける祖父母などがない私にとってはとても助かります！
碧水・乙姫	5歳	育児相談や子どもとの関わり方講座などがある場合に、性別に関係なく誰でも対象なのだろうけど、母親側へ参加呼びかけが多かったり、母親が頑張れ(父親はサポート役)的な内容だったりするので、不公平感や育児を重荷に感じることもある。父親向けにも子どもが生まれたら参加必修での催しがあってもいいと思う。それに参加するときはもちろん職場も休めること。乳児期、幼児期など定期的に参加。そのくらいのことがないといつまでもサポート役の気持ちが強いように思う。
碧水・乙姫	1歳	阿蘇市外の医療機関受診時にこども医療受給者証を利用できるようにしてほしい。第三子以降の育児手当を18歳までのばしてほしい。
一の宮	3歳	子ども医療費が一旦実費になることがつらい。阿蘇市内は医療費不要だが、耳鼻科はないし、小児科は信用できないので結局市外の病院になる。となると、費用が一旦自費になるため、金銭的に厳しい時は病院に連れていくことができない。市外でも医療手当が受けられるように変えてほしいと切に願います。
一の宮	6歳	医療費一時負担を無くして欲しい。役場へ申告に行く手間もあり、子どもが市外の医療機関受診の際、その受診費用を現金で持っていないと受診できなく、困ることがある。小学校へ行くにあたり、バス利用が可能であれば利用したい。距離が明らかに遠いにも関わらず市役所へ行っても利用できないの一点張りです。検討してくれる動きも全くなし。荷物が多いい日、悪天候の日には必ず親が送っていく必要がありますし、個人的にはバス利用があれば学童利用をしなくて済みます。ほかの阿蘇地域ではバス利用可能となる指定距離の見直しをしている所もあります。是非検討ください。

居住地区	子の年齢	行政支援(サービス)に関すること
尾ヶ石・阿蘇西	6歳	子どもを預ける施設の充実化、親のリフレッシュ時間を設ける時間よりも、子どもと親と一緒に過ごせる時間の方に重点を置いた働き方改革の改善はなされないのか？ただ預ける場所、時間、日数が長くなるのでは親は楽かもしれないが子どもの負担は大きいと思う。子どもに寄り添った働き方を親がしていける環境作りの方に力を入れて欲しい。
内牧・山田	6歳	リフレッシュ目的での預けることが、嫌な顔されずにできれば嬉しい。あとは色々な制度をもっと活用しやすいようにしてほしい。
尾ヶ石・阿蘇西	2歳	保護者支援も大事だとは思いますが、保護者の思いを何でも受け入れていると保護者は子育ての仕方がわからなくなって、余計に虐待や育児放棄等に繋がってしまうのではないかと思います。子どもとふれあう時間が大事であることを、もっと伝えてほしい。育児休業は絶対に一年以上取ること、として6ヶ月未満の保育園預けはやめてほしい。仕事をしすぎな日本人。土日は仕事を休み、子どもと一緒に過ごす日、家族で過ごす日と定めて、保育園は月～金曜日までの利用にしたい。オムツを保育園で処分してもらいよりも、体調が悪くなったら父親でも母親でも『帰っていいですよ』と悪意なく、帰宅できる(休みがとりやすい)環境を作ってほしい。
内牧・山田	4歳	今回のアンケートもそうですが、ほとんどの支援やサービスがお勤めの方を中心に考えてあります。その点に不満を感じます。阿蘇は農業や商工自営業者が他地域より多いのでは？足元の市民をみてください。
内牧・山田	6歳	対象の子供には障がいがあるが、支援体制は準備されており、それを利用させていただいている。特に泊まりは専門の知識がある方でないと難しいので、ショートステイはととてもありがたい存在。
一の宮	3歳	夫婦で土日祝日を含めたサービス業をしています。夫婦共働きなので、日曜日祝日の子どもの預け先が無く苦労しています。親兄弟等は県外に住んでおり、頼めません。阿蘇は観光業が盛んな地域なので、その職についている家庭を考慮した保育環境の提供を強く希望します。

居住地区	子の年齢	教育・保育に関すること
一の宮	0歳	保育する側の人間として、子ども誰でも通園制度を行うのであれば園側の受け皿をしっかりと整え、園に無理のないような制度として取り組んでほしい。
碧水・乙姫	2歳	保育園に預けるのが怖い。
尾ヶ石・阿蘇西	5歳	保育料無料なのに短時間保育枠があり、自分が仕事終わってバタバタしながらむかえい行くことが大変。阿蘇市は副食費が高すぎるためかなり負担だ。
一の宮	6歳	延長保育は人数が少なく利用しにくい。
一の宮	6歳	体操服や制服は、学校支給にしてほしい。学校の先生を増やして、クラスの人数を減らして授業をしてほしい。
一の宮		やや回答しづらい設問がありましたが、高学年になっても現在の学童保育で18時位までみていただけるシステムの継続をお願いします。
内牧・山田	5歳	子育て支援センターぴよぴよを利用して良かった。相談できる先生、友人ができた。

居住地区	子の年齢	教育・保育に関すること
碧水・乙姫	1歳	保育園に預けることによって私たち親は働くことができおり、保育者の方々には本当に感謝しております。保育者の方々にも家庭がある中、0歳児から見るのは本当に大変だと思うのでもう少し待遇を良くしてあげてほしいです。私たち親も施設に望むばかりではなく、親も保育園も協力し合えることがあればいいなとも思います。
内牧・山田	5歳	保育園での報連相を的確にしてほしい。子供に対して「この子はこういう子だからこうした方がいい」等の決めつけで意見を押し付けないでほしい。発達障害の子が増えている中での保育士などの勉強不足が見受けられるので園全体や市で勉強会などをした方がいいと思う。
一の宮	5歳	一の宮小学校の学童は通常1.2年生が対象で、3.4年生からはなるべく家でという事ですが、子供だけを留守番させるのは難しい。他の小学校は高学年まで学童受け入れる事は可能と聞いたので不満はあります。
尾ヶ石・阿蘇西	5歳	我が家はひとりっ子なので夏季休暇など長期休暇で4年生以上も学童が利用できると嬉しいです。お留守番はできるとしても家に完全に1人で毎日置いておくのがかわいそうなので…。もしご検討いただけましたら嬉しいです。
一の宮	4歳	保育園の先生方には大変お世話になっています。祖父母が近くにいないので、病気の時に困ります。預けられるところがあると助かります。上の子が学童を利用しましたが、上級生になって利用ができず夏休みなど家にいると不安でした。
内牧・山田	2歳	春休みだけ、スポット利用など学童保育を利用した分だけの請求だと利用しやすいと思う。長子のときに学童内で高学年によるからかいや脅しのトラブルがあり担当の先生にも訴えたが特に改善もなく本人も嫌がったので退所の事務手続きをしに社協へ行き、理由を話すとその時に現場に言ってほしかったなど言われ、担当者の発言等対応に不満、不信を覚えたため今後利用することはないと思った。
内牧・山田	2歳	0~2歳児の保育料の軽減を検討して欲しい。保育園内での生活を知りたいので、園内カメラ等の設置を検討してはどうでしょうか？

居住地区	子の年齢	経済的な負担に関すること
内牧・山田	1歳	保育料が高い。
尾ヶ石・阿蘇西	3歳	現在、認定こども園に通っているが、利用料を毎月現金で用意しなければならないので、せめて銀行引き落としにして欲しい。
碧水・乙姫	1歳	保育料の見直しをお願いします。保育料が高くて家計に影響しています。
内牧・山田	2歳	第二子保育料無償化を行ってほしい。他の自治体で行っている子育て政策を積極的に取り入れてほしい。
内牧・山田	6歳	ひとり親世帯の世帯収入による所得制限はおかしいと思います。親族と同居していても生計は別な家庭がほとんどです。同居していない家庭だからといって親族からの支援を受けてないとは限らないと思いますし、制度自体がおかしいです。もっと当事者の声に耳を傾け生活実態を知るべきです。
碧水・乙姫	6歳	給食費など義務教育の間だけでも、給食費など学校で子どもにかかる費用は無償にしてほしい。ランドセルの無償化。

居住地区	子の年齢	経済的な負担に関すること
一の宮	2歳	子供支援に力を入れて欲しい。子供一人につき〇〇万など。
尾ヶ石・阿蘇西	6歳	保護者が働きながら、子どもを保育所等に通わせ子育てをする環境は充実していると感じます(保育料の軽減策など)。ですが、家で子どもを育てたいと願う保護者には支援が少ないように感じています。(経済的な支援等)例えば、子ども一人辺りにいくらか保護者に払い、家庭で育てる上で使うのか、保育料などに使うのか、選択できるような仕組みになると、今から子どもを持つか考えている人にとってはより選択肢が増えるのではないかと感じます。
一の宮	3歳	子育て支援が充実してほしい。非課税家庭ばかりの支援が多いので、どの世帯にも公平に支援するべき。3人以上子供がほしいが今のままだと安心して産めない。
一の宮	2歳	いつも、ご支援等ありがとうございます。物価の高騰などにより、生活的に苦しくなりつつあります。できれば子育て支援金を増やしていただくと助かります。
碧水・乙姫	6歳	子育てにおいて、一番大変なのはお金。
一の宮	2歳	保育料無償化になるといいですが…。保育士さんは重労働で給与も少なく不足しているので給与を上げてほしいです。
尾ヶ石・阿蘇西	6歳	給食費の無償化。学童費用が高い。
尾ヶ石・阿蘇西	6歳	小さい子は無償化になったが小学生からは無償化でない。無償化、無償化と言ってる割には学校に払うお金が高い。入学から準備などでお金かかるのに、共働きでもお金は足りなくなる。学童でもお金が高いと思う。だから預けたくても無理になる。他の場所と阿蘇市はまだまだだと思う。だからみんな子育て支援などいい所に行くんだと思います。
碧水・乙姫	5歳	住民税を毎月二万も払っているのに、子ども手当が少なく、4ヶ月に1度しか支給されないため、支給されない月は生活が厳しい。何のための住民税なのか、子育て世代に対しての支援が行き届いていない。産婦人科もないため子供を産みたいが、産めない。他県の自治体の方が、子育て世代に対しての支援がしっかりしているので、比べてしまう。阿蘇から出たいと思ってしまう。
内牧・山田	6歳	ランドセル購入補助、体操服購入など補助。
内牧・山田	5歳	児童控除など財政面の支援がもっと充実してほしい。

居住地区	子の年齢	医療・健診等に関すること
内牧・山田	5歳	小児耳鼻科をつくってほしい。
碧水・乙姫	6歳	阿蘇市以外で受診した際の医療費をかからなくしてほしい。手持ちのお金がないから病院に行くのを躊躇するときがある。それで子どもの治療が遅れてしまったりする場合は有り得るから。阿蘇医療センターの耳鼻科の日数を増やして欲しい。子供にとって耳鼻科はなくてはならない存在だが日数が少ないとやはり阿蘇市以外の病院にかかるしかなくなる。

居住地区	子の年齢	医療・健診等に関すること
碧水・乙姫	5歳	検診が午後からだ、昼寝の時間帯なので子供かぐずる確率が高くなると思います。
内牧・山田	3歳	健診の土日祝開催を希望。健診の問診票の質問文に、育児の主体は母親だという古い考えに基づくと思われるものが散見され、違和感を覚える。
内牧・山田	2歳	子どもの検診で待ち時間が多すぎる。職員が立ちっぱなしなのに待ってる時間が多いため子どもが待てず泣いてしまう。また、保健師との面談の際、子どもの面倒を見ながら面談は難しいので立ちっぱなしで何もしていない職員が子どもの相手をするなど対応して欲しい。また、療育を、勧められる際、心理士や職員が1つの事業所をオススメしてくるのは何故ですか。市町村なら公平な立場でなければならないと思います。

居住地区	子の年齢	遊び場など、子育て環境に関すること
内牧・山田	2歳	1~3歳ぐらいの子どもが気軽に遊べる公園があるといいなと思う。あそびバは対象年齢が高い、人が多すぎて気軽に利用できない。
尾ヶ石・阿蘇西	6歳	気軽に遊べる遊び場が少ない。交通の利便性が悪い。
尾ヶ石・阿蘇西		子どもだけでも行動できる利便性。遊具を増やす。
一の宮	5歳	公園など遊ぶ施設や雨の日でも遊べる室内公園、急な休みが必要な時に支援してくれるサービスがほしいです。
内牧・山田	5歳	放課後、子ども達が自由に集まれる場所があるとよい。自宅と学校が遠く、近所に歳の近い子もいないので遊び相手がいないという面で高学年になったときどうしようか悩んでいる。
一の宮		子供だけで安心して遊べる公園が少なく、あっても場所も遠いため行かせられない。子供は外遊びが大好きなので公園を増やして欲しいです！
一の宮	5歳	日曜祝日は支援センター等が利用できないため、公園以外でも遊べる場所が増えたら嬉しいと思います。夏は水遊び場など。冬は寒いので屋内施設もあると大変ありがたい。病児保育の枠が増えて欲しい。
一の宮	5歳	町内に夕方や土日に利用できる屋内プール、遊具付きの屋内外施設が欲しい。
碧水・乙姫	5歳	校区内で住宅がほぼない。バス通は乗り遅れた場合対処に困る。不登校の兄弟がいるため多分この子も躓くと考えられる。不登校の子どもを抱えての就労は困難である。支援が手薄。療育施設を使用しているが就学にあたり就学前より制限が掛かり不便。療育に関する病院がほぼ阿蘇市にないに等しい。公園が地域にほぼないに等しい。そのため車を出さなくてはならない。徒歩圏内に公園が欲しい。屋内遊戯所が皆無。真冬、炎天下の真夏や雨の日など必要と考えます。阿蘇市遊ぶ施設が少なすぎる。住宅も小学校の周りにないのはおかしい。不便極まりない。子育て家庭を支援する様にして欲しい。保育料無料になっているが小学校の給食費も無料化して欲しい。大体不登校で学校行っていないのに校納金取られるのも納得いかない。無駄を省き、子どもにお金をかけてはいかがですか?元明石市市長の泉さんの政策素晴らしいですよ。
尾ヶ石・阿蘇西	5歳	遊ぶ場を増やしてほしい。アゼリアのプールの再開を強く望みます。

居住地区	子の年齢	遊び場など、子育て環境に関すること
その他	2歳	両親どちらもフルタイムで就労する立場としてもっと子供たちの育児に対する補助金や遊べる施設(公園、遊具、室内の遊び場等)多方面から援助がないと子供たちを持つ世帯がどんどん阿蘇から離れていくと思います。
内牧・山田	6歳	子育てするにあたってすごく、住みにくさや子育てしにくさがあります。買い物するところも、公園も少なく、遊ぶところもないです。商業施設もなく、どこにいくにも阿蘇から出なくてはいけないので、お金も時間もかかります。自然が良いのかもしれませんが、お散歩すれば、高齢者が多いので危ない運転に何度も出会います。高齢化が進み若者がまちから出ていくんだろうなと思います。子育てしやすい街になって欲しいです。

居住地区	子の年齢	アンケートに関すること
内牧・山田	5歳	アンケートが長く、わかりづらかったり回答しにくかったりしました。
一の宮		アンケート多すぎです。
内牧・山田	3歳	質問事項に、答えづらい問いがあった。冠婚葬祭の宿泊数や放課後時間とか、その時にしかわからないので答えられないことがあった。

居住地区	子の年齢	その他
碧水・乙姫	6歳	地域行事や学校行事等は減らして欲しい。コロナ前に戻さないでいいと思う。
一の宮	4歳	どんなに好きなことでも収入が低いとモチベーションにつながるので保育の先生方の負担の軽減と賃金の値上げを希望します。
一の宮	5歳	阿蘇市にどのような子育て支援がどれだけあるのか、知らずにいた。このアンケートで知らないこともあった。もっと情報発信していただきたいと思いました。
碧水・乙姫	5歳	他の保育所・学校で行っている事も知りたい。行事だけでなく制作方法や運動、学んだ事を見せる環境(発表会ではなく展示や張り出し)。良いところは真似て子供達のプラスになればと思う。保健センターの方は優しい方ばかりですが、栄養士さんも地区担当さんも健診の時など色々質問しても結局『個人個人で違うので…。』と言われる。そう言われると相談の意味がないなと思う。こどもノートをそのまま読んで終わり。以前住んでいた所では担当さんの言葉で話してくれたり案を出してくれたりしていたので。
一の宮	6歳	仕事をしなければ暮らせないが預ける場所がなければ働けない。道が工事中のため車が通ると危険なため歩きで登校させるのは不安があるがどうしようもない。
その他	4歳	就学後、子どもの帰宅する時間が変動するため、親として共働きでフルタイムで働くことが難しくなる。また、学童も空きがないと聞いたりするので今後、自分の思い描いてるように働けるのか不安がある。

居住地区	子の年齢	その他
その他	3歳	乙姫の児童センターの活用の強化について、定期的なイベントの開催など親子で気軽に利用できる取り組みを増やしインスタなど SNS を使ってその情報を発信してほしい。地域の子育て世代集まれる場所は大事。若い人は意外と情報に敏感なので。



## 【 就学児自由記述 】

居住地区	学年	行政支援(サービス)に関すること
尾ヶ石・阿蘇西	4年生	阿蘇市以外でも子ども医療費を手出し無料にしてほしい。後日返金だとお金がない時に厳しい。
碧水・乙姫	3年生	阿蘇市外の病院受診について、医療費を福祉課窓口へ申請しに行くが、その時間の確保も負担であり、子育てと逆行していることを理解していただきたい。予算はかかると思うが、近隣の市町村と比較しても対応できていないことが遺憾であり、早急な対応を願う。低年齢の人口流出にもつながるため、至急の予算化、対応をお願いしたい。
碧水・乙姫	3年生	阿蘇市外の医療機関にかかった際に、一度手出しして医療費の申請を市役所に行かなければならないのが大変。阿蘇市にはない、皮膚科耳鼻科等にかかる頻度が子供は高いので、阿蘇市外も受給者証を使えるようにしてほしい。
碧水・乙姫	3年生	現状、別居中の為生活に余裕は無い。こどもたちが学校に行けない状態で、こどもだけになり喧嘩などのトラブルになる。仕事がままならない。在宅ワークを検討中だがスキルが乏しい。こどもたちは療育施設を利用し、精神科も通院中。学校に行けないと受け皿が無い。もっと自由にこどもの個性を受容し、家庭、個人に合う柔軟性を持ってほしい。ほっとすくーるも脱走し、暴れると受け入れが難しい。療育施設は放課後だからと福祉課が許可しないとほっとすくーる後の受け入れが難しい。どうか助けてください。こどもの居場所が少ない。子どもに家庭に寄り添うことを考えてほしい。
一の宮	1年生	就学前には「ぴよぴよ広場」には大変お世話になりました。そこでの出会い（先生方が見つないでくださいました）のおかげで、今こうしてこの阿蘇に相談する仲間が出来ました。不安がいっぱいの子育てが、楽しいものになりました。このような場所を作ってください、大変感謝しています。今後もそう言った場所があることを願っています。
一の宮	2年生	バスの利用の範囲をもう一度検討ください。役所に行かれた親御さんみなさん、距離が決まっていますのでと言われて終わっています。その距離の見直しが必要だと感じます。また医療費の後払い制度、大変不便です。現在子どもに合った病院へ連れていく必要があるのですが（紹介状が必要な大きな病院なども含めます）必ず受診すれば阿蘇市外では払う必要があり、高額になったときのお金が本当に大変です。子どもに必要な医療を受けさせたいのですが、受けさせることが困難なことがあります。
一の宮	1年生	休んで看病したいが、人員不足で休みがもらえない。病児保育の人数、場所の拡大、費用を助成してほしい。朝受診する必要があるので職場に遅刻する、どうかならないか。子育てしやすい環境を整えてほしい。
碧水・乙姫	1年生	コロナ時、長く休まなくてはならなかったのが、病児保育や親が発症したときのサポートが充実すると思います。
尾ヶ石・阿蘇西		阿蘇市以外の病院でも子ども医療費受給者証を使えるようにしてほしい。（他の市町村はほとんど対応している）。子育て中は、皮膚科や耳鼻科、夜間発熱などで阿蘇市以外の病院に行くことが多いのに対応されていない。役場へ書類提出に行かないと、医療費返還の手続きが出来ないが、平日は仕事で役場へ行くこともあまり出来ないため、とても不便だと感じる。

居住地区	学年	行政支援(サービス)に関すること
内牧・山田	3年生	一人親なので、学童や社会支援などとてもありがたいです。
内牧・山田	2年生	学校まで徒歩 50 分近くかかります。集団登校の集合時間も早いので、下の子の準備などもありいつも間に合わず、毎朝送り迎えをしています。バスを出してくれたら非常に助かります。
尾ヶ石・阿蘇西	3年生	ずい分前に卒業しましたが、子育て支援センターを残して頂きありがとうございました。ぴよぴよのお陰で、知らない土地でも子育て頑張れました。
波野	6年生	スクールバスの利用条件を緩和してほしい。例えば、利用距離の緩和。安全の為の利用を可能にして欲しい。
一の宮	4年生	周りが田んぼばかり、通学路には電灯のついた所は一部なのに、中学生だけ自転車通学させるのはなぜですか？部活もなくなるのならば、バス通学を開始して欲しい。仕事が終わる時間には学校が終わっていて、フルタイムに移行できません。そうすると収入減少になります。

居住地区	学年	教育・学童に関すること
碧水・乙姫	6年生	すいません、長文になります。子育てや支援とはまた別の話かもしれませんが書かせていただきます。保育園や小学校の先生方に日々お世話になっておりますが、不適切指導が問題になっている現在、阿蘇市でもっと実態を調査していただきたいです。我が子もこれまでに、特定の先生から子どもへの不適切指導が行われていた時期があります。もちろん他の友達も数名されておりました。やられている期間は、声をあげる事ができない子どももいるので、何も知らないまま過ごしている保護者の方もおられます。一生心の傷は消えません。保育園でも保育士による不適切保育がとても多いとよく耳にします。そちらも実態を把握してもらいたいです。内部で調査を行っても、阿蘇市は知り合いや繋がりも多いので、世間がとても狭く、内部告発ができない職員がほとんどです。先生、子ども、そして保護者から、これまでどんな実態があったのか、現状も踏まえ、アンケートを行ったり、保育園や学校ごとでしっかり持ち寄り、注意喚起、改善してほしい。少しでも子どもにとって安全な保育園、教育に繋げてほしいと思います。声をあげているのはごく一部だと思います。学校や保育園からのアンケートを渡されるのではなく、各家庭に市からの配られ、匿名で返送できるといいなと感じます。あと、そういった窓口があるもののやはり、通報となると勇気がいらします。なので、こどもを取り巻く環境を見直すために、保護者にも不適切保育園や指導の講話、談話会などを開いたり、第三者に気軽に相談できるような雰囲気を取り組みがもっとあるといいなと私は思いました。
尾ヶ石・阿蘇西	4年生	現代の子供たちは、潜在的に多くのストレスにさらされている恐れがある。なので、そのケアや対応を適切にできる学校の体制を整えてほしい。子供が学校に行っている間の出来事はほとんど全てブラックボックス状態なので、子供たちの課題については先生方に対応を頼るしかない。なので、いじめ等の大人が介入することが必要な事案の際には、躊躇なく、先生方にそのトリガーを引いてもらうことを期待します。そして、そういった有事の際には、徹底した原因究明を求めます。

居住地区	学年	教育・学童に関すること
尾ヶ石・阿蘇西	1年生	統合の話も出ているようですが、歴史のある阿蘇西小学校を今後も存続させて欲しいです。
一の宮	4年生	小学校など、特に人数が多いクラスはクラスを分けて先生が生徒一人ひとりに目が届くような環境づくりを心がけて欲しいです。
一の宮	3年生	学童は6年生までみていただくと、安心して仕事を行うことが出来ると思います。学童は長期休み中は利用人数が多くなると思うので、本当に家で保育出来ない子どもさんを預かると、密にならないと思います。利用料金は日額料金がいいと思います。
内牧・山田	6年生	学童の先生の質を上げて欲しい。
その他	3年生	地域で登下校を見守ってほしい。学童を利用したいが、学童の先生方の悪い評判しか聞かないので利用できない。改善してもらいたい。
一の宮	3年生	地域によって学童で預かってもらえる年齢がちがうことに不満があります。核家族で子どもを見てくれる大人が近くにいない中で、発達グレーゾーンの子どもの平日の下校後に1人で留守番させることが不安です。経済的な理由で仕事がやめられないので、悩みはたくさんありますが、何も解決しません。小学生の間は長期休みの期間だけでも学童などで預かってもらえるとう安心して親は働けると思います。
一の宮	4年生	今年次女が小学生になるのですが、姉と一緒に帰宅できる環境がほしい。放課後子ども教室を増やしてほしい。
内牧・山田	1年生	教育者の「この子はこうだからこうした方がいい」などの決めつけた意見などの押し付けはやめてほしい。発達障害の児童が増えてきている中で教育者の勉強不足がとても見受けられるので学校や市など全体で勉強会などをして正しい知識を身につけた方がいいと思う。対象児童が精神的に崩れた場合の対処として好きな事をさせるのは教育、正しい対処ではないと思う。
一の宮	5年生	子供を叱れる学校であってほしい。
一の宮	5年生	子供を学童に預けているが学校に残って上の兄弟を待っている子がいる。だったら学童に行けばいいと思う。それが許されるのならわざわざ学童にお金を払って預けているのが意味ないことだし腹が立ちます。不公平です。あと、別のところで給食費を払ってないところがあるとか聞きますがそれにはどういう対応をしているのでしょうか？それで払わずにそのままとかはないですよね？

居住地区	学年	経済的な負担に関すること
碧水・乙姫	6年生	収入による教育格差がないように非課税世帯など関係なく教育費の援助をしてほしい。全世帯給食費を無料にして欲しい。経済的に余裕が出てくれば子育てにも余裕がでると思う。
その他	5年生	母子家庭です。今後の進路を考えると市外へ行かなくてはならなくなった時の学費や交通費の事が心配です。子供達の選択肢と可能性を奪ってしまわないようご配慮頂けると嬉しいです。
一の宮	5年生	子育てにはお金がかかります。また阿蘇という土地なのでいろんな面で子育てし辛い。お金もかかります。給食費等の無料があると助かります。子育て世帯に寄り添ってほしい。

居住地区	学年	経済的な負担に関すること
一の宮	6年生	給食費を無料もしくは支援してほしいです。
内牧・山田	6年生	教育資金の補助や援助が、欲しい。中学校の制服代が、高すぎる。
一の宮	5年生	様々な教育費用の負担軽減をお願いしたい。他自治体と補助や制度などの足並をそろえてほしい。

居住地区	学年	医療・健診等に関すること
内牧・山田	6年生	子供が夜中や日曜日などに病気になった時に行く病院が無い。医療センターや温泉病院にいても子供は見れないと言われる。なんの為の救急病院なのか、意味が無い。安心して行ける病院があればいい。
内牧・山田	4年生	お産の出来る産婦人科が、阿蘇にはありません。耳鼻科や皮膚科も少ないです。何かあった時、頼れる病院が阿蘇には少ないと感じます。
内牧・山田	5年生	1 耳鼻科を恒久的に設置して欲しい。 2 都市部と変わらない教育と支援を受けさせて欲しい。
内牧・山田	4年生	まず、病院が少ない。耳鼻科や皮膚科、夜間緊急時に受診できる小児科を作って欲しい。阿蘇は学力が低いと聞く。もっと学力向上に力をいれた方が良くと思う。質の向上も必要だと思う。

居住地区	学年	遊び場など、子育て環境に関すること
その他	1年生	近所に遊べる公園がないので、友達と遊ぶ時もどちらかの家庭で過ごすことになり、お互いに負担になる。子どもが気軽に集まれる場所がほしいと思う。歩道がきちんとある道が少なく、登下校が心配。観光地なので地元の事情を知らないまま運転される方が多く、見ていてもヒヤッとすることがよくある。地域性が強すぎる部分があり、子育てしにくく感じることもある（行事などでも「こうしなければいけない」というしがらみが多い気がする）。阿蘇外から嫁いだせいか、戸惑うことが多い。
その他	1年生	雨の日に遊べる施設を作ってもらいたいです。
尾ヶ石・阿蘇西	1年生	学校までの道のりに車通りが多い場所を歩いて通学する場所があるので不安です。子供達だけで遊ぶ場所が家の中しかないので各地域に大きめの公園を作って欲しい。土地あたり空き家が多いのでそれらを解体し子供たちの遊び場を作って頂いたら、子供たちも外で遊ぶことができます。
尾ヶ石・阿蘇西	1年生	とても子育てしづらい環境。引っ越したい。
一の宮	5年生	子供達が近場で遊べる公園や遊具があまりなく遊べる場と言う所が阿蘇には少なすぎると思う。子供達が走り回れる場所がないのか外で遊んでいる姿をあまり見ない。学校以外で気軽に遊べる公園があるといいなと思う。
碧水・乙姫	2年生	雨の日に遊べる場所がないので、公民館や使っていない小学校の体育館を開放してほしいです。

居住地区	学年	遊び場など、子育て環境に関すること
一の宮	6年生	近くに安心して遊べる場所(公園等)がない。様々な場所にある必要はないが、阿蘇市として様々なことを考えてまちづくりをして欲しい。子育てがしやすいまちづくりをしないといずれ人が減っていき阿蘇市として成り立っていかなくなります。
内牧・山田	2年生	地域の子供達が遊べるちょっとした公園を所々に作ってほしい。
内牧・山田	2年生	無料で遊べる室内空間が出来たら嬉しい。
一の宮	3年生	整備された公園が一の宮にほしい。
一の宮	1年生	一の宮に公園が欲しい。
一の宮	3年生	公園の遊具が老朽化して危ないと感じる(トンボ公園やカブトムシ公園)。また一の宮地区にも、内牧にある、アソビバのような遊具施設を作ってほしい。また、教育面については、学校の宿題が多すぎる、特に長期休みの宿題は多すぎて、親の負担が大きいです。出来る子供は良いかもしれませんが、勉強が得意でない子供も居るんです、学校から帰ったら集中力が無くなる子供も居るんです、それでも宿題があれば親としては、させなければいけない、勉強が得意でない子供には負担が大き過ぎます、その宿題によって何か身に付くことがあれば良いですが、イヤイヤでさせられても何も身に付きません、そのあたりをもう少し考えて下さい。学校には、何度も言いましたが変わりません、教育委員会から学校の先生に言って下さい、お願いします。
内牧・山田		あんぜん公園が身近にできたら嬉しい。西松屋など、子供向けのお店が、阿蘇に欲しい。阿蘇はドラックストアばかりできて、もう要らないです。日赤みたいに、小児科の救急が充実して欲しい。
一の宮	3年生	子供を安心して遊ばせられる公園がないので作ってほしい。
一の宮	6年生	大きくなくていいので歩いて遊びに行ける公園をもっと作ってほしいです。親が車で連れていかないと行けないので、子供が自分で行ける公園をもっとあればいいのになと常々思います。
一の宮	2年生	家の中か友人の家しか自由に遊ぶ場所が少ない。駐車場で遊んでも近所の人から注意されたりするので公園を作ってほしい。
一の宮	2年生	一の宮地区にも子どもが遊べる公園を増やして欲しい(大型遊具もあるような)。もしくは、今ある一の宮運動公園の遊具を増やしたり、公園として遊べる場所の広さを広げて欲しい。
一の宮	4年生	子供が安心して遊べる場所が近くにないので公園を増やしてほしい。雨の日も身体を動かせるように空いている体育館等を開放してほしい。
一の宮	2年生	自由にボール遊びができて、車の心配がない、広い公園が欲しい。
一の宮	1年生	町内に夕方や土日に利用できる屋内プール、遊具付きの屋内外施設が欲しい。
尾ヶ石・阿蘇西	6年生	子供だけで遊べる公園が、子供たちだけで行ける距離にあると良いなと思いました。
内牧・山田	1年生	温水プールがあるといい。水嫌い泳げない子供が増えているので年中通してできる場があるといいと思う。

居住地区	学年	安全・安心に関すること
内牧・山田	3年生	アソビバに行くにも今金付近が歩行者天国のようになっていて危険で怖い。
一の宮	6年生	地域の方に登下校時の見守り隊として活動していただいで有り難いと感じています。通学路が、もし助けを呼ばなくてはならない状況になった時、住宅が無い田んぼ道が続くところなので。同じ一の宮小学校校区内だけど、引越したのと同時に地域の行事などがコロナで、ほとんど無くなったようで顔見知りが少なく心配でした。登下校の班で、まとまって歩いてないので、よく見るので、運転している時に危ないと感じる時もあります。学校の先生にも個性あふれる子供たちの対応に感謝しています。勉強だけではなく先生方の経験談など、色々な話を聞くのも楽しいようです。ただ、授業や宿題だけでは学力の差を感じているため通信教育を取っていますが、兄妹でも合う合わないもあり、今、試行錯誤中です。
一の宮	6年生	通学路として指定されている道が狭い。スピードを出す車が多すぎて危険な場面がある。バス通学重視で徒歩の子どもの危険度を把握してもらいたい。
碧水・乙姫	5年生	車の通りが多い道路には歩道を作ったり、見通しが悪い所にはミラーを設置するなど、子供達が事故や犯罪に巻き込まれないよう自由に外で行動出来るようになればいいと思う。
一の宮	5年生	学校給食に関して、パンに使用されている小麦は熊本県では国産小麦を使用されていると知り安心してます(輸入小麦はポストハーベストの問題からです)。パンの材料でマーガリンを使用されていますが、トランス脂肪酸の悪影響がありますからせめてバターを使用してほしいです。我家では牛乳は飲ませたくないの、牛乳以外の飲み物の選択肢をお願いしたいです。有機野菜を使用している学校給食の県が全国に広がってきています。農業県の熊本だからこそお願いしたいです。食の安全性を考えていただきたいです。

居住地区	学年	その他
碧水・乙姫	5年生	学校行事や地域行事を減らして欲しい。大変だから。
一の宮	5年生	兄弟で一緒に帰ってきてほしい。
一の宮	4年生	はたらき方のアンケート欄に、自営業・農業などの解答があったがよかった。
碧水・乙姫	6年生	PTA 役員になりにくい(出事の回数が多すぎる)。改善してほしい。
一の宮	3年生	近所に子供がいないため兄弟で遊んでいます。
その他	3年生	子育て支援の前にまずは出産への意識のハードルを下げる、子を産みたいと思える環境作りが必須。民間医療機関と連携して整備を進めてほしい。地元医療機関での出産者には市からお祝品(特産品詰め合わせなど)をプレゼントするなどいくらでも方法はあるはず。

居住地区	学年	その他
碧水・乙姫	6年生	<p>親にとっては良いサービスが増えていると思うが子どもにとってはどうなのか？正直、子どもと親の愛着関係に疑問を感じる。阿蘇市の学力低下や子育て環境の悪さ。学校職員も保育士も少ないのに子育て事業の充実という意味がわからない。子育て事業の充実を拡充する前に賃金を上げ人材の確保をするべきでないか？現場は死にもの狂いでやっている。我が子の子育てより他の子の子育てに翻弄している。こういった現場を知っていますか？保護者や養育者にアンケートをとると同時に学校職員や幼稚園教諭、保育士、その他子どもに関わる仕事についている現場の意見を聞いていただきたい。また子どもが病気をすれば安心して休める職場環境を整えるという考えにシフトチェンジしてほしい。普段忙しい中…親と子がしっかりと関われる環境を整えるのが先決ではないか？なにかあれば子どもを預ければいいというシステムに疑問を感じる。本当に必要とする家庭もあるかと思うがまずは、子どもと親を繋げるべき。また英語教育に力を入れると聞いたこともありますが…。その前に授業など座ってられない子どもが多い。不登校も多い。グレーゾーンの子どものも多い。そんな中、中身のない教育をしていくのですか？まずは、そういった子ども達を救うべき。阿蘇市の教育の遅れは昔からながらの考えでは？三の柱と10の姿。幼保小中と繋がって子どもを育てるという仕組みが阿蘇市にあるとは思えません。教育委員会、福祉課と繋がって今後の阿蘇市の保育や教育について考えるべきでは？親として子どもと関わる仕事をする者として阿蘇市の子育て環境には疑問を感じています。まずは、現場を知ってほしい。</p>





---

---

## 第3章 中学生/高校生ヒアリング調査結果

---

---



## 1. 調査の目的

第3期阿蘇市子ども・子育て支援事業計画策定の策定にあたり、子どもたちの意見を直接聞くことで、より実態に即した計画を作成する。

## 2. 調査の実施要領

調査日	令和6年2月26日（月）	
調査時間	13時05分～	16時50分～
調査対象者	阿蘇中学校 生徒会役員	阿蘇中央高校 生徒会役員
調査場所	阿蘇中学校	阿蘇中央高校
調査方法	対面式によるヒアリング調査	

## 問1 「こどもまんなか社会」のイメージと取組み

① 「こどもまんなか社会」と聞いたことがあるか。

中学生	・ある（1名）
-----	---------

② 「こどもまんなか社会」のイメージは。

中学生	・子どもの意見を存分に取り入れる社会だと思う。
-----	-------------------------

③ 市の取組みでアンケート調査や「子ども議会」などに参加したことはあるか。

中学生	・なし
先生	・ここ3～4年、世代的にコロナ禍で交流できていない。以前は参加した生徒もいたと思うが、このあたりの子ども達は経験がないと思う。

④ そういう機会があればワークショップに参加したり、こういったものに興味・関心があるか。

中学生	・中学校の生徒会役員が集まって、各学校の取組みの発表や交流があれば参加したい。
-----	---

⑤ 市の取組みへの参加はハードルが高いか。

中学生	・市の集まりがあった時は、どんなことを話すのか。
事務局	・市でまちづくりの移住者や商店街の活性化の計画を作るときに、若い世代の声を聞こうと集まってもらってグループを作ってテーマを決めて「こんなまちにしたい」「こんなまちにするにはどうすればいいのか」「子育てのこと」などの話し合いをする。
先生	・ランチミーティングなどで大人の人達と話し合いをするので、その中でまちづくりや子育ての話をするといいと思う。

⑥ 市のホームページを見たことがあるか。

中学生	・テレビ電話みたいなのを見ている。（お知らせ端末）
-----	---------------------------

⑦ 市の取組みなどに参加してもらうためには、どのような場所や時間、内容だったらよいか。

中学生	・部活動生が多いので、ほとんどの部活が午前中にあるので（休みの日の）午後であれば参加しやすい。
-----	---

---

## 問2 阿蘇市は子どもにとって住みやすいか

---

### ①住みやすいと思う方は理由も教えていただきたい。

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・住みやすい。近くにスーパーなど店があり、体育館などの体を動かすところがある。</li><li>・住みやすい。地区ごとに遊び場があり、地区の色々な人と話すから近所の人と気軽に話せる。</li></ul>
-----	---

### ②住みにくいと思う部分があれば理由も教えていただきたい。

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・外灯が少なく、夜が危ない。中学生が映画を見たりするような遊ぶところが遠くて少ない。</li><li>・生活面では近くにスーパーがあって住みにくくはないが、遊ぶときに遊び場が少ない。</li><li>・小さい子どもが遊べる遊び場はあるが、中高生が楽しめる場所がない。</li></ul>
-----	---

### ③今、遊んでいるところは。

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゲームをする人もいると思う。体育館があるのでそこで遊んでいる。</li></ul>
-----	--

---

## 問3 子どもにとって住みやすいまちになるためにはどうしたらよいか

---

### ①住みやすいまちにするにはどうしたらいいか。(できるだけできないは別として)

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・外灯を増やしてほしい。映画館や洋服が買えるところが山を越えなくても済めるところがほしい。</li></ul>
-----	---

### ②通学で不便さを感じることはないか。

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・バス停に屋根がほしい。バス停の前に横断歩道があるがそこで事故があったりしたので、信号などをつけてほしい。</li><li>・家の塀で死角になっているところがあり、自動車が来ているか確認できないところが多くある。</li></ul>
-----	--

---

## 問4 その他、意見交換

---

### ①市への要望は

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・幅広い世代で楽しめるイベントを催してもらいたい。</li></ul>
-----	---

### ②他の市で行っているイベントで阿蘇でもあるといいと思うものはあるか。

中学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・秋田でみんなで田植えを行ったり、障がい者のスポーツを体験するようなことがあった。</li></ul>
-----	---

## 問1 「こどもまんなか社会」のイメージと取組み

### ① 「こどもまんなか社会」と聞いたことがあるか。

高校生	・なし
-----	-----

### ② 「こどもまんなか社会」のイメージは。

高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの為に、社会が合わせる。</li> <li>・子どもの意見や利益を第一に考えること。</li> <li>・子どもを中心とした考え方で、子供の目線に立って必要なことを考えていくこと。</li> <li>・子どもを社会全体で守っていく。</li> <li>・子ども中心に考えながら、社会全体が回っていくようなこと。</li> </ul>
-----	---

### ③ 子どもの声を大人に届けるためにはどうしたらよいか。

高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所に要望を出し、不便な点や改善できないかを伝える。</li> <li>・まず友達や親に話す。そこから色々な人と共有して、周りの人も同じ意見であれば根拠として出しやすいし、情報集めをして最終的にどうするかを相談して、市役所等に相談する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS を利用した発信方法を使用してはと考える方はいるか。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS での発信で大人に伝われば変わると思うが、利用者が多いので小さい意見が拾われるかどうか分からない。</li> </ul>

## 問2 阿蘇市は子どもにとって住みやすいか

### ①住みやすいと思う方は理由も教えていただきたい。

高校生	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学4年生の時に引っ越してきた。遊ぶこと、学校が遠いなどの不自由はなかった。「総合的な探求の時間」の中で阿蘇市の（門前町）商店街や地域の課題を探索ということをした中で、課題として子どもが楽しめる施設があまりない。内牧は遊び場があるが、小さい子ども向けの施設はこの近辺には少ないと思う。</li><li>・小さなときに大津から一の宮へ引っ越してきて、近くに遊べる場所がなかった。運動公園はあるが利用しやすい場所でもなく道も細い。最近牛舎が建ったとのことで問題があると聞いた。今の子ども達が通いづらい状況になっている。最近外で遊ばなくなったことにゲーム機の普及や場所が無くなっていき、見守る方達が少なくなるなど色々な要因があって、安全に小さな子ども達が遊べる環境はあった方がいいと思う。</li><li>・子どもも大人もだが、普通に生活する分には自然も豊かで、水も食べ物もおいしいので住みやすい。ただ、子ども達が遊べる場所が少なく、自分達が遊びに行くにしても他市に行くことが多いので子どもが楽しめる場所が確保できると更にいいと思う。</li></ul>
-----	---

### ②子どもが遊ぶ場所が少ないとのことだが、どうすれば場所が増えるか。

高校生	<ul style="list-style-type: none"><li>・地震後の仮設住宅があり、（アゼリア21）プール施設が休止中で使われていない、空家も多くある。取り壊しにも膨大な費用がかかるので難しいと思うが、使われていない場所があれば子育てに使えるスペースを増やしていけばいいと思う。</li><li>・（いこいの村、みんなの森）レジャー施設を以前は使えていたが今は使えない。阿蘇市にはそういう施設が意外とあるような気がする。今は屋内で遊べる場所が少ないような気がするから、今使われていない場所を活用して、屋内で遊べる場所もあるといいと思う。</li></ul>
-----	---

### 問3 子どもにとって住みやすいまちになるためにはどうしたらよいか

#### ①実際住んでいて不便だと思うところは。

高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道が狭い。白線が消えかけて、歩行者の通路が狭い。入り組んでいる道路にカーブミラーが無かったりして危ない思いをしたことがある。小さい子の通学路もあるので道路を中心に（事故が起きない）改善ができると思う。道路が地震でかなりガタついている所が多く、それで転倒したら歩行者に危険が及ぶ。その道路の舗装を行うことで子ども達に気を配ってほしい。</li> <li>・休日は観光客（阿蘇神社、門前町商店街など）が多いので、親の自動車などで通ると観光客が道まで出ていたり、横断歩道のないところを通ったりして危ない時があった。</li> </ul>
-----	---

### 問4 放課後の過ごし方

#### ①放課後の過ごし方は。

高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動、生徒会活動、何もない日は家に帰ってゆっくり過ごしている。</li> <li>・部活動、テスト前は学校に残ってテスト勉強。</li> <li>・家に帰ったら勉強。友人と帰る時、立ち寄れるお店がないので友達と勉強や雑談する。立ち寄れる場所があるとそこで過ごし思い出が作れる場所があるといいと友達と話している。家に帰って勉強したり、友達に電話して過ごすことが多い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち寄れる場所とは。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（マクドナルド、イオンなど）ふらっと帰りに寄れる店。</li> <li>・19時前後までは学校に残っている。その後は帰るが、もう少し早く帰る時は親に買い物を頼まれていることがあるのでそれを済ませて帰る。</li> <li>・18時まで部活動。その後は家に帰りゆっくりしている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅に帰った時、親はいるか。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅い時は大抵いる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19時まで残って何をしているのか。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や勉強をしている。</li> </ul>



---

## 問5 その他・意見交換

---

### ①自由な意見や阿蘇市に対する要望はあるか。

高校生	<ul style="list-style-type: none"><li>・バス通学だが通学時に観光客でバスが埋まってしまい、バスに乗れない事があった。一人しか乗っていないこともあるが、そういう時があると不便。帰りに友達と立ち寄れる場所があると友達と一緒に楽しめる。</li><li>・遊べる場所が少ないので（マクドナルド、イオンなど）立ち寄れる場所があるといいが、阿蘇は水や食べ物はおいしいし、阿蘇の食べ物は赤牛のイメージが強いが、赤牛以外にもおいしい食べ物がたくさんあるので、それを他の地域へ発信していけると多くの人が阿蘇に興味を持ってくれると思う。</li><li>・遊ぶ場所が少ない。阿蘇市は少子化が進んで、高齢者が地域に住んでいるが、そういう方々は阿蘇市の知恵のようなものを持っているが関わる事や関われる場所がないので、そういう方々の繋がりがほしいし、（授業の一環として）阿蘇市について考えること「総合的な探求の時間」があるが、それ以外でも小中学生の考えていることがあると思うので市役所や学校が協力して伝えられるようにすると思う。</li></ul>
-----	---

---

子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査  
結果報告書

---

令和6(2024)年3月

発行 阿蘇市 福祉課

〒869-2695

熊本県阿蘇市一の宮町宮地 504 番地 1

TEL 0967-22-3167/FAX 0967-35-4114

---



発行者：阿蘇市  
所 属：市民部 福祉課  
発行年度：令和 5 年度